



燃える火によるバプテスマ 第5巻

(Baptized by Blazing Fire)

キム・ヨンドゥー牧師

(Pastor Yong-Doo Kim)

www.DivineRevelations.info/japan

www.DivineRevelations.info/FIRE

(本書は英語からの翻訳です。)

推薦の言葉

韓国と世界中の他の国々は現代のソドムとゴモラです。聖書は古代都市ソドムとゴモラについて記録しており、この2つの不道德な都市は彼らの悪と性的不道德のために主によって滅ぼされました。天から火と硫黄が降りこれらの都市に破滅をもたらしたのです。第二次世界大戦中の広島はソドムとゴモラでした。

神殿と契約の箱があり、神がご自身を現わされたエルサレムでさえ滅亡が訪れたのです。神の民の悪しき行いのために異邦人によって滅亡させられたのです。韓国も例外ではありません。もし韓国が現在の状態を変えず、そのままの状態であり続けるなら、来るべき神の怒りを避けることは難しいでしょう。神の怒りは戦争です。北朝鮮は現在凶悪な独裁国家です。彼らには人権や自由はなく、麻薬の製造・販売や偽造通貨の製造を行い、テロリズムを支援する国家だと思われていて、核兵器を開発しようと企てています。彼らは今や核兵器国家だとみなされています。北朝鮮は危険で不安定な段階に達してしまったのです。

最近主は私を再びアメリカに送り返されました。主は私を二度にわたって訓練なさいました。私が韓国から聞いたニュースは韓国がみだらなことや遊興、政府の汚職に満ちているということでした。これらは韓国にとって大きな問題です。多くの地域の預言者たちはもし韓国が悔い改めないならば大災害に直面するだろうと予言しています。戦争がふりかかるでしょう。

幸運にも真実なクリスチャンたちの祈りが天に届いています。神は韓国に悔い改めを迫られ、戦争は経済危機に取りかえられました。神は本来韓国に起きるはずだった戦争がアフガニスタンとイラクに移されたと言われました。

韓国のクリスチャンには悔い改めたが真実な変革を見ることができないと言っている人もいます。私の心は平安ではありませんでした。しかし私がキム・ヨンドゥー牧師によって書かれた『燃える火によるバプテスマ』を読んだ後、平安になりました。この本は信者を主が望まれる状態に作り変える力があります。この本はまた韓国のクリスチャンに真実な変革のための悔い改めをもたらす影響力があります。最後に、主は韓国にもう1度チャンスを与えると確かに約束して下さっています。私はこの本を読む人々が取るに足りない神学的考えや先入観のある意見によって批判しないことを願っています。どうかそれが「神秘主義」だと言って批判しないでください。

聖書は聖徒が生きているときに天国と地獄を体験したり目撃したりすること記録しています(第Ⅱコリント 12:1~4)。聖霊のよりすばらしい賜物を受け取り、さらに深い霊的領域へ入っていく方法は、心から悔い改めるこ

と、断食と夜通しの祈りや長時間の異言の祈りによって自分自身を訓練すること、そして真剣にそれを求めることです。

どうかこれらの貴重な本を読んで他の人々にもお勧めください。私たちは彼らが読んで心から悔い改め、悔い改めが国中に広がることを願っています。これはニネベに与えられたような神の最後のチャンスです。私はみだらなこと、遊興、物質主義、政府の汚職、またお金に対する愛着が消え去り、国家とクリスチャンたちが戦争という災害を逃れることができるように願っています。私はクリスチャンたちが聖霊に燃やされた人となることを望んでいます。

チョー・ホンサム牧師 セントラルチャーチ ワシントンDC アメリカ
(Pastor Cho, Hwang Sam, Central Church, Washington DC (area), USA)

はじめに

主の教会において、私たちは毎晩9時の集会を始めました。最初の集会の間、私たちは約1時間にわたって礼拝と賛美をしながら聖霊において踊ります。私たちはその時取りなしの祈りとそれぞれ異なった必要と課題のための祈りを持ちます。その後、牧師が説教をし、メッセージを宣言するのです。これらは午後11時半までに終わります。私たちは分かち合いと軽食のために30分の休憩を取ります。2番目の集会では、私たちは悪霊追い出しや聖霊の火を分け与えることといった他の牧師の務めをなします。私たちはそれから団結して、または個人的に祈りを始めます。人々は個人的な短いカウンセリングの機会を持つことができます。

しかし、これらのことが書かれたのは、イエスが神の子キリストであることを、あなたがたが信じるため、また、あなたがたが信じて、イエスの御名によっていのちを得るためである。(ヨハネ20:31)

特別な配慮と完全なケアによって、三位一体の神は第1巻から第4巻をすでに出版させて下さいました。第5巻はもうすぐ出版されます。これはすべて主の素晴らしい恵みです。本の1つが出版された時、悪魔とその力が波状攻撃を仕掛けて来て、それは私たちの想像を超えるものでした。第5巻は容赦のない攻撃のために遅らされてきました。私が悪魔と悪霊たちの正体について書き、暴露するようになって以来、私は常に霊的戦いという代価を支払わなければなりません。しかし、私は多くの牧師と夫人たち、信者たちによって強められました。彼らは私が経験していた戦いについて目が開かれ、私の味方となって取りなし、私にメッセージと励ましを与えてくれました。その結果として第5巻が今出版されているのです。

イエス様はかつて私に言いました。「**キム牧師、今から後、あなたは多くの試みと大変な出来事に遭うでしょう。私は特に体の健康によく気を使うよう勧めます。あなたの体はあなたのものではないからです。**」その主の言葉はとても感動的でありがたいものでした。私はとても主に感謝しています。今、私はついに主が私に語られた言葉は本当に重要であったことを悟りました。

私は今でも否定的な批判の言葉や他の教会や炎のバプテスマのミニストリーを理解しない牧師たちからの非難を耳にします。しかし、彼らのうち何人かは主の教会を訪れ、個人的に悪魔との霊的戦いを経験しました。そして彼らはこのミニストリーが三位一体の神によって定められたものであると確信したのです。これは主のミニストリーです。火のバプテスマのミニストリーはクリスチャンが霊的戦いに勝利しなければならないことを確認します。霊的戦いは避けられない過程です。聖霊が経験を通して確証して下さいました。

第5巻において、私は驚くような祈りの応答、勝利を得た霊的戦いの記録、火によるバプテスマの経験の証拠、そして私たちが火によるバプテスマのミニストリーにおいて直面するであろう問題についての主の預言を記録しました。応えられた驚くような祈りは私たちの教会をもっと大きい建物に移したいという願いでした。私たちは711フィート四方(訳注:約20坪)の地下教会から9400フィート四方(訳注:約260坪)の建物に引っ越しました。また、中東において霊的戦いに勝利した記録があります。私たちの教会から25人のメンバーが中東の国々へ各国の特別な支配権を持つ者に対して戦いを挑むために旅をしました。

この本はクリスチャンの人生の多くの時が悪魔や悪霊との霊的戦いであることを確証しています。この本は大いに私たちを目覚めさせます。私はすべての栄光を私がこの本を書き、出版することを助けて下さった主におさげします。私たちは深く仲間の信者たちや牧師たち、また出版社、編集チームに感謝しています。

第1章: 賜物を見分ける能力

** 主は毎日牧師に地獄を経験させることをよしとされる。*

私たちの教会は年中休みなく夜通しの祈りの集会を持ちます。実を言うと、私は自分がリーダーであり牧師であるということが非常に大きい責任であるという事実を否むことができないのです。しかし主は私たちに喜びを持って真剣に祈るよう望まれます。主の励ましによって、力強く祈り叫ぶために進んで引き受ける霊が教会に注がれました。

しかし多くの信者たちが国中から私たちの教会を訪れる中に、彼らの中で静かに住んでいる悪しき力がありました。その悪霊たちは寄生しており、隠された共存関係にありました。その信者たちはその関係に気づかずのん気にしていました。私たちの教会では、その悪霊たちは聖霊の力強い臨在の前に無意識的に自らを現わします。このことが起こった時、私たちは彼らを追い出すより他にないのです。私たちは即座に悪霊を追い出します。悪霊は私と私の教会のメンバーをひどく憎んでいます。それらが追い出される時大きな金切り声をあげて歯をきませるのです。

私が地獄に行くときはいつでも悪の力は私に報復しようとしてたちまち私の周りに集まってきます。それらは私の魂に襲いかかってきます。わが愛する主は悪霊が連隊となって私を苦しめることをお許しになります。悪魔と悪霊の数はだれも想像できないほどに膨大です。悪霊たちは私が国中の信者たちの悪霊追い出しに責任を負っているため、私に対する怒りをあらわにします。「*お前だ！彼は地獄にやってきた！彼を殺せ！！キム牧師は我々の問題の種だ。彼は私たちの頭痛の種なのだ！*」それらは集団で私を攻撃してきます。私の弱い魂はその時苦しみ、悲嘆にくれるのです。それらは私の魂を引き裂き、突き刺し粉々に砕きます。同時に私の肉体も同じだけの痛みと苦しみを受けるのです。私は大声で叫び、転がり、講壇で倒れてしまいます。私はほとんど半分死んでしまうのです。

ある時1人の信者が祈るために私たちの教会を訪れました。その信者が祈っていると、その人は痛みにある私の普通でない光景を目撃することができました。この信者は大きな好奇心で私を見つめていました。この信者は後に涙を流して悔い改め、叫びました。「*牧師先生、私は知りませんでした！私はあなたの本の一冊一冊がこのような痛みと苦しみによって書かれたものだと考えもしませんでした。私はかつてこの本の値段がちよっと高すぎると思いました。どうか私を許して下さい！私は本当に何も知らなかったのです！*」

ある牧師がかつて私たちの教会を訪ねてきました。彼はアメリカから来た牧師で、彼の名はチェ・ウンキュと言いました。私が苦しみながら地獄にいた時、チェ牧師は私を助けようと手を伸ばしました。彼は激しい苦痛にある私を見てかわいそ

うに思ったのです。彼が私に触れるやいなや、彼は地獄に吸い込まれました。彼は個人的に地獄の計り知れない肉体的苦しみを経験したのです。

私の教会のメンバーたちもまた、特に私に触れたり私の近くに来た時地獄の苦しみを何度も経験しています。そのため私が深い祈りに入っている時、彼らはもう私に近寄ってきません。ある時、私は自分が午前1時ごろにトイレに行くことを許してしまいました。私はもう地獄に行きたくはなく、トイレに行けば変わるかもしれないと思ったのです。事実、私はまた地獄を経験するくらいなら死んだ方がましだと思っていました。しかし、主は「キム牧師、急ぎなさい！地獄に行く時間だ！」と言われました。瞬間的に私はその場に倒れ、叫びながら転げ回り始めました。私たちの教会の婦人執事が私を気の毒に思って私にしがみついたり、慰めの言葉をかけたりして私を助けようとしてくれました。しかし、私に触れるとすぐに彼女は倒れて地獄に行きました。その日以来彼女は頻繁に地獄を訪れています。

イエス様はこのことについて説明なさいました。「聖書の多くの領域について間違っていて信じている教会リーダーや信者たちがいるのです。だから、あなたは直接的に経験し、目撃しなければなりません。あなたはそれから彼らに天国の地獄の現実を明確に伝えなければならないのです。これはあなたに任せられた仕事です。キム牧師、あなたには毎日地獄を経験するための多くの時が与えられているのです。」

主のお言葉を聞いて、私は「アーメン」と答えました。その時私は疑いを持ち、自分自身に問いかけました。「何なんだ？私はどんな使命に置かれているのだろうか？天国に入るという神の言葉を信じるだけで十分ではないのだろうか？」私は時々自分自身に問いかけました。

そのためにも、私たちはいつも、あなたがたのために祈っています。どうか、私たちの神が、あなたがたをお召しにふさわしい者にし、また御力によって、善を慕うあらゆる願いと信仰の働きとを全うしてくださいますように。それは、私たちの神であり主であるイエス・キリストの恵みによって、主イエスの御名があなたがたの間であがめられ、あなたがたも主において栄光を受けるためです。(第Ⅱテサロニケ1:11-12)

* 2倍の力の約束

主はその御目をもって、あまねく全地を見渡し、その心をご自分と全く一つになっている人々に御力をあらわしてくださるのです。あなたは、このことについて愚かなことをしました。今から、あなたは数々の戦いに巻き込まれます。

(第Ⅱ歴代誌16:9)

どうか、私たちのうちに働く力によって、私たちの願うところ、思うところのすべてを越えて豊かに施すことのできる方に、教会により、またキリスト・イエスにより、栄光が、世々にわたって、とこしえまでありますように。アーメン。

(エペソ3:20-21)

他の国々においても天国と地獄を訪問した牧会者たちがいます。彼らは霊の領域を数時間だけ訪問し、目撃して務めを果たすために自分たちの国を旅して回ることができます。私が経験していることは比較にならないものです。私はどれだけの間地獄を訪問し続けなければならないのかわかりません。それは主のご計画とご意志であり、私には理解することができないのです。ほとんどの場合、私は1日に1食しか食べることができません。それは私にとって当り前のこととなっています。それは苦しみと地獄を訪れた後遺症のためです。私は自分の健康が心配になり、普通の日常生活に戻ることができるのだろうか思ったりもします。このように考えると、私は時にかろうじて1日に2食取ることができるのです。私は

もともと活発な人間で、バドミントンや他のゲームのようなスポーツをするのが大好きです。そのため、主は私の体をきちんと歩くことができる程度の痛みにとどめておられます。もし私が回復して100%の状態に戻ることができたら、私はきっと自分の注意をスポーツのような他のことに向けてしまうでしょう。主は私の人生を自分のことのために使うことを防いでおられるのです。加えて、私の妻が今頻繁に地獄を訪問しています。妻は私のような激しい痛みを受けませんが、それでも私たちはほぼ同時に地獄を訪問しているのです。結果として、私たちは以前のようにお互いによく関心を払ったり気を遣ったりすることができなくなりました。

それでも、私が地上の両親から健康な体を授かったことは主の恵みです。私は健康に生まれました。それで私はよく耐えることができます。私はいつも主に感謝しています。三位一体の神はいつも私に同じことを語られます。「キム牧師、あなたが地獄を訪問するたびにあなたは2倍の力を受けられるでしょう。だから不平を言わずに最後まで耐え抜きなさい！わかりましたか？」

私は主に同じ質問をします。「主よ！お願いします、どうか私をただ平安のうちにおいでくださいませんか？」イエス様は私に答えます。「キム牧師！不必要なことを語らないようにしなさい。今すぐ地獄に行こう。あなたは人々に地獄について語るなければならない。あなたは悪魔と悪しき力の正体を暴露する務めを任されてきた。さらに、あなたが地獄を訪問する度に、あなたは2倍の力を与えられます。その力は増し加えられ続けるでしょう！なぜあなたは力を与えられることを望もうとしないのだ？」主が語られると、彼は私の背中と頭を優しくなでてくださいました。私はそれで自分自身を強いて従わせるようにしたのです。「いいえ、私は可能な限りの力をお受けしたいと望んでいます！」私はいつも主と親しく話をするのですが、地獄を経験することですっかり疲れ果て、体も消耗してしまいます。だから私はかんしゃくを起こしてしまうでしょう。それでも愛する主は耳を傾け、優しく理解して下さいました。だから、私は心から主に感謝しているのです。また、私を支えてくれる兄弟姉妹たちもいます。彼らは私が祈る時いつでも傍にいてくれるので私が床に倒れこむときに受け止めて落ちるのを防いでくれます。リー・ファンサン執事、ミン・ソ兄弟、ヒョク・ファン兄弟、そしてみんなが日々助けてくれました。

「私たちは、私たちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛のうちにいる者は神のうちにおり、神もその人のうちにおられます。」(Iヨハネ4:16)

* 離れていく兵士たち

テモテよ。ゆだねられたものを守りなさい。そして、俗悪なむだ話、また、まちがって「靈知」と呼ばれる反対論を避けなさい。これを公然と主張したある人たちは、信仰からはずれてしまいました。恵みが、あなたがたとともにありますように。

(Iテモテ6:20-21)

あなたは、何とかして、早く私のところに来てください。デマスは今の世を愛し、私を捨ててテサロニケに行ってしまう、また、クレスケンスはガラテヤに、テスはダルマテヤに行ったからです。ルカだけは私とともにおります。マルコを伴って、いっしょに来てください。彼は私の務めのために役に立つからです。(IIテモテ4:9-11)

時折、次のようなコメントをする人たちがいます。「教会がもし過度に祈り霊的戦いに没頭していったら危険、あるいは脅威になることもある。そのような教会の特徴は荒々しく頑固になるということだ。彼らは問題や試みを与える悪魔を怒らせだろう。もし毎日悪しき力との霊的戦いが行われるなら、それがいつ終わるというのか？」

しかし、私を聖霊のミニストリーの中に置かれたのは確かに主なのです。私はイエス様の力強い導きによって火のミニストリーに導かれました。最初、私は自分のミニストリーは多くの人々に喜んで受け入れられると考えていました。しかし、その考えは間違っていたのです。同じようなミニストリー（聖霊と賜物）に関して多くの人々は異口同音に私を批判します。彼らは互いに非難しあつてさえているのです。

私は自分と同じ種のミニストリーを行う牧師たちを観察するうちに、彼らが自分たちのミニストリーが最も素晴らしく、バランスがとれている、あるいは最もユニークであると自慢していることに気づきました。私はとても落胆しました。このことについて考えると、私もこれらの罪を犯して高慢に陥ってしまう可能性があることに気づきました。

多くの人々は霊的な賜物や経験を願っています。彼らは異言や預言、見通す賜物やビジョン、霊の目が開かれることなどといった賜物を切望し、探し求めています。人々が様々な賜物を経験すると、彼らは自分の霊的賜物や経験が誰にも劣らないものだと考えるようになったのです。しかし霊的領域における私の経験に基づいて言うと、彼らが経験していることは数え切れないほどの砂粒のうちの1粒にすぎないのです。もし彼らが他の霊的賜物や経験を受けることができても、それはまるで彼らが他の砂粒を当り前だとみなしてきたようです。さらに、この1つだけの砂粒は非常に多くの粒に分けることができます。このことは例えば、1つの細胞が分裂して数百万にまで分かれるというように繰り返し言われています。賜物を受けたり霊的な経験をしたりすることも似たような法則です。信者が経験し続けるならば、彼らは数百万のうちから他の粒を獲得することができるのです。

だから、私たちには霊的な領域の本質を完全に想像したり、知ったり、議論したりすることはできません。これは人が「私はこの道の達人だ」と言うことのできないことなのです。それにも関わらず、自分の教会をあたかも何か不思議な力を持っているかのように思っている多くの牧師たちがいます。彼らはまた自分たちの教会は終わりの時にあつて出席すべき正しい教会であると自慢しているのです。彼らはさらに自分たちの教会は主がおられ、また神の真実な僕である真実な教会だと言っています。彼らは自分たちの教会がもっともバランスのとれた教会だと信じているのです。しかし実際は多くの場合において偏っています。これは彼らの意見であり彼ら自身の考え方です。

それぞれの信者に与えられる賜物はすべて異なっています。主は韓国におけるさまざまな教会の特徴や信者たちの違いを認めておられます。主は焦って私たちを変え正そうとはなさいません。そうではなくて、主は私たちの生活のよいところを引き出し、利用されるでしょう。つまり、主は私たちの不足を補ってください。主がなさることとは反対に、私たちは子供たちや他の信者が私たちの方法や好みに慣れるようにしようとしています。言い換えると、私たちは彼らに自分たちのやり方に従ってほしいのです。これが多くの問題や副作用が起こる理由です。

確かに、神は私たちとともに働かれる時様々な聖霊のミニストリーに導かれます。私たちが経験してきたすべての出来事の中で、見えない悪霊との戦いは私たちの理解、考えや感覚を超えたものでした。それは私たちの想像を超えていたのです。困難な戦いのさなかで、主の大きな慰めと貴重な仲間の牧師たちは私の力でした。

すべての教会はおそらく同じような状況にあるでしょう。しかし、主の教会は私たちが決して警戒を解くことのできない霊的戦場にあるようです。神に大きく用いられた働き人たちは主の教会に集まり始めています。彼らは一人ずつやってき始めました。これらの働き人の中には牧会リーダー多くの平信徒たちがいました。しかし、彼らは肉によって働き始めたのです。彼らは極端に、また競争的になり、嫉妬を起し、利己的になり、また他の人よりも偉大になろうと始めました。結果として、それらの人々は個人的な分派をもたらした考えや感情に捕えられてしまいました。その時、彼らは皆主の教会

を離れていきました。

神はこれらの兵士たちに大きな計画を持っておられました。彼らのために計画されたビジョンがあったのです。その時私は兵士たちが肉に支配されて離れていくのを見ました。私は自分が見たことに大変傷つきました。私は無気力になってしまいました。私は彼らと一緒にいて彼らを励まし、また彼らと戦いました。それでも、私はどんな戦争においても戦線離脱してしまう兵士がいると知ることによって自分自身を慰めました。彼らは霊的戦いがなく快適なところを求めて去ってしまったのです。しかし、私たちはそんな安全地帯はないということを悟らなければなりません。どこにもないのです。これが事実なのです。神の兵士たち墮落させるための多くの罠が限りなく仕掛けられています。私は神の兵士たちが捕らえられ立ち去って行くのを見てとても苦しみました。それゆえに、私は主に何度も嘆願したのです。

神の兵士たちが離れていった出来事を経験した後、愛に満ちた私たちの主はさらに多くの素晴らしい兵士たちを送って下さいました。新しい主の兵士たちは強く、勇敢で誠実でした。私たちは去ってしまった兵士が補充されるのを目撃し、新しい軍隊に驚きました。彼らは整えられ、準備ができています。

見渡してみると、私たちはかつて神に大きく用いられた多くの人々がいるのを見ることができます。希望に満ちた将来を持った多くの霊的な人々もいます。しかし、彼らの中には神の恵みと祝福の中にとどまって歩まず、霊的失敗者になってしまう人もいます。これらの状況を目にする時、教会のメンバーと私は集まって自己満足に陥らないようにします。主は彼らを憎むのではなく彼ら抱きしめ祝福が望むように祈ってあげなさいと語られました。私たちは彼らが帰ってくるのを待っています。

真理のこぼれと神の力により、また、左右の手に持っている義の武器により、また、ほめられたり、そしられたり、悪評を受けたり、好評を博したりすることによって、自分を神のしもべとして推薦しているのです。私たちは人をだます者のように見えても、真実であり、（Ⅱコリント6:7-8）

キリスト・イエスのりっぱな兵士として、私と苦しみをともにしてください。兵役についていながら、日常生活のことに掛かり合っている者はだれもありません。それは徴募した者を喜ばせるためです。（Ⅱテモテ2:3-4）

主は実に目を追うごとに強力な信仰を与えて下さいます。私たちの信仰と願いに応じてくださるのは神なのです。神は私たちにとても多くの可能性を与えておられます。

するとイエスは言われた。「できるものなら、と言うのか。信じる者には、どんなことでもできるのです。」（マルコ9:23）

人々を通して現わされた多様な力や賜物があります。しかし、忘れてはならない1つの大切なことがあります。力や賜物はそれを持っている信仰の段階やレベルを保証しないということです。また性格の問題でもありません。私は人々が賜物や力のゆえに自信過剰で尊大になることに驚き、ショックを受けました。時に人々に不可能なことを成させるのは神なのです。私たちは隠された力は確かに神のものであるということを忘れてはなりません。私たちは幼い少年が5つのパンと2匹の魚を捧げた少年のように自分自身を犠牲として捧げる必要があります。その犠牲と最も小さき者たちの献身がより多くの身を結ぶでしょう。

主の教会の中には教会に忠実に仕える最も小さき者たちがたくさんいます。彼らは貧しく困難な状況の中にあって、それ

でも仕えてくれる目立たない人たちです。主は多くの魂たちがこれらの人々を通して変えられるだろうと言われました。多くの主の教会に来た信者たちは非常に疲れ、苦勞して働きました。しかし彼らは将来他の人々よりも強く力に満ち溢れるでしょう。私はすべての栄光をここまで導いて下さった主にお捧げします。私はこの恵みを主の教会の疲れた魂たちや自分を捨てたメンバーたちと分かち合いたいと思います。私は長い間この恵みを分かち合うことができるように願っています。ハレルヤ！

* 神が喜ばれる礼拝

救いはユダヤ人から出るので、わたしたちは知って礼拝していますが、あなたがたは知らないで礼拝しています。しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。

(ヨハネ4:22-24)

韓国教会に置いて神に捧げられるすべての礼拝は単調なものです。それは教会が小さいかメガチャーチかが問題ではありません。彼らは自分たちの礼拝を順序が書かれた週報に従って進めるのです。私は彼らが礼拝の形式を変える兆候をなんら見出すことができません。開かれた礼拝がありますと言う教会もありますが、日曜の午後礼拝は同じ形式なのです。私たちの教会を訪れる多くのクリスチャンたちは同じような質問をします。「牧師先生、主の教会の日曜午後礼拝はどのような形式で行っているのですか？」

私は長老派教会の牧師として17年間牧会をしてきました。最初の13年私たちの教会は他の一般的な教会と特に違いはありませんでした。私の礼拝や集会も普通のものだったのです。私が個人的にイエス様との出会いを経験して以来、伝統的な普通の礼拝形式は全く価値のないものになってしまったのです。

これは私の見解です。もし私たちが少なくとも適切な礼拝と集会を神に捧げることができるなら、私は最も小さい問題から最も大きい問題までいつでも完全に解決されると信じています。私が初めて個人的にイエス様と出会った時、多くの明らかな変化が私に起こりました。その私の内なる変化はさらに進み、私のミニストリーにも影響を及ぼしました。私のミニストリーは根本から変わっていたのです。

イエス様全く制限されないお方です。彼は私たちを今まで導いてこられ、これからも導き続けられます。彼は私たちがもはや奴隷ではなく、私たちが重要だと考え人生を通して縛られてきたあらゆるもの下にはいないということを確認させて下さっています。主はまたとても型にはまらないお方です。多くの人々は聖霊の力を求め、偉大な力を見えています。しかし主は私たちの人生には犠牲にして捧げなければならない多くの領域や物事があると言われました。彼は時に私たちの性格を利用なさいますが、それよりも私たちが神学や計画(私たちは主のためだと思っているが、実際には自分たちのためである計画)を含めた自分の考えや願いを犠牲として捧げることを願われるのです。

主は私に世界中の異なった礼拝について多くのことを語られました。イエス様は私には応えることが困難なこれらの問題について語られました。彼はまた悩ませる他の多くのことについて語られ、私に判断を保留するように要求されました。あるとき、イエス様は私に次のように尋ねられました。「わたしの愛するキム牧師、礼拝の形式にこだわるのが大切ですか？それとも礼拝を受ける人の感覚や感情がより重要ですか？」私はすぐに答えることができず、ためらってしまいました。私たちは全員が既に礼拝の重要性を知ったので、もうその答えを繰り返す必要はありません。主は私がかかりの間ためらった時以来、そのことを説明して下さいました。

「礼拝の順序や形式は重要でしょうが、わたしが喜んで受け入れる礼拝をあなたが捧げることの方がもっと重要なのです。わたしはすべての信者が喜びを持って礼拝に参加することを望んでいます。喜びにあふれた礼拝はわたしを喜ばせます。キム牧師、あなたが礼拝を導く時、あなたは会衆とともに霊にあって踊るべきです。踊りながら、喜びに満ち溢れ、楽しんで、感謝をささげて礼拝を導きなさい。賛美し喜びなさい！父、聖霊、そして私が唯一このような礼拝を受け取り、またともに参加するのです。」

現在、韓国の教会には受動的で機械的な礼拝をたくさん持っている教会があります。質の高い説教を聞こうと探し求めている人々がいる礼拝があります。歌と賛美だけの礼拝もあります。しかし、本当の礼拝はすべての魂が満ち満ちた聖霊様の中でもとに参加するときになされます。本当の礼拝はニュースキャスターのように雄弁な美声のリーダーではありません。真実な礼拝は礼拝と賛美を歌って導くソロシンガーでもありません。私にはほんの少ない人数の人々が礼拝の本当の参加者であるという感情を取り除くことができません。

ある日、外の教会の信者が私たちの教会を訪ねて来て、主からのメッセージの内容を分かち合いました。そのメッセージはその信者の教会の分析でした。彼女は1000人を超えるメンバーがいる教会に出席していました。彼女はまずその教会が建物にも運営も不足はないと述べて自分の教会を紹介しました。彼女はさらに主任牧師を誇りに思ってきたと言いました。彼女はその主任牧師の説教に何の欠点もないと思っていました。しかしある日、礼拝の途中で主が突然彼女に現れて尋ねたのです。「この牧師はわたしについて説教しているのだろうか、それとも彼自身の教理を主張しているのだろうか？彼は一体何を語っているのだ？」彼女は恐怖で震えたと言いました。

現在、韓国の教会は何の欠けもない形式を持って前進しています。韓国の教会は何の欠けもない人々で満ちています。彼らは欠けのない説教を聞いていて、自分たちの運営システムは完璧で、建物のインテリアが豪華に見えると思っているのです。こういうタイプの教会がだんだん増えてきています。もしこれらがラオデキヤ教会にというタイプに属するのであるならば、主は一体何を語ろうとしておられるのでしょうか？

「わたしは、あなたの行ないを知っている。あなたは、冷たくもなく、熱くもない。わたしはむしろ、あなたが冷たいか、熱いかであってほしい。このように、あなたはなまぬるく、熱くも冷たくもないので、わたしの口からあなたを吐き出そう。あなたは、自分は富んでいる、豊かになった、乏しいものは何もないと言って、実は自分がみじめで、哀れで、貧しくて、盲目で、裸の者であることを知らない。わたしはあなたに忠告する。豊かな者となるために、火で精練された金をわたしから買いなさい。また、あなたの裸の恥を現わさないために着る白い衣を買いなさい。また、目が見えるようになるため、目に塗る目薬を買いなさい。（黙示録3:15-18）」

終わりの時に、ラオデキヤ教会がこの時代が終わる前の最後の教会となるでしょう。何も乏しいことがなくて人間的な見方で自分たちは完璧だと思っている教会は主によってみすぼらしいとみなされるでしょう。このみすぼらしい教会は自己満足に陥っており、自分の思いや考えによって惑わされてしまっているのです。このような教会の人々は週報に書かれた教会の統計を評価することを楽しんでいる人たちです。例えば、入ってくる献金額や出席人数を見ます。また彼らは壮大な建物や座席に大変な誇りを持っているのです。ラオデキヤの教会は主の基準からはかけ離れた状態にあります。彼らの恥は彼らのありのままの姿を通して露わにされます。

人々が質の良い商品や製品を持っているのなら、彼らはそれをギフトショップに飾ろうとするでしょう。私たちの信仰も同

じだと言われます。彼らの信仰は本物ではないにもかかわらず、彼らはあたかも信仰があるふりをするのです。これは教会中の主要な問題点です。信仰は強調されていますが、真剣に受け取られてはいません。教会における務めや、キャリアや、他の働きで自分自身を喜ばし、甘やかしている人々がいます。あなたにはこれらのまぬくい者のうちどれだけがそこから出てくるかわからないでしょう。しかし、主はその問題の本質を暴露されるので私たちは自分たちの偽善を直していくでしょう。彼は必要に応じて私たちを叱責されます。主に私たちの秘密の罪を正すことができにらないでしょうか？

私は何をもって主の前に進み行き、いと高き神の前にひれ伏そうか。全焼のいけにえ、一歳の子牛をもって御前に進み行くべきだろうか。主は幾千の雄羊、幾万の油を喜ばれるだろうか。私の犯したそむきの罪のために、私の長子をささげるべきだろうか。私のたましいの罪のために、私に生まれた子をささげるべきだろうか。主はあなたに告げられた。人よ。何が良いことなのか。主は何をあなたに求めておられるのか。それは、ただ公義を行ない、誠実を愛し、へりくだってあなたの神とともに歩むことではないか。(ミカ6:6-8)

私を含めて主の教会の全メンバーはすべてを変え始めました。私たちは、建物、態度など実にすべてを変えました。最も小さい考えから最も小さな習慣に至るまで、私たちの教会が成し遂げてきたことや計画してきたすべての領域は変えられたのです。私たちは主の願いに向かって前進すると決意しました。私たちは教会の礼拝形式をわきに置き、聖霊様の御業に焦点を合わせました。私たちは完全に聖霊の御業に自分たちを明け渡しました。私たちが変革されている間、周りの人たちは私たちの教会を反感の目で見、判断を下しました。友人たち、メンバーたち、また近親や親族たちも様々なコメントをしました。しかし、私たちの教会は決して存在する秩序を崩してしまうことはありませんでした。そうではなくて、私たちはより聖書的になったのです。主はまたご自身を現わされ、積極的に介入されました。その結果、教会員たちはより自由と力を経験し始めたのです。多くの牧師たちや平信徒たちが私たちのミニストリーに参加しました。

私たちはもしそれが主の望まれる信仰でなかったのなら自分たちの働きに適応することはできなかったでしょう。そのような信仰とは何でしょうか？それはすべての信頼を主に置くことです。私たちがすべての問題を神にゆだねると、私たちは自分自身のすべてを神に向けます。そうすると神は私たちのために特別に働いて下さいました。教会にいる間、私たちはまるでリバイバルの中にいるように礼拝を捧げました。聖霊様は力強く働かれました。私たちは霊にあって踊り、歌いました。礼拝を続け、私たちは讚美歌のメドレーを歌いました。最近、私たちの聖なる踊りが進展しています。多様な聖なる踊りが現わされました。聖なる踊りは幼稚園児、小学生、中学生、高校生、若者、そして男性女性のミッションチームを通して進められています。

少年たちと少女たちの両方、そして年配と子供たちの両方、つまり次の御言葉ようなことです。

若い男よ。若い女よ。年老いた者と幼い者よ。彼らに主の名をほめたたえさせよ。主の御名だけがあがめられ、その威光は地と天の上にあるからだ。主は、その民の角を上げられた。主の聖徒たち、主の近くにいる民、イスラエルの子らの賛美を。ハレルヤ。(詩編148:12-14)

他の教会の会衆の多くが礼拝と賛美の間に踊ることを願っています。しかし、ほとんどの教会が聖さと教会秩序が重要なのですなどと言って彼らを止めるのです。信者たちの中には聖なる御手によるダンスと悪霊の働きとしてのダンスの動きを観察している者たちもいます。一方で、彼らはただじっと見ているだけで人を満たしている霊を気味悪いものだと決めつけてしまうのです。彼らは力を求め、口の言葉で主を求めると言っていますが実際には聖霊の働きを否定し、拒絶して

いるのです。これは皮肉なことです。

そこで主は仰せられた。「この民は口先で近づき、くちびるでわたしをあがめるが、その心はわたしから遠く離れている。彼らがわたしを恐れるのは、人間の命令を教え込まれたことにすぎない。」（イザヤ29:13）

私たちの教会では私たちは日曜午後礼拝の間、霊にあって踊ります。私たちはその時一人の人がすべての祈りをするよりもむしろ、30分ほど一斉にともに祈ります。牧師（私）がそれから説教をし、力強いメッセージを宣言します。メッセージの後、私たちは献金を捧げます。最後に、私たちは祝福の祈りをもって礼拝を終えます。礼拝と賛美が最高潮に達している時、イエス様と聖霊様は踊られます。父なる神も時に立ちあがって御座から降りられます。父なる神は御足を踏みならされます。父なる神は彼に向かって立ち上る礼拝と賛美にとっても喜ばれ、満足されます。

私たちは礼拝にカテゴリーを付けたりはしません。韓国においては礼拝のタイプやカテゴリーがあります。静かなものもあれば、大声でするものもあり、またオープン礼拝などもあります。私たちは信仰を持って、すばらしく喜びに満ちた心でなされる誠実な礼拝が神に捧げられるために求められているということを心に留めておかなければなりません。それは聖霊様のご意思によって捧げられなければなりません。

**イエス様か、それともカルバンか？*

長老派の中では誰もマルティン・ルターやジャン・カルバンの考えや教理に反論したり、否定的に語ったりすることは許されません。宗教改革があつて今に至るまで、長老教会はカルバン主義の伝統を通して絶え間ない成長を成し遂げてきました。それは難攻不落の要塞になってきたのです。私は以前長老派牧師であり、カルバン主義の支持者でした。私は教え込まれ、儀式的な行為、伝統、神学、また長老教会の理論に慣れてしまっていました。今は、私は多くの霊的な賜物と力を持つことを真剣に願っています。一方で、私はいつでもカルバン主義を大いに誇っていました。これは何年も変わらないでしょう。

主は私にさらなる変化を要求されました。主は私の型にはまった意識からカルバン主義の教理を崩すことが私にとって難しいことであると既に知っておられました。それゆえに、主は様々な主題について語られ始めました。数日間、主は私にチャレンジを与えられ、質問をし、また物事を提案し続けられました。しかし、私は非常に困惑してしまいました。私は真実な変革を求めて叫んでいました。しかし私の声と態度は実にはありきたりだったのです。私は変革されることができませんでした。私は本当には変革されることを望んでいなかったのです。そして私の強情な固執は露わにされていました。主は私に尋ねられました。「**キム牧師！あなたはすべてのことを私の意志に従ってなすと言ったではないか。あなた自身の口で、あなたはすべてを捧げると言ったではないか。なぜすべてを捧げないのだ？あなたはカルバンを好むのか？それともわたしをより好むのか？もし私があなたに選べと言ったらあなたはどちらを選ぶのだ？**」

長い間私はためらっていました。私はその時イエス様にくだらない質問をしたのです。「主よ、あなたは第一であり、すべてを超えて最高のお方です。しかし、私の考え方ではルターとカルバンは最も聖書的です。彼らはプロテスタント改革を始めた信頼のできる人たちです。彼らは自分たちの人生に危険を冒しました。彼らは教理のシステムや秩序、そして教会のシステムを民主的に作り上げ、また広げました。そうですよね？」

主は「**つまり、あなたはカルバンとルターを私以上に愛すると言っているのだね？**」と答えられました。私は低調に頭を下げて言いました。「いいえ、私はあなたの方をより愛しています。あなたが一番です！」

主は私たちが伝統的な理解を下に置くことを求めておられます。私たちの型にはまった考えや、判断や、伝統を含めてです。現在、牧師たちは自分たちの会衆を自分たちの教理に従って変えようとしています。しかし、主は牧師たちが自分たちは何者かを認識し、また彼らの強さを引き出すことを望んでおられます。強さの中にあつて、彼らは主によく仕えることができるのです。

天国の現実には多様性と相違性に基ついています。それはありふれたものではなく、均一なものでもありません。これは教会にも当てはまります。主は教会が異なった特徴や個性を認めることを期待し、願っておられます。彼は教会の人々が各々の特別な才能を利用するよう願っておられますが、同時に調和とバランスも願っておられます。例えば、私たちが隣人の家を見学する時、家の外装は同じように見えても、その中、つまりそれぞれの家庭の雰囲気は異なります。ある家庭は風格のある厳しい父によって支配されているかもしれません。失敗は許されず、その結果、家族たちは息を詰まらせていて制限の存在が家庭を運営しています。もし家族たちが聞き従わないなら、その父親は無情にも強く叱責するでしょう。家族はまるで少しの凍るような冷たい水がいつもあるかのように扱われます。誰も自由に息をすることができません。その家庭は気おくれしているように感じるでしょう。ある家庭は情熱がありません。彼らは悲しみと絶望に染まっています。その家庭も家族たちを息詰まらせます。議論が支配する家庭もあります。そこには肉体的な喧嘩があり、見えない壁が隣人たちの上に築かれ、嫉妬とねたみが家庭と隣人たちとの間で標準になっています。その家庭は殴り合いの喧嘩に至ることもあります。

反対に、ある家庭にはいつでも平和と喜び、楽しさ、そしてあふれるほどの満足感があります。さらに、すべての家族たちは互いに遠ざかることはありません。そこには心地よさと愛があふれているのです。それでも、もっとたくさんの異なった特徴をもった家庭があります。神の教会も同じです。

主は教会の礼拝について議論されました。主が言われるには、教会の雰囲気はとても重要です。主は私たちが特に互いに愛を持って抱き合い、欠点や失敗を覆いあうことを願っておられます。主はさらに聖霊に満ちあふれ、楽しく調和した礼拝を望んでおられます。主は人々が礼拝中に裁く時大変不快になられます。特に、礼拝の間に行われていることを非難する時です。私は忍耐が苦手な人物なので、私はこの領域での不完全さのために何度か主に叱責されました。

「あなたがたの多くのいけにえは、わたしに何になろう。」と、主は仰せられる。「わたしは、雄羊の全焼のいけにえや、肥えた家畜の脂肪に飽きた。雄牛、子羊、雄やぎの血も喜ばない。あなたがたは、わたしに会いに出て来るが、だれが、わたしの庭を踏みつけよ、とあなたがたに求めたのか。もう、むなしいささげ物を携えて来るな。香の煙——それもわたしの忌みきらうもの。新月の祭りや安息日——会合の召集、不義と、きよめの集会、これにわたしは耐えられない。あなたがたの新月の祭りや例祭を、わたしの心は憎む。それはわたしの重荷となり、わたしは負うのに疲れ果てた。あなたがたが手を差し伸べて祈っても、わたしはあなたがたから目をそらす。どんなに祈りを増し加えても、聞くことはない。あなたがたの手は血まみれだ。洗え。身をきよめよ。わたしの前で、あなたがたの悪を取り除け。悪事を働くのをやめよ。善をなすことを習い、公正を求め、しいたげる者を正し、みなしごのために正しいさばきをなし、やもめのために弁護せよ。」(イザヤ 1:11-17)

* スティーブ・トムソン牧師との出会い

2006年12月19日、神はスティーブ・トムソン牧師との予期しなかった出会いを用意してくださいました。トムソン牧師はよく知られている世界的預言者です。その時、私は彼について聞いたことがありませんでした。私には彼が誰なのか知るすべもありませんでした。霊的な外国の本を訳す傾向があることで知られている韓国の出版社にソーン・ジュン・ハン・

ナ・デという出版社があります。この出版社の社長は牧師です。グンサン市にある「私たちの教会」のキム・クワンソン牧師と、その社長であるリー・ゲジュン牧師が私をスティーブ・トムソン牧師のところに導いて下さいました。トムソン牧師はソウル市の教会で預言的リバイバル集会を行われていました。トムソン牧師と彼のチームと私はともに昼食の時を持ちました。

スティーブ・トムソン牧師は預言者であり、また牧師です。彼は世界的な預言者です。彼はリック・ジョイナー主任牧師の教会で仕えておられます。リック・ジョイナー牧師はアメリカのノースカロライナ州シャーロットにモーニング・スター出版を立て上げられました。私が思うに、トムソン牧師は預言的ミニストリーの領域では世界レベルで大いに用いられています。多くの人が彼のことを認めているようです。いくつかの韓国教会もまた彼を預言的リバイバルのためのゲストとして招いてきました。私のような無名の牧師が世界的預言者とお会いしているということはなんと驚くべき神の恵みでしょうか。スティーブ・トムソン牧師はとても若く見え、ほとんどユースパスターであるように見えました。

全部で10人の人たちが一緒にランチを食べていました。会話の中ごろに、トムソン牧師は私を指さして手でジェスチャーをしました。彼は輝くような満面の笑みで顔を左右に動かしました。突然彼は私に対して預言をし始めました。「ああ、神様が私にキム牧師に向かって語るよう命じられています！」彼は私が現在行っているミニストリーや導いている礼拝のタイプについての的確に言い当てました。彼は過去と現在、そして未来に至るまでの私の状況について預言しました。「韓国において、多くの教会は大きくなりすぎました。外見上は、彼らは聖なる敬虔な礼拝を捧げています。でも、内側は空虚でいのちがないのです！神はこのような慣れきった礼拝を望んではおられません。何が神の受け入れられる聖なる敬虔な礼拝かという点についての神様の認識は人々が普通思っているものとは違います。しかし今、あなたの礼拝の仕方は楽しく生き生きとしています。それこそが喜ばしく、神に受け入れられる聖なる敬虔な礼拝なのです。ところで、どのようにしてあなたはそんなに神様を笑わすことができるのですか？どうしてあなたはそんなにユーモラスになれるのですか？あなたはとてもおもしろいですね。神様はとても喜んでおられ、幸せだと思っていられたいです！」私はトムソン牧師がおっしゃったことにとても驚きました。彼は次のように続けました。「キム牧師、神様は最も強力な聖なる火を注いでおられます。この炎は常に力強く燃えており、あなたは多くの人々を導くようになるでしょう！」トムソン牧師はそれから私の妻についても預言しました。「カン・ヒョンジャ姉妹、あなたとあなたの夫はチームとなってミニストリーを導いていますね。そのようになされたのは神ご自身です。あなたは情熱的に、また力強く聖なる踊りを踊っています。あなたとキム牧師は特に強力な霊的識別の賜物を聖なる火から受け取ってきました。見分ける力は重要なものです。例えば、もしあなたが何事に対しても不確かであるならば、あなたは妻に尋ねればその問題はさっと解決されるでしょう！」

私たちが聞いていると、妻と私を含めた全員がトムソン牧師はちょうど指標の上に乗っていますねと大声で言って笑いました。実際、トムソン牧師が正確に識別していることはとても自然でした。私たちはみな同じ神を信じる者であり、私たちはみな同じ聖霊をうちに持っているのです。

最初、私は「なるほど、ではちょっと待つて何が起こるか見てみよう」と思っていました。その時私は自分の考えていることにちょっとプライドを持っていたのだと思いました。あの日のトムソン牧師や彼のチームとの出会いはとても特別で有益なものでした。その出会いは互いにミニストリーを確信する機会を与えてくれました。それはとても意義深いことです。自分たちの本を交換した後、私たちは互いを覚えようと一緒に写真を取りました。それから私たちは別れました。

* 誰も自分の先祖の罪を悔い改めることはできない

未信者が亡くなった時、その人は魂かあるいは幽霊になると言っている理論があります。クリスチャンがそのようなことを言う時、彼らはクリスチャンから悪霊に取りつかれた占い師や魔術師と同じ低レベルまで身を落とすのです。おそらく、悪

霊追い出しをする牧師たちにはこのような理論に対して責任があります。時々、悪霊が離れる時に、それらは「私はおまえの何とかかんとかの先祖だ」とうそをつくことがあります。もしかしたら、悪霊は自分たちが彼らの祖父と祖母なのだと言うかもしれません。悪霊追い出しをする牧師の中にはそれらの悪霊が言うことを信じてしまう人もいます。その悪霊とそれらの力は常にうそつきです。それらは自分たちについて誤った認識を持たせ、混乱を起こそうとたくらんでいます。それらはうそを間違った情報と一緒に詰め込んで真実として売っているのです。どうして彼らは悪霊が言うことを丸のみにして信じることができるのでしょうか？悪霊を追い出す人々は道に迷って誤った方向に導いてしまったことを言い訳するべきではありません。

ある人々の間では、先祖の罪によって苦しめられているという概念が実に通説化しています。多くの人々はこの考え方を固く信じて受け入れています。しかし、多くの変わってゆくものがあり、私たちは神がすべてを治めておられるということを心に刻まなければなりません。

神はイエス様をこの世に送られ、彼を私たちの罪のための贖いのいけにえとなさいました。イエス様は私たちの和解のいけにえとなられたのです。子孫たちが決意をして先祖たちのすべての罪の代価を支払うのは不可能です。こんなことがあるはずがありません。たとえある人の人生の中に、例えば経済的な問題のように何か悪いことが起こったとしても、それを先祖の罪のために妨げられているなどと思てはいけません。さらに、世代にわたるのろいを打ち破ることはばかげたことです。彼らの問題は自分自身の信仰の問題です。人が直面するであろう問題は先祖の代わりとして悔い改める問題ではありません。悪霊は注意をしない全家庭にはたらくことができます。悪霊が働くことのできない場所などないのではないのでしょうか？

もしそうでなかったら、世の初めから幾度も苦難を受けなければならなかったでしょう。しかしキリストは、ただ一度、今の世の終わりに、ご自身をいけにえとして罪を取り除くために、来られたのです。(ヘブル9:26)

したがって、ご自分によって神に近づく人々を、完全に救うことができになります。キリストはいつも生きていて、彼らのために、とりなしをしておられるからです。ほかの大祭司たちとは違い、キリストには、まず自分の罪のために、その次に、民の罪のために毎日いけにえをささげる必要はありません。というのは、キリストは自分自身をささげ、ただ一度でこのことを成し遂げられたからです。(ヘブル7:25、27)

キリストも、多くの人の罪を負うために一度、ご自身をささげられましたが、二度目は、罪を負うためではなく、彼を待ち望んでいる人々の救いのために来られるのです。(ヘブル9:28)

この方こそ、私たちの罪のための、——私たちの罪だけでなく全世界のための、——なだめの供え物なのです。(Iヨハネ2:2)

兄弟を愛する者は、光の中にとどまり、つまづくことはありません。(Iヨハネ2:10)

あなたがたは、『なぜ、その子は父の咎の罰を負わなくてよいのか。』と言う。その子は、公義と正義とを行ない、わたしのすべてのおきてを守り行なったので、必ず生きる。罪を犯した者は、その者が死に、子は父の咎について負いめがなく、父も子の咎について負いめがない。正しい者の義はその者に帰し、悪者の悪はその者に帰する。

(エゼキエル18:19-20)

* 賜物を見分けること

人々が神から賜物を受け取る時、彼らはその賜物を一生持ち続けるだろうと考えます。しかしそうではありません。ひとたび私たちが賜物を受け取ると、悪霊は続けて攻撃をしかけてくるでしょう。私たちは特に賜物を用い始めた時攻撃を受けました。悪霊は賜物を持つ人を惑わしたいと願っています。悪霊は賜物を役に立たないものにしようとも気も狂わんばかりにたくらんでいるのです。だから賜物を適切に保持するためにはとても多くの祈りが必要なのです。肉体的な領域において、私たちの人生はとぎれなく疲れ、時にはへとへとになってしまいます。

預言の賜物は教会を立上げなければなりません。私たちが預言する時、過去、現在、未来がすべてつながってともに流れていきます。人々の心が開いているか、また人々が受け入れるかによってその預言は適切に実現することもしないこともあるのです。

開かれた五感をもって預言できるというタイプの預言があります。そこには惑わされる多くの可能性があるため、わたしたちは常に油断することなく、堅い守りをもっていなければなりません。私たちにとっての守りとは力強い神の御言葉と力強い祈りです。私の場合、完全に主の恵みによってこのようなミニストリーに導きいられました。しかし、私が困難に遭い、私のミニストリーが扱いにくくなった時、私は不平不満をもらしました。主はその時私を慰め、言われました。「もし山がとても高いなら、あなたは山にトンネルを作らなければなりません。もし谷がとても深いなら、支柱を立てて橋をかけなければなりません。これがあなたのやっていることです。キム牧師、あなたは道を作っているのです。あなたは建て上げるという大変な仕事をしています。キム牧師、たとえあなたが困難の中を歩むとしても、あなたの後ろにつき従ってくる魂たちがいて、彼らにとってはその方がずっと容易なのです。だからしっかり耐えなさい！」

わたしには、あなたがたに話すことがまだたくさんありますが、今あなたがたはそれに耐える力がありません。しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導き入れます。御霊は自分から語るのではなく、聞くまます話を、また、やがて起ころうとしていることをあなたがたに示すからです。御霊はわたしの栄光を現わします。わたしのものを受けて、あなたがたに知らせるからです。(ヨハネ16:12-14)

私たちの教会がカルトだと言って争いを起こそうとするグループもあります。彼らは使徒行伝の時代の聖霊の働きは単なる一時的な出来事だと言っています。彼らはそれは終わったと言うのです。彼らは疑問を浴びせ、私たちが繰り返している主張や直接的な啓示の強調の間違いを証明しようとたくらんでいます。彼らは特別な困難を伴わない言葉やミニストリーを簡単に受け入れます。しかし、彼らは聖霊のミニストリーを導く人々を非難します。韓国では、「直接的啓示」という言葉は教会において不快に受け取られます。もちろん、聖霊のミニストリーを導く牧師も異なった個性を持っており、結果としてミニストリーの中で副作用が起こりうるのです。しかし、同じカテゴリーにあるすべての牧師を非難することは主に喜ばれることではありません。

私は聖霊のミニストリーを導く牧師を非難するこれらの人々が、主の声は様々な賜物を通して聞こえるのだということを教えられよう願っています。

さらに、賜物を通して、私たちは神に直接質問することができます。異言、解釈、預言、見通す賜物、霊の目が開かれることという通路を通して主と言葉を交わすことができるのです。その事実にも関わらず、カルトを調べる組織は私たちを中

傷したり、あざけったりしてこのタイプのミニストリーを非難します。このような組織はクリスチャンであるということを過去に起こった出来事にしてしまいます。かれらはほぼ霊的盲目状態に近いのです。

賜物や聖霊の経験を判断する人々が自分で経験したことがないということは理屈に反することです。かれらは霊的領域の深さを知りません。彼らは聖霊の賜物を受け取ったことがありません。彼らは聖霊のダンスはカルト的で、聖霊の手の動きを現わすことは不可能だと主張します。実際、多くの牧師がダンスや、手の動きや、その他の聖霊の賜物を否定する場合があります。私は以下に紹介する聖書の記述がこれらすべてを理解する助けとなることを願っています。

そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、(ヘブル9:27)

自由の律法によってさばかれる者らしく語り、またそのように行ないなさい。(ヤコブ2:12)

ですから、すべて他人をさばく人よ。あなたに弁解の余地はありません。あなたは、他人をさばくことによって、自分自身を罪に定めています。さばくあなたが、それと同じことを行なっているからです。私たちは、そのようなことを行なっている人々に下る神のさばきが正しいことを知っています。そのようなことをしている人々をさばきながら、自分で同じことをしている人よ。あなたは、自分は神のさばきを免れるのだとも思っているのですか。それとも、神の慈愛があなたを悔い改めに導くことも知らないで、その豊かな慈愛と忍耐と寛容とを軽んじているのですか。ところが、あなたは、かたくなさと悔い改めのない心のゆえに、御怒りの日、すなわち、神の正しいさばきの現われる日の御怒りを自分のために積み上げているのです。(ローマ2:1-5)

律法を定め、さばきを行なう方は、ただひとりであり、その方は救うことも滅ぼすこともできます。隣人をさばくあなたは、いったい何者ですか。(ヤコブ4:12)

霊的識別に優れた人々や優れた霊的感覚を持っている人々は悪霊が入って人々の体の中にいるかどうかを多少判断することができます。すべての人が受ける賜物ではありませんが、私は皆の霊の目が開かれることを願っています。三位一体の神のもとの聖霊の賜物のミニストリーは神の意志に従った霊の求めに応じることでしょう。私が既存の伝統的な教会を見ている時、かれらが信仰の経験について話しているのを見ました。彼らは信徒たちを新しい霊的体験に参加するよう奨励しています。しかし実際には、彼らには聖霊の賜物の現れを抑圧する傾向があります。癒されるよりもむしろ、彼らは癒しを受けるための情熱的な表現や言葉を止めようとするのです。

現在、私たちのミニストリーでは夜通し祈る礼拝をしています。私たちは驚くべき出来事を行い、経験します。その結果、私は常に攻撃リストに入れられ、名を汚されました。私たちのミニストリーはそのすべてのテーマにおいて中傷されています。私は私について多くの否定的なことを語る人がたくさんいることを知っています。私は時々、私たちがカルトだと聞く方がいいと思います。もし彼らが私をカルトと呼んでも私は平気です。私はただ彼らに地獄に行つてほしくないだけなのです。彼らは私たちをあまりにも祈ることや驚くような経験と直接的な啓示を受け取ることのゆえに、また、徹夜祈禱会を行っているゆえにカルトだと定義づけます。それでは私たちはカルトと定義されるものなのでしょうか？ただ私たちが悪霊追い出しをしているというだけで彼らは極端だと言い、さらに付け加えるなら、私たちは神秘主義なのです。韓国教会はすっかり慣れきっているのである人やグループをたやすくカルトと呼びます。韓国教会は故意に信者を自分たちに慣れさせるので、彼らは現状を打破しようとしません。彼らはある人やグループをカルトだと訴えることを容易にしてきたのです。その結果、神の真実な牧師たちは誤って非難され、本当にカルト的な組織は適切に扱われなかったのです。

カルトを調査する組織があります。彼らは長老教会の教派に属する長老牧師たちと呼ばれています。ある日礼拝が始まる前に、1人の長老牧師の集まりで事務をしている牧師が訪ねてきました。彼は「牧師先生、あなたは私が訪ねてきた目的を知っていますか?」と言いました。私は「はい、といてもただの推測ですが」と答えました。その牧師は「実は…私はこのような力をもっと経験したいと願ってきました。私はあなたの教会で起こっている経験や出来事に興味があります。」と言いました。私は「牧師先生、一緒に私のオフィスに行きましょう。あなたは神の本当の力を経験するでしょう」と答えました。私たちがオフィスに着いた時、私は自分の手を高く上げ、その牧師に向けました。私の手が彼の上にあげられると、彼の体に隠れていた悪霊が現れ始めました。その牧師は発作的兆候を見せ始めました。しかし残念なことに、私たちにすべての悪霊を追い出すのに十分な時間はなく、ほんのいくつかは追い出されただけでした。その牧師は去らなければなりませんでした、彼はまた戻ってくると言いました。

一般的に、多くの平信徒には伝統的な教理にしがみつく傾向があります。私たちの魂は悲鳴をあげ、また嘆いているのに、ほとんどのクリスチャンたちは自分の肉体的な考えや感情に頼っているのです。私たちは力を願っていますが、本当は、私たちは自己満足の状態にあるのです。私たちは聖霊の力や賜物に自己満足しています。その結果、力と賜物の通路は閉ざされ、妨げられています。自己満足は私がミニストリーの現場に行く時絶えず目にする悲しむべき霊的現実です。

互いに集まって協力し合う、力を持った牧師たちがいます。しかし反対に、彼らは時に互いに過度に排斥しあうのです。主は私たちに素晴らしい力と多くの賜物を与えてくれました。私たちは主の教会でいつも謙遜に歩もうとしています。私たちは他人に力が私たちから出たものであるように見せたくはありません。栄光は主に属するので私たちは控えめに歩むのです。私もまた卑しい僕にすぎません。私がへりくだって卑しい僕として歩む時、人々は「牧師先生！あなたは本当にそんな風にしなければいけないのですか?」と尋ねるでしょう。

聖霊のミニストリーに関わり、賜物を持っていらっしゃる牧師先生方、兄弟姉妹たちが時々主の教会を訪れます。彼らの中にはかなり盲目で向こう見ずな人たちもいました。彼らは自分たちの教会の排他性と、自分たちの教会が真実な教会だということを主張しました。彼らは自分たち自身の方法で訓練を受けました。聖なる火のバプテスマはそんなに人為的に与えられるものではありません。彼らは口では願っていますが、実際には準備ができていません。その結果、彼らの訪問は一度きりの出来事で終わってしまうのです。もしかしら、彼らは経験することを願ってはいたけれども、それが失敗したとき、直ちに否定して批評に転じてしまったのかもしれませんが。

主の教会において、私たちは様々な賜物を分かちあいます。しかし、最も重要なことは、聖霊と火によるミニストリーです。ほとんどの場合、炎のミニストリーの中ごろになると、悪霊の正体が現れます。しかし、私たちが悪霊を追い出すために人々の体の中に悪霊を入れているのだというような主張をする人たちがいます。なんとナンセンスなことでしょう！どうやって私たちに悪霊を体の中に入れて発作を起こさせることができるのでしょうか？それは本当にばかげたことです！私たちが行っているのは神によることです。ただ神だけがそのようなことをおできになるのです。私は神が善と悪を公正に裁いて下さると信じています。普通の人々は状況の中でよい点を見るのではなくて、悪い点を対象とし、取りだそうとする傾向があります。それは人々の外に現れた自然な性質なのです。私がこのようなことで困った時、主は来て下さって警告の言葉を与えられました。

「わたしの愛するキム牧師！多くの魂が信仰に満ち溢れてわたしに献身していると主張しています。しかし、これは真実ではありません。彼らはそのことを自分自身の方法や能力で定義しているのです。彼らは自己中心で真実ではありません。」

ん！多くの場合、彼らは純潔でも誠実でもないのです。彼らは情熱と忠誠心に満ち溢れていると主張しているが、それは本物ではありません。彼らに気をつけなさい。」

私は主に尋ねました。「愛する主よ！なぜあなたはそれでも彼らに力や預言を与えられるのですか？」主は答えられました。「彼らは今や自己中心の霊によって支配されています。物質主義が次第にしみ込んできました。今や彼らは墮落に慣れてしまったのです。これは本当に残念なことです！！！」

そのとき、主は仰せられました。『だれか、アハブを惑わして、攻め上らせ、ラモテ・ギルアデで倒れさせる者はいないか。』すると、あれこれと答えがありました。それからひとりの霊が進み出て、主の前に立ち、『この私が彼を惑わします。』と言いますと、主が彼に『どういうふうにするのか。』と尋ねられました。彼は答えました。『私が出て行き、彼のすべての預言者の口で偽りを言う霊となります。』すると、『あなたはきっと惑わすことができよう。出て行って、そのとおりにせよ。』と仰せられました。今、ご覧のとおり、主はここにいるあなたのすべての預言者の口に偽りを言う霊を授けられました。主はあなたに下るわざわいを告げられたのです。」（Ⅰ列王記22:20-23）

* 異言、解釈、賜物の真実

たとい、私が人の異言や、御使いの異言で話しても、愛がないなら、やかましいどらや、うるさいシンバルと同じです。また、たとい私が預言の賜物を持っており、またあらゆる奥義とあらゆる知識とに通じ、また、山を動かすほどの完全な信仰を持っていても、愛がないなら、何の値うちもありません。また、たとい私が持っている物の全部を貧しい人たちに分け与え、また私のからだを焼かれるために渡しても、愛がなければ、何の役にも立ちません。（Ⅰコリント13:1-3）

異言を話す者は、人に話すのではなく、神に話すのです。というのは、だれも聞いていないのに、自分の霊で奥義を話すからです。（Ⅰコリント14:2）

驚くことに、多くの人たちは次のように尋ねます。「あなたは自分が言っていることもわからないのに、飽きもせずに異言で祈るのですか？あなたは解釈するさえできないでしょう。」これらの人々は異言で祈ることを躊躇します。しかし多くの場合、すべての霊的賜物の中で、通常の賜物は異言から始まるのです。私たちが異言で長く熱心に祈ると、私たちは霊的に深い状態に達することができます。霊的に深い状態に入ると、聖霊の力強い現れ、介入、そして力が新しい力とともに与えられます。新しい力によって、異言は力強い異言に変えられます。そうして異言はさらに困難なくすらすら出てくるように進歩していきます。異言はそうして解釈や次第に預言と結びついてきます。異言はそうして他の様々な力強い賜物に発展していくでしょう。

異言や解釈、また預言の賜物は墮落しうるのでしょうか？はい、実際にその可能性があります。私たちの経験に基づいて言うと、2つの種類の異言があります。

聖霊様が求めても願ってもいない人に突然異言の賜物を与えられる場合があります。他方で、聖霊様は切に求めている人かどうかに基づいて異言を与えられるでしょう。聖霊の力強い臨在があると、主は私たちの意志があるかないかに関わらず直接異言を与えることができになります。彼の力強い臨在は突然私たちの舌を動かし、その人は異言で祈り始めるのです。ほとんどの場合、受け取った人は一瞬困惑するでしょう。いつ異言の賜物が与えられるかは誰も知りません。それはただ主がお決めになることです。他方で、主は私たちの信仰と求めに応じてその賜物をお与えになるでしょう。これもまた聖霊様の介入なのです。

私たちの霊、魂、考え、また感情は私たち自身の考え方や信仰に基づいています。言い換えると、それは観念的なものなのです。私たちは自分たちの方法を自分たちの環境から学んだことに基づいて理解し、受け入れます。それは私たちが教わってきたこと、また聞いてきたことに基づいています。私たちの肉体と目、鼻、口、舌、手、足、感覚器官などの構成部分は主の臨在の中に住むために発展してきたものではありません。私たちは経験上訓練されてきたことすらないでしょう。それゆえに、主の御働きの体を通して直接的に私たちの上に臨む時、理解することができないのです。私たちは多くの場合とても驚きます。特に異言の賜物の場合、スムーズには出てこないでしょう。その賜物は神が私たちを愛して下さっているゆえに与えられるのです。だから、人為的な操作や貪欲を通しては決してその賜物を受け取ることはできません。

私たちが異言で祈る時、舌は口の中にとどまっていなければなりません。異言の祈りの中で人の舌が口から出る時、それは奇形です。舌はヘビのようにシューっと音を立てるでしょう。そのような異常を目撃する時、舌が口から出て普通よりずっと長く見えたりします。それは恐ろしい光景です。私たちの場合、墮落し奇形になった異言で祈っている時には、「聖なる火」と叫んでその人の中に聖霊の火を置きます。そうするとその人は回復して完全な状態に戻るのです。悪霊は可能であれば異言の賜物を墮落させようとします。しかし、聖なる火の臨在があれば、すべては識別されました。

私は解釈の賜物について短い経験しかありませんが、この主題についてコメントさせて下さい。私はいつものようにまた主の霊的賜物はたくさんあることを強調します。賜物は与えられた信者による信仰のほかり従って明らかにされます。解釈の賜物は一つの解釈であるべきだと主張している人もいます。彼らは解釈の葛藤があるはずがないというのです。

しかし、そうではありません。例えば、ある人が椅子に座った時に、異言で祈るように求めました。この理論を試すために、私たちは異言で祈っている人の周りに5人の人を置きました。5人とも解釈の賜物を持っていました。私たちはまた、韓国語に訳そうとするときに5人とも異なる表現をするであろうことを知っています。異言はその人の信仰に応じて異なって聞こえることもあるのです。解釈の最も重要な側面は5人とも異なる解釈をしたということです。これは本当のことです。1人目は精神的な問題についての解釈をし、2人目は家庭の問題についての解釈をし、3人目はその人の仕事について解釈をし、後の2人はその人の夫と子供についての解釈でした。

これらの解釈を聞いて、私はとても困惑し、疑いを持ちました。私は「どうして1つの異言からこんなに異なった解釈がでてくるのだろうか？」と思いました。主はその時私に答えをくださいました。私は人々に答えを知ってほしいと思います。解釈は説明や理解の一種として聞かれることを意図されたものではないのです。

多くの教会や牧師、信者たちは自分たち自身の方法を持ち、自分たち自身のタイプの結果を期待しています。彼らは自分自身の方法や結果を主張し、それらについて独断的なのです。「もしあなたがそれをこのやり方でやるならうまくいよ。」あるいはこのように言うかもしれません。「このやり方でやってみませんか？」しかし、それがどんなに素晴らしく、正しく見えるかどうかは問題ではありません。もし自分自身の方法や結果にそんなに独断的であるならば、それは横柄に見えます。人々が物事を受け入れるのには多くの異なった方法があるのです。人々にとって横柄になるのはたやすいことです。彼らがあたかも自分たちの経験や知識は人が知る必要のあるすべてのことであるかのように語るのは、無知が主な理由の一つです。彼らは自分たちの教義をすべての人に適用しようとしています。彼らは自分たちの教義に基づいて結果を判断し、また評価するのです。例えば、アメリカかどこか他の国からの霊的な本を読む時、こういう類の人々は狂信者になり、これらの本に対して基本的に異常な状態になります。彼らは自分たちが読んだことを適用し、必要なら学んだことを改めようとします。彼らは著者の世話をして、親しい関係であることを見せようとします。彼らは重要だと感じる

スターのことを知りたがっているファンのようなものです。アメリカの預言者や預言する人たちはよく扱われ、認められています。彼らはそれらの預言者を「使徒と預言者」と呼びます。しかし、同じ人たちが自分自身の国(韓国)の預言者は偽りだと非難するのです。

私たちの信仰生活や霊的生活はそんなに単純でもなければ、ささいなことでもありません。霊的生活と聖霊の御働きはとて幅広く、多様です。それは多様で様々な形をとります。聖霊の領域はとて深く、豊かです。私たちはこの世の人生の間ではそのすべてを探索することはできません。さらに、私たちは決してその広さと豊かさを私たちの有限な考えや言葉で表現することはできません。

多くの人々は誤った情報を伝えられています。聖霊の御働きとミニストリーはそれ自体に焦点を当てるものではありません。賜物もまた焦点ではありません。聖霊の御働きが私たちの焦点となるなら、私たちは疲れ切ってしまうでしょう。賜物や働きが私たちの生活の中で優先になり始めたら、本当の焦点が後ろに下がってしまいます。結果的に私たちは次第に離れていってしまうでしょう。後退は災害の種に等しいものです。私たちの焦点はただ主だけに置かれるべきです。主こそが私たちの信仰の主題なのです。カルト的教会、カルト的人々、またどんな類のカルト的組織もすべて同じ種の問題を抱えています。彼らとコミュニケーションを取ることはとても難しいことです。彼らは一般的に霊性やあるいは単なる感覚について共通認識を持っています。イエス様やパウロのミニストリーの中心は愛、忠実な献身、そして自己犠牲でした。

イエス様が私たちの中心であり、焦点です。イエス様が私たちの愛や献身の主題でなければなりません。教会が訓練も受けておらず、経験もない未熟な働き人でいっぱいであるなら、すでにその領域にいる熟練した働き人が2倍働くことになるでしょう。過ちはそれ以上に仕事と重荷が2倍以上になるようなものです。

さて、兄弟たち。御霊の賜物についてですが、私はあなたがたに、ぜひ次のことを知っていただきたいのです。ご承知のように、あなたがたが異教徒であったときには、どう導かれたとしても、引かれて行った所は、ものを言わない偶像の所でした。ですから、私は、あなたがたに次のことを教えておきます。神の御霊によって語る者はだれも、「イエスはのろわれよ。」と言わず、また、聖霊によるのでなければ、だれも、「イエスは主です。」と言うことはできません。

(I コリント12:1-3)

** 偽りの預言を見分けること*

『神は言われる。終わりの日に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る。その日、わたしのしもべにも、はしためにも、わたしの霊を注ぐ。すると、彼らは預言する。』

(使徒2:17-18)

私たちは多くの人たちが終わりの時代だと言っている時代に生きています。彼らは絶えず、限りなくそれを叫んでいます。多くの預言や夢やビジョン、そして啓示が韓国や世界中の様々な場所であふれています。私は実際に神の教会と信徒たちに与えられている様々な賜物を通してこの世代に対する神の情熱的な愛情を感じることができます。

しかし反対に、与えられている多くの無益な夢や啓示、また欺きの預言も起こりうるのです。さらに、多くの連続した副作用も起こりえます。私の牧会ミニストリーが根本的に置かれているのは、もちろん神の御言葉です。しかし最近、主が私を賜物と力に導いて下さいました。私はある程度の霊的バランスの欠如は起こりうるけれども、それでもやはり聖霊の賜物を拒絶したり無視したりすることはできないと思うことがあります。賜物は神自身から与えられます。私たちが霊的に

スランプに入っている時、聖霊による様々な種類の賜物が私たちの信仰の大きな活力となります。主の完全なご介入と情熱的な導きを通して、私のミニストリーの方向性は確実に明確なものとなりました。

異言、預言、解釈、見通す賜物、霊の目が開かれることなどは信仰の通路です。この通路は私たちの霊的側面を開きます。神が私たちに語られ、啓示を与えられるのもこの信仰の通路を通してです。私たちはすでに書かれた神の御言葉を持っていますが、私たちは様々な賜物を通して神とのつながりや触れ合いをありありと経験することができます。

これらの賜物を活用するために、私たちはいくつかのことを心に留め、注意を怠らないようにする必要があります。悪魔とその力はこれらの霊的な領域に大いに引き付けられます。彼らは激しく攻撃してくるでしょう。悪魔は人々が好むことと好まないことをよく知っています。悪しき力は可能なら選ばれた人々をだまそうとたくらんでいるのです。

にせキリスト、にせ預言者たちが現われて、できれば選民を惑わそうとして、しるしや不思議なことをして見せます。

(マルコ13:22)

賜物を持っている人々はより悪霊の力に気持ちが傾いたり、さらされたりしやすいのです。彼らは情け容赦なく攻撃されます。悪魔は賜物を持つ人々を標的とするでしょう。悪魔は攻撃の計画に集中するでしょう。悪魔は人々の意識を刺激することから始めます。悪魔は他人を追い越し人より前に行こうとする考えや競争心、また次第に貪欲の種を植え付けます。他人に勝ちたいという欲望です。その結果、人々は悪霊の無差別な攻撃に絶えず惑わされ、墮落してしまいます。

他国のある有名な預言者がかつて預言を尊重することについてコメントしました。彼は人が預言する時、預言の20パーセントだけが正しいと説明しました。言い換えると、もし20パーセント正しくできれば、それは成功と判断できるものだということです。その有名な預言者のコメントは正しくありませんが、賜物のこととなれば、誰も安全あるいは例外にはなりえないのです。

神の声を聞く方法が3つあります。1つ目は私たちの耳で聞くこと、2つ目は心で聞くこと、最後は私たちの印象で感じることもできるかもしれないということです。しかし、もし私たちが適切に力強い祈り、言葉、聖霊様を見分けられないならば、私たちは悪魔による欺きに従属させられてしまうでしょう。

リバイバルしているどんな礼拝においても、私は預言やビジョン、夢、異言、解釈、霊の目、また聖霊のダンスの中でさえ悪魔の巧みな操作や墮落をはっきり目撃し、また経験してきました。もし人が自分たちの体の中にこっそり潜んで操っている悪霊を見分けることができないなら、その人はおそらく悪霊に騙されてしまうでしょう。まず力強い聖なる火によって悪霊を完全に追い出す時を持たないで賜物を分かち増やしていくことは、悪魔に操られる結果となるでしょう。私が開かれた霊の目でより深く人の体を見ると、その体は複雑で幅広い者であることに気づきます。私はそこから謎を感じます。私たちが肉体、魂、霊のすべてを含んでいるのなら、それは私たちの想像を超えた無限の空間のようです。

広い空間のような私たちの体に入ってくる悪霊の数を数えても無駄です。悪魔は数え切れないほどの悪霊を人の魂を破壊するために送り込みます。人々は悪霊がすぐに追い出されるととても喜びます。しかし、そのように見えることすら欺きである場合もあるのです。悪霊は私たちを使って遊んで喜びます。例えば、ある出来事があって、私たちは「イエス・キリストの御名によって離れろ！」と叫びました。その悪霊に取りつかれた人は床に倒れて気を失いました。私たちはとても興奮し、悪魔が一気に追い出されたことに感動しました。しかしその直後、私たちは悪霊に騙されたことに気づきました。それらはまだその人の中にいたのです。

預言的な人たちが悪霊は自分たちが話し合っている間に去って行ったと告げるときもあります。程度の差こそあれ、預言的な人は隠れた悪霊に騙されることがあります。預言的で賜物のある人たちがあの人のために祈る時、彼らはまず自分自身の霊的な状態を点検しなければなりません。そうでなければ、その預言的で賜物のある人の中にいる悪霊は祈りの途中で祈られている人に移るかもしれないからです。私たちは逆もまた起こりうるということを心に留めておかなければなりません。

人々が賜物や霊性の分野で自分自身の経験や方法を積み上げるとすぐに、彼らはその領域のエキスパートとして認められようとしています。実際には、彼らは単なる駆け出しで見せかけの者です。この地球に霊的領域のエキスパートなどいません。もしいたとしても、彼らは本当は役者かあるいは詐欺師です。神だけが唯一のエキスパートなのです。

「わたしの名によって偽りを預言する預言者たちが、『私は夢を見た。夢を見た。』と言ったのを、わたしは聞いた。いつまで偽りの預言が、あの預言者たちの心にあるのだろうか。いつまで欺きの預言が、彼らの心にあるのだろうか。彼らの先祖がバアルのためにわたしの名を忘れたように、彼らはおのおの自分たちの夢を述べ、わたしの民にわたしの名を忘れさせようと、たくらんでいるのだろうか。夢を見る預言者は夢を述べるがよい。しかし、わたしのことばを聞く者は、わたしのことばを忠実に語らなければならない。麦はわらと何のかかわりがあるか。——主の御告げ。——わたしのことばは火のようではないか。また、岩を砕く金槌のようではないか。——主の御告げ。——それゆえ、見よ、——主の御告げ。——わたしは、おのおのわたしのことばを盗む預言者たちの敵となる。見よ。——主の御告げ。——わたしは、自分たちの舌を使って御告げを告げる預言者たちの敵となる。見よ。わたしは偽りの夢を預言する者たちの敵となる。——主の御告げ。——彼らは、偽りと自慢話をわたしの民に述べて惑わしている。わたしは彼らを遣わさず、彼らに命じもしなかった。彼らはこの民にとって、何の役にも立ちはしない。——主の御告げ。——（エレミヤ23:25-32）

人の夢やビジョン、啓示をただ教育された推測によって解釈する人がいます。これらの人々は自分たちの利益になる強みを得ようとして解釈するのです。そのため、彼らには解釈を受けた人の困惑やつまずきに対して責任があります。さらに、誰かが預言や夢、ビジョン、また啓示の誤った解釈を与え、実現しなかったために罫に落ちていく人がたくさんいます。悲しいことに、間違った解釈に縛られ、その答えを追いかけたり待ったりして人生をすべて浪費してしまう人たちがいるのです。悪魔は預言やビジョン、夢を模倣しないのでしょうか？彼は神さえも模倣しないのでしょうか？だから、最も重要な側面は霊を見分けることです。霊の識別はとても重要とみなされるべきです。自分の生活が私たちにとって重要であるのに匹敵するくらい重要なことなのです。

** 偽りの賜物を受け取ることによる苦しみの証拠*

少し前、ある家族と彼らの牧師が主の教会を訪れました。彼らは田舎にある教会から来ました。その教会は単立教会でした。祖母が婦人執事で、彼女の義理の息子と娘が牧会リーダーでした。その義理の息子は牧師で、彼にも息子がいました。その息子は中学生でした。彼らはその息子が礼拝中に霊にあって踊ると言いました。実際、彼は数百人の教会メンバーの前で、講壇の前に来て踊るのです。彼らは彼の聖なるダンスはとても美しくスムーズだと言いました。そのダンスが真実な聖なるダンスであるか、それとも悪魔のごまかしであるのかを適切に見分けるのは執事である母方の祖母の役目でした。その祖母はそのことのために祈ってきて、今その答えを知りたがっていました。

まず、私はその一団に聖なるダンスが偽りのものであった場合、私たちは議論に支配されてしまうでしょうとアドバイスしました。私はそれを見るときに心を固く整えるように助言しました。彼らはバプテスマの本を読んだから主の教会を訪れ

たのだと言いました。さらに、彼らは主の教会は霊によるダンスを含む幅広い聖霊のミニストリーの中にあると言われてきました。彼らはさらに自分たちのミニストリーでは悪霊追い出しや、時には預言を行ってきたと言いました。今、彼らは主の教会に霊の目を持って公にその霊を判断してほしいと切に求めているのです。もし私たちが不注意に、あるいは間違っこの微妙な問題を扱うならば、より大きな問題をもたらしてしまいます。否定的な結果は関係する人たちに精神的に大きなショックを与えてしまうでしょう。

主の教会では多くの人が毎日徹夜集会に参加するなかで、私たちは悪霊追い出しができるのです。しかし、悪霊追い出しは信仰的に開かれていて、原因を究明して助けてほしいと求めている人たちのためのものです。ただ私たちが礼拝と賛美を始めようとしたときに、偽りの聖なるダンスの兆候がゆっくりと現れ始めました。実際、その少年の体の動きはとても柔らかいものでした。それは水のように流れていました。彼は賛美のリズムに合わせて踊っていました。しかし、私の霊の目で見ると、普通でない動きが目につき始めました。みんなが好奇心を持ってその少年を見つめていました。

私は大小の蛇を見ることができました。それらは一緒に詰まっていた。白いものもいれば、透明なものもありました。その透明なアナコンダ形の蛇はすべてその少年の体の中にいました。蛇たちは主の教会の中にある聖なる火にその正体を暴露されて休むことなく寝ていました。私が聖なる火を分け与えるとすぐに、蛇たちはその少年を通して「熱い！熱い！」と叫びました。彼はじたばたし、休みなく動き回りました。私は「なんと悲しいことだ。あの少年は自分のダンスは聖なるダンスの賜物だと思っていたのに…」と思いました。

蛇たちは正体を明らかにされた時、少年の体全体に巻きつきました。蛇たちは狂ったようによじれ、狂った形になりました。私は少年に近付いて、聖なる火と聖なる電気、そして毒のとげを与えました。ついに、そのことが起こったのです。少年は金切り声をあげて床に倒れました。見ていた両親はショックを受けて落着きを失っていました。彼らは声を出して泣きながら忙しく涙をぬぐっていました。

アナコンダの形をした悪霊は私に向かって咬み付こうとするかのように突進してきました。その蛇は少年の口を通して荒々しいきばを見せました。蛇の目は苦痛でひどく歪んでいました。私が蛇の目を見るとすぐに、私は鳥肌が立ち、髪は逆立ちました。時間はたっても戦いは続き、私は少年の体に追加の蛇を確認することができました。霊の目が開かれた教会の会衆たちは一斉に叫びました。「牧師先生！牧師先生！その少年の体は蛇でいっぱいです！聖なる火と電気があるあなたの手から少年の体に入ると、蛇にとって熱くなりすぎるのでそれらは少年の体をねじ曲げて彼に激しく反応させます。」

私は右手を挙げて少年を近くに引き寄せ、静かに囁きました。「おい、私はすでにお前の正体を知っている。だから汚れた悪霊よ、すぐに出ていけ！お前はなぜ主の愛する息子の体に入るのか。今すぐだ！出ていけ！」蛇は少年にシューっと音をたてさせ、言いました。「やめろ！やめろ！近寄るな！俺は出ていかないぞ！ここはとても居心地がいいんだ。ここにいてとてもいい感じなのに、なぜ俺が出ていかなきゃいけないんだ？」少年の目は威嚇しているように見えました。それはほとんど蛇の目に見えました。少年の中にある悪霊は防御の姿勢を取り、私に咬み付いてきそうでした。大変な悪霊追い出しが始まろうとしていました。

「イエスの御名によって命ずる、汚れた悪霊よ、今すぐに出ていけ！聖なる火！」私が叫ぶと、少年は金切り声をあげて体全体をねじ曲げながら床に倒れました。彼は偽りに捕らえられていました。両親と親戚たちは死人のように青白い顔でじっと見つめていました。彼らは完全にショック状態でした。私は牧師である彼の父と家族たちに尋ねました。「どうしてあなたたちはこの子をこんなことになるまで放っておいたのですか？どんなところならこのようなダンスを聖なるものと教えるというのですか？」

少年の父親は韓国には聖霊のミニストリーを行っているところがたくさんあると答えました。ある場所が彼らに地に伏し、倒れ、転げまわることを教えました。その人たちは人々に圧力をかけてぐるぐる回るようにさせます。これらの動きは人々をふらふらにさせ、彼らは疲れて床に倒れてしまいます。その父はその動きは至る所で行われていて、その特定の教会によって教えられていると続けました。私はその教会のことをある程度知っていました。彼らは多くの様々な変わったミニストリーを行っていました。それでも、少年はなお深刻な状態にありました。

主の教会は様々な異なる賜物を与えられてきました。私たちは賜物を用いる経験をするという特権を与えられてきました。このように言っていると、私は韓国には軽率な行為や突飛な行いをしているところがたくさんあることに再び気づかされます。

私たちの経験に基づいて言うと、私たちは悪魔が悪しき力を教会や家庭、信徒、また個々の信徒たちに送り込んでいるということを悟ってきました。その悪しき力は単独の悪霊が送り込まれることもあれば、集団で送り込まれる時もあります。サタンはしつこく、また際限なく悪しき力をクリスチャンの共同体に送り込み続けます。しかし、クリスチャンたちは混乱させられ、あまりに無知なのです。悪魔は霊的に高い権威を持っていると公に認められた人を攻撃するためには高いランクの悪霊を送り込んできます。悪魔はその人の霊的レベルと同等の悪霊を送るでしょう。彼らの目的はただ一つです。

しかし、御霊が明らかに言われるように、後の時代になると、ある人たちは惑わす霊と悪霊の教えとに心を奪われ、信仰から離れるようになります。(1テモテ4:1)

にせキリスト、にせ預言者たちが現われて、できれば選民をも惑わそうとして、大きなしるしや不思議なことをして見せませう。さあ、わたしは、あなたがたに前もって話しました。(マタイ24:24-25)

私たちはどうして多くの教会、牧師、また信者たちが悪魔による攻撃を知らないのかを簡単に理解することができます。彼らは物事を抽象的な方法で取り扱っているのです。悪魔はできることならミニストリーを墮落させようと攻撃してくるでしょう。しかし実際は、例えば、賜物を持ってミニストリーを導いている人たちは、サタンが自分たちのミニストリーに侵入することができないということについてあいまいな考えを持っています。サタンは侵入するだけでなく、操ることもできるのです。

悪霊は預言で教え、訓練しているところならどなたのところにおいても活発です。しっかりしたミニストリーやリバイバルが起きているミニストリーにおいてさえ、悪霊はもっともらしい惑わしをもたらすことができます。私の経験に基づいて言うと、このように、悪霊たちは預言、異言、解釈、夢、ビジョンを墮落させたり弱めたりするでしょう。サタンはメッセージを私たちの賜物から離すという巧妙な作戦を持っています。それゆえに、私たちは一瞬たりとも気を抜くことはできないのです。

ありとあらゆる領域から、またありとあらゆるタイプのミニストリーから、賜物を与えられた多くの人々が主の教会を訪れます。信仰に根付いていない人々は大きな試みが来た時には離れてしまう傾向があります。彼らは私たちの教会に何となく参加しています。少なくとも霊的五感、預言、解釈、そしてビジョンが開かれている人々にも最後の試みの終わりには倒れてしまう人がいます。人は自分がよい信仰を持っていると思っているにも関わらず、彼らが霊的識別をせずに賜物に依り頼むなら長続きはしないでしょう。彼らの心の中心は揺さぶられるでしょう。

主は愛の基礎から結ばれる賜物の実と私たちの人格を見られました。時がたつにつれて、私たちは自分たちの働きの真相を見ることができます。約束は私たちが忍耐の過程を通して試された後にやってきます。そこには常に偽物が待つ

ているのです。

ですから、あなたがたの確信を投げ捨ててはなりません。それは大きな報いをもたらすものなのです。あなたがたが神のみこころを行なって、約束のものを手に入れるために必要なのは忍耐です。「もししばらくすれば、来るべき方が来られる。おそくなることはない。わたしの義人は信仰によって生きる。もし、恐れ退くなら、わたしのこころは彼を喜ばない。」私たちは、恐れ退いて滅びる者ではなく、信じていのちを保つ者です。(ヘブル10:35-39)

*十字架の兵士

キリスト・イエスのりっぱな兵士として、私と苦しみをともしてください。兵役についていながら、日常生活のことに掛かり合っている者はだれもありません。それは徴募した者を喜ばせるためです。(Ⅱテモテ2:3-4)

そこで主はギデオンに仰せられた。「手で水をなめた三百人で、わたしはあなたがたを救い、ミデヤン人をあなたの手に渡す。残りの民はみな、それぞれ自分の家に帰らせよ。」(士師記7:7)

俗世は力とプライドを量によって定義します。誰もが数を増やすことに関心を持っています。彼らはお金の量であれ会衆の人数であれ、とにかく数を増やしたいのです。しかし、私たちは質が量よりも重要だということを知らなければなりません。私たちが種まく人のたとえ話を考える時、種がよい土に落ちると収穫は100倍ものよい実であるのを見ることができます。神は信仰者たちに肉の武器ではなくただ主だけに信頼するよう要求されます。神は300人の勇士をギデオンのために選ばれ、彼らを用いました。彼らは不平を言う者ではありませんでした。彼らはつぼとたいまつを持って従順に従いました。彼らは敵をよく観察することに長けていました。終わりの時代に、主は悪霊の力と頭を突き合わせて戦うことのできる兵士たちを探されます。私はこのような兵士たちは私を含めた主の教会のメンバーたちのようだと言いたいのです。私たちは火のミニストリーに飛び込んでくる平信徒たちも含めて主の僕です。

多くの教会や牧師、また平信徒たちは悪霊に対する議論や戦いのこととなると興味がなく、反感さえ持ちます。彼らはただ自分たちが直接、あるいは個人的に悪霊によってけがをしたり苦しんだりした時に悪霊の事実を調べたいだけなのです。これが悪霊が世界を野生動物のように走り回っている理由です。悪霊と戦う人は多くありません。悪霊は人々の無関心のために大喜びして叫んでいます。

悪魔とその悪しき力は私たちの体、考え、心、そして意志に入りこみます。彼らは人の中のこれらすべての領域に潜んでいます。そして神のよい意志や秩序を破壊するためにこっそりと自分たちの巣を作ります。結論は、神と悪霊は働きの過程で人々を通路として用いるということです。異なるのはその進路と方向です。悪魔は人々を他人を踏みつぶすために用います。悪霊は人々をおもちゃにし、その周りで遊びます。彼らの目的は私たちに罪を犯させ、地獄に引っ張っていくことです。しかし、私たちの体やバランスのとれた個性、性質を通して咬みは私たちを天国に導きます。だから、私たちの体、魂、霊、そして日常生活はサタンとその悪しき力に対して戦わねばならない血なまぐさい戦場なのです。

状況や戦いにも関わらず、私たちが救いと喜び、そして悲しみにとらわれないでいられることについて感謝して生きていられるのは神の完全で力強い恵みのゆえです。闘争的なクリスチャンたちが悪霊たちと向かい合って戦おうとする限り、主はいつでも彼らを適切に装備して下さいます。主はいつでも新しい力の源です。新しい力が悪霊と戦うクリスチャンのために注がれるでしょう。

地上においてでさえ、戦争のときには新しい強力な武器を持っている国が勝つでしょう。しかし、新しい武器を作り出すにはコストがかかり、また研究開発のために多くの時間を必要とします。

研究と開発を重ねて武器が完成したら、その武器はまだ様々な方法でテストを受けなければなりません。新しい武器は強力で、どんな天候にも耐えられ、正確に標的に到達し打ち倒すことのできるものでなければなりません。新しい武器は水にも火にも、また暑さや寒さといった条件にも耐えられなければなりません。私はクリスチャンが最新の武器のようになることを願っています。私はクリスチャンにスーパーマンのような兵士になってほしいのです。しかし現実には、クリスチャンたちはとても弱く簡単に罪の力にさらされてしまいます。

弱いクリスチャンに対して、主は最新の武器のようになってほしいと願っておられます。私たちは最も小さな試みであってもいつも叫び倒れてしまいます。私たちはいつもなぜ力強い現れや出来事が私たちの教会で起こったのだろうかと思ってきました。私たちはそのような現れや出来事は力強い賜物を持った人々や外国の牧師がいるメガチャーチでしか起こらないと思っていました。

* ほうび

ちょうど物理的な世界におけるように、霊的な世界も勝者には戦いのほうびがあります。言い換えると、ほうびや戦利品は勝利者に与えられます。世界中の多くの魂は力強く聖別された牧師たちを探しています。しかし、私はそれだけでは十分ではないと感じています。私たちは悪魔の力と昼も夜も血なまぐさく休むことのない霊的戦いをしています。私たちは肉体をすっかり疲弊させてしまっています。その結果、私たちは長期にわたる疲労によってもまた攻撃されているのです。しかし反対に、主は私たちに新鮮で新しい霊的力を与えて下さっています、だから今私たちは喜びと興奮であふれているのです。さらに、私たちは戦いをあきらめず、その中でも守られてきました。神はその時私たちに力強い聖なる火と電気、そしてもっとたくさんの他の霊的に進んだ武器と賜物で報いて下さいました。私たちはほうびを受け取ったように感じました。

ことばに表わせないほどの賜物のゆえに、神に感謝します。（Ⅱコリント9:15）

霊的戦いで用いるすべての異なった種類の賜物や力は私たちの祈りと叫びの結果として与えられます。叫びと祈りは武器の供給通路です。だから、私たちは必死になって毎日何時間もの祈りを続けようと格闘しています。神が与えられる霊的武器は簡単に獲得できるものではありません。それは単純に自動販売機のボタンを押して手に入れられるようなものではありません。一般的に、そんなに簡単なものではないのです。毎日叫び、必死に耐えて悪魔やその悪しき力との非常に困難な霊的戦いに勝利を得なければなりません。あきらめずに最後に勝利する者は誰でも勝利を通してそれを得ることができるでしょう。悪霊よりも粘り強くなって勝利を得なければなりません。

しかし、神の人よ。あなたは、これらのことを避け、正しさ、敬虔、信仰、愛、忍耐、柔和を熱心に求めなさい。信仰の戦いを勇敢に戦い、永遠のいのちを獲得しなさい。あなたはこのために召され、また、多くの証人たちの前でりっぱな告白をしました。（Ⅰテモテ6:11-12）

* しるしを通した警告

シオンで角笛を吹き鳴らし、わたしの聖なる山でときの声をあげよ。この地に住むすべての者は、わななけ。主の日が来るからだ。その日は近い。やみと、暗黒の日。雲と、暗やみの日。山々に広がる暁の光のように数多く強い民。このようなことは昔から起こったことがなく、これから後の代々の時代にも再び起こらない。(ヨエル2:1-2)

多くの人が私たちは終わりの時代に生きていると終わりなく叫んでいきます。だから、この悪しき世代を識別するために、人々は賜物を受けた人々の周りに集まっています。その人たちは主がいつ帰ってこられるのだろうかと考えています。しかし、もっとも明らかで確かなことは、賜物を受けたひとたちもその答えを知らないということです。それはただ神次第なのです。マタイ24章で主が述べられたことによって、私たちは間接的に終わりの時代の予兆となるできごとを見分けることができます。

実は私が天国を訪問した時、私は使徒パウロにある質問をしました。パウロは謙遜に、パウロの書簡よりも主の語られたことばが書かれた4福音書を深く読むよう私に指示しました。彼は4福音書がより有益だと指摘しました。マタイ24章に書かれた終わりの時代の予兆となる出来事はその答えに行きつくための箇所でしょう。

そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「人に惑わされないように気をつけなさい。わたしの名を名のる者が大ぜい現われ、『私こそキリストだ。』と言って、多くの人を惑わすでしょう。また、戦争のことや、戦争のうわさを聞くでしょうが、気をつけて、あわてないようにしなさい。これらは必ず起こることです。しかし、終わりが来たものではありません。民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、方々にききんと地震が起こります。しかし、そのようなことはみな、産みの苦しみの初めなのです。そのとき、人々は、あなたがたを苦しいめに会わせ、殺します。また、わたしの名のために、あなたがたはすべての国の人々に憎まれます。(マタイ24:4-9)

剣よ。目をさましてわたしの牧者を攻め、わたしの仲間の者を攻めよ。——万軍の主の御告げ。——牧者を打ち殺せ。そうすれば、羊は散って行き、わたしは、この手を子どもたちに向ける。全地はこうなる。——主の御告げ。——その三分の二は断たれ、死に絶え、三分の一がそこに残る。わたしは、その三分の一を火の中に入れ、銀を練るように彼らを練り、金をためすように彼らをためす。彼らはわたしの名を呼び、わたしは彼らに答える。わたしは「これはわたしの民。」と言ひ、彼らは「主は私の神。」と言う。(ゼカリヤ13:7-9)

クリスチャンが敏感であることはおそらく十字架とイエス・キリストの再臨でしょう。探求を始めることも探求そのものもクリスチャンにとって大切な過程ですが、クリスチャンの人生で最も重要な側面は主の再臨です。それは主を待ち望んでいるすべてのクリスチャンにとって終わりの日の出来事の1つです。それは最後の望みであり、長い間待った実です。主は私たちの忍耐の報いです。

神の戒めを守り、イエスに対する信仰を持ち続ける聖徒たちの忍耐はここにある。(黙示録14:12)

私は主を信じている者すべてが携挙に与ることを願っています。しかしその日、取られる人と残される人の区別が確かにあるでしょう。最初で最も重要な過程は主が私に求められる状況に自分自身を備えることです。しかし、多くの信者たちは危険なクリスチャン生活を送っています。彼らの信仰はボーダーラインの上に乗っているのです。

花婿が来るのが遅れたので、みな、うとうとして眠り始めた。ところが、夜中になって、『そら、花婿だ。迎えに出よ。』と叫ぶ声がした。娘たちは、みな起きて、自分のともしびを整えた。(マタイ25:5-7)

私たちのクリスチャン人生はたった1日のため、つまり主が再臨する日だけのために存在すると言っても間違っていないでしょう。最後の日を決めるためにうろついている人たちがいます。しかし決められた最後の日を見出すのにこのように夢中になることは実に迷信的行為です。クリスチャンにとって最良の道はいつでも準備ができています。私たちは10人のおとめのたとえ話からこのことを理解することができます。私たちはみんな疲労のため肉体的には眠りますが、私たちは常に油とランプを備えていなければなりません。言い換えると、私たちは毎日霊的に自分自身を準備しているのです。

主は私にいくつかのことを語られました。彼は牧師たちが会衆を携挙のために前もって備えないなら、彼らは全員取り残されてしまうことになると言われました。取り残された信徒たちは怒りを牧師にぶつけるでしょう。彼らは携挙されなかったことで怒るでしょう。信徒たちは彼らの人生の間に誤ったことを教えた牧師たちに復讐しようとするでしょう。その牧師たちは自分たちの教会の取り残された信徒たちの手によって容赦なく殺されてしまうでしょう。このことは世界中の多くの場所や教会で起こるでしょう。牧師として、私は本当に恐れを感じます。

わたしの民は、迷った羊の群れであった。その牧者が彼らを迷わせ、山々へ連れ去った。彼らは山から丘へと行き巡って、休み場も忘れてしまった。彼らを見つける者はみな彼らを食らい、敵は『私たちには罪がない。彼らが、正しい牧場である主、彼らの先祖の望みであった主に、罪を犯したためだ。』と言った。(エレミヤ50:6-7)

* 炎のミニストリーの原動力

わたしが来たのは、地に火を投げ込むためです。だから、その火が燃えていたらと、どんなに願っていることでしょう。しかし、わたしには受けるバプテスマがあります。それが成し遂げられるまでは、どんなに苦しむことでしょう。(ルカ12:49-50)

主は不毛な冷たい地に火をもたらすために来られると語られました。主が私たちに与えられる火は悪の力を完全に打ち倒すことができます。実際、それはただの火以上のものなのです。その火は地上のすべての病を燃やすことのできる力強い光の層です。

しかし、わたしの名を恐れるあなたがたには、義の太陽が上り、その翼には、癒しがある。あなたがたは外に出て、牛舎の子牛のようにね回る。(マラキ4:2)

力を現わす神からの火が与えられることを拒絶したり、好まなかったりする人がいるでしょうか？その火は主がともに働かれる状況にありさえすれば、どんな種類のミニストリーでも受け取ることができます。しかし実際にはそうになっていないのがわかります。人々は主が力を与えて下さることを望み、求めています。彼らは口では求めています。主が近くに臨まれると彼らは力を受ける前に驚いて恐れに陥ってしまうのです。彼らはいつも逃げてしまいます。

どんな時でも、主はその人が気づかないうちに突然火と賜物を与えることがおできになります。しかし、ほとんどの場合、人は最も低いところから始めなければいけません。私たちは一步一步の過程を経て霊的深みと成熟に到達するのです。

私たちがこの過程を通る時、人々は霊的戦いを真実には理解していません。毎日非常に多くの悪霊の軍隊と遭遇することは避けられないことです。これが現実であり、ほとんどの人々はそのことを悟っていません。私たちは今の時と世代を霊的視力を通して見分けなければなりません。私たちは主が私たちと共に戦って下さることを信じなければなりません。すべての働き人たちのために、主は私たちを霊的に開き、また私たちの信仰のはかりにに応じて満たして下さいます。この力と能力は霊的な圧迫を解きたいと願っているすべての人に与えられるのです。

神は、あなたがたを、常にすべてのことに満ちたりて、すべての良いわざにあふれる者とするために、あらゆる恵みをあふれるばかり与えることのできる方です。「この人は散らして、貧しい人々に与えた。その義は永遠にとどまる。」と書いてあるとおりです。（Ⅱコリント9:8-9）

* 分裂があるでしょう

あなたがたは、地に平和を与えるためにわたしが来たと思っているのですか。そうではありません。あなたがたに言いますが、むしろ、分裂です。今から、一家五人は、三人がふたりに、ふたりが三人に対抗して分かれるようになります。父は息子に、息子は父に対抗し、母は娘に、娘は母に対抗し、しゅうとめは嫁に、嫁はしゅうとめに対抗して分かれるようになります。」群衆にもこう言われた。「あなたがたは、西に雲が起るのを見るとすぐに、『にわか雨が来るぞ。』と言い、事実そのとおりになります。また南風が吹きだすと、『暑い日になるぞ。』と言い、事実そのとおりになります。偽善者たち。あなたがたは地や空の現象を見分けることを知りながら、どうして今のこの時代を見分けることができないのですか。また、なぜ自分から進んで、何が正しいかを判断しないのですか。（ルカ12:51-57）

イエス様は分裂の源です。彼は様々な場所でサタンに従う者の間の争いを引き起こします。彼が地球に来られた瞬間から十字架上で死なれるまで、彼は多くの議論を巻き起こし、大きな騒動を引き起こしました。さらに、彼が引き起こした争いと分裂は彼の死をももたらしました。

「ユダヤ人の王としてお生まれになった方はどこにおいでになりますか。私たちは、東のほうでその方の星を見たので、拝みにまいりました。」それを聞いて、ヘロデ王は恐れ惑った。エルサレム中の人も王と同様であった。

（マタイ2:2-3）

その後、ヘロデは、博士たちにだまされたことがわかると、非常におこって、人をやって、ベツレヘムとその近辺の二歳以下の男の子をひとり残らず殺させた。その年令は博士たちから突き止めておいた時間から割り出したのである。

（マタイ2:16）

こうして、イエスがエルサレムにはいられると、都中がこぞって騒ぎ立ち、「この方は、どういう方なのか。」と言った。群衆は、「この方は、ガリラヤのナザレの、預言者イエスだ。」と言った。（マタイ21:10-11）

しかし彼らはあくまで言い張って、「この人は、ガリラヤからここまで、ユダヤ全土で教えながら、この民を扇動しているのです。」と言った。（ルカ23:5）

さらに、主は続けて全宇宙が影響されるスケールの大きな騒動を引き起こされます。

主は、号令と、御使いのかしらの声と、神のラツパの響きのうちに、ご自身天から下って来られます。それからキリストに

ある死者が、まず初めによみがえり、次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることとなります。こういうわけですから、このことばをもって互いに慰め合いなさい。（Iテサロニケ4:16-18）

キリスト教信仰は明確さだけでなく、多くの比喩的な要素から成り立っています。私たちはたとえ話を通して天国を理解することができます。紅海に着く前、出ていく道は神の選民たちから隠されていました。同じように、イエス様の御力と権威の真実は霊的議論、分裂、騒動の中に隠されています。

しかしどれだけ多くの魂が大胆に分裂の中に飛びこんでいくのでしょうか？誰がバプテスマのヨハネのようであるのでしょうか？主にとって、自分自身を孤立させていたヨハネは争いの源であり、彼は偽善的で自分を正しいとする人々を激しく非難しました。自分を正しいとする人とは外見だけを聖くしていた人たちです。主は弟子たちに自分の十字架を負い、福音のために他の何とも関わりを持たないようにと教えられました。主もまた彼らを孤立させられたのです。

それから、イエスは弟子たちに言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。（マタイ16:24）

使徒パウロはかつて自分の中で荒れ狂い戦っている戦争について指摘しました。

私のからだの中には異なった律法があって、それが私の心の律法に対して戦いをいどみ、私を、からだの中にある罪の律法のとりこにしているのを見いだすのです。私は、ほんとうにみじめな人間です。だれがこの死の、からだから、私を救い出してくれるのでしょうか。私たちの主イエス・キリストのゆえに、ただ神に感謝します。ですから、この私は、心では神の律法に仕え、肉では罪の律法に仕えているのです。（ローマ7:23-25）

「燃える火によるバプテスマ」を出版してから、主の教会と私たちのミニストリーは多くの人々の間で重要な主題になりました。ほとんどの人々は私たちを良く評価してくれましたが、時には「彼らは長続きしないだろう。その教会はなんの実も結んでいない。」というようなことを言って否定的な意見を表明する人々もいました。だから、私たちは実を明らかにしようと決心しました。言い換えると、私たちは教会のための祈りを通して受け取った答えを明らかにすることを決意したので

す。

神は実の豊かな収穫を私たちに与えて下さいました。その実は私たちの日常生活だけでなく、すべての霊的な面にも及んでいました。私たちは感謝と喜びを持ってすべての栄光を神にお捧げしました。さらにすべての必要なものも加えられました。

主を憎む者どもは、主にへつらっているが、彼らの刑罰の時は永遠に続く。しかし主は、最良の小麦をイスラエルに食べさせる。「わたしは岩の上にてできる蜜で、あなたを満ち足らせよう。」（詩編81:15-16）

私たちが神から祝福を受け取る時、私たちはそれを受け取らなければなりません。そのことは命令とみなされます。もし私たちが祝福を拒絶したり、受け取ることができなかつたりするのなら、それは完全に私たち自身の責任です。私たちの問題は不信仰でしょう。これは個人個人の信仰の問題です。私たちはまず受け取るための信仰を成熟させ、成長しなければなりません。神が祝福なさる時、霊的祝福がまず与えられ、それから物質的な祝福が続きます。しかし、人々は逆に

祈り求めるのです。

彼らは互いに言った。「見ろ。あの夢見る者がやって来る。さあ、今こそ彼を殺し、どこかの穴に投げ込んで、悪い獣が食い殺したと言おう。そして、あれの夢がどうなるかを見ようではないか。」（創世記37:19-20）

神が与えられた夢をあきらめないことが大切です。私たちは苦難の中にあってもそれをしっかりと抱いていなければなりません。イエス様は私に彼が完成されたすべての働きと彼が結ばれた実を明らかにし、記録しなさいと命じられました。主は多くの神の僕たちと教会が大変な試みの間に私たちの証言を読んで強さと希望を受け取るだろうと言われました。

人々は自分自身の霊的時間を体験しなければなりません。彼らが困難な訓練の時を経験する時、神は彼らに語りかけ、啓示と経験を与えて下さいます。私たちが祈り、神の言葉を読んで黙想する時、霊的な力を蓄えるために時間を使っていることになるのです。私たちが祈りや、聖書を読み黙想することに時間を使うと、インスピレーションの力が注がれ、神の意志を知るようになるでしょう。だから、私たち自身に約束された恵みと祝福を受け取るために、私たちは神の命令に従い、また身に降りかかってくる息が詰まるような苦難を祈りと叫びの中で耐えしのばなければなりません。

いつまでおまえたちは、不正なさばきを行ない、悪者どもの顔を立てるのか。セラ 弱い者とみなしごのためにさばき、悩む者と乏しい者の権利を認めよ。弱い者と貧しい者とを助け出し、悪者どもの手から救い出せ。（詩編82:2-4）

まことに、神なる主は太陽です。盾です。主は恵みと栄光を授け、正しく歩く者たちに、良いものを拒まれませぬ。万軍の主よ。なんと幸いなことでしょう。あなたに信頼するその人は。（詩編84:11-12）

過度に神の国を第一に探し求める人々は日ごとの必要を求める人々を激しく非難します。彼らはそういう人たちには信仰がないというのです。

だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。（マタイ6:33）

しかし時には神の国と神の義をまず第一に求めることができない時もあるということを知っていただきたいと思います。私たちは非常に競争的な社会に生きています。私は時にはできなくてもそんなに気に病む必要はないと思います。求め、探し、たたくことについては、たとえ順調でないとしても主はむしろ祈りの過程を楽しみたいと願っておられると思います。おそらく、たとえ祈りの過程が逆であったとしてもです。

慎重に考え、順を追って合理的に祈るならその方が良いでしょう。しかし、主は主の教会の秩序の無さや順序などない叫びにいつでも正確に答えて下さいました。主の教会による願いと祈りはいつも切迫したもので、ほとんどの場合緊急事態だと思われていたので、私たちはいつも秩序なく祈っていました。それにもかかわらず、主は正確に、秩序正しく私たちの祈りを整理して答えて下さいました。私たちはこの啓示を経験して、彼の御業に絶えず感動しています。ハレルヤ！

第2章

* 驚くような祈りの応答

私たちは1年中毎日叫び、夜通し力強く祈りました。結果として神は私たちに多くの祝福を与えてくださいました。私たちの特別な祝福の1つは、主が私たちの教会を地下から地上に移して下さったことです。主は私たちを 711 フィート四方（訳注：約 20 坪）の教会から 9400 フィート四方（訳注：約 260 坪）の大きな教会に移して下さいました。ハレルヤ！いったいどのようにしてこのことが起こったのか、私には信じる事ができませんでした。私に何が起こったのでしょうか？それは夢のようでした。

前の教会は地下にありました。周りは他の大小様々な多くの教会に囲まれていました。私たちの地域の建物はほとんど教会が占めていました。そのためこの場所はリバイバルを想像するのが困難な場所でした。中間くらいの大きさの教会が主の教会の真向かいに建っていました。祈禱院と1つの教会が地下の私たちの隣にありました。他の教会は主の教会よりも上にありました。主の教会の裏側はとても高い建物で、それはメガチャーチでした。道沿いには数え切れないほどの他の教会が並んでいました。

私たちの教会があった場所の近辺はリバイバルがたやすく起こる場所ではありませんでした。主の教会はそこで13年間夜通し祈ってきました。近所の人たちは夜間の祈りと賛美に苦情を言っていました。彼らは私たちが出す音で眠ることができなかったのです。しかし、私たちは休むことなく続けてきました。私は申し訳なく思い、また感謝で言葉を失いました。地下の教会で過ごした年月は私にとって戦場でした。私は毎日生と死の狭間をくぐりぬけてきました。

私は忍耐力に欠ける性格です。地下教会から抜け出すために、私は遠回しに言い訳を見つけようと思いました。私は主より前に出たがっていたのです。「愛する主よ、地下の主の教会のスペースはあまりに狭すぎて窮屈です。多くの人々が『バプテスマ』の本を読んで全国から訪問してきています。私はどうすればいいのですか？どうか私たちを早くもっと大きな建物に移して下さい！」

私が主に嘆願した時はいつでも、主は私に制裁を加えられるか、あるいは優しくアドバイスして下さいました。彼の考えは私とは大きく異なっていました。しかし私は忍耐することができず、しつこく嘆願しました。しかし、主は常にその時はまだであり、もっと忍耐して祈りなさいと答えられました。

実際、人々が主の教会を訪れた時はいつでも、彼らは教会がいかに狭いことかについてと感じた息苦しさについてコメントしていきました。教会の礼拝堂はたった 711 フィート四方（訳注：約 20 坪）しかありませんでした。トイレはたった1つしかなく、しかも男女共用でした。私たちにはとても小さな洗い場しかなく、洗うためには身をかがめなければなりません。古いビルには従来のシンクがないものもあります。その場所は全然快適ではありませんでした。礼拝堂の裏はキッチンでひどい状態で、106 フィート四方（訳注：約6畳）でした。炎のバプテスマの本で読んだことを確認し、体験するために多くの人々が主の教会に押し寄せてきました。彼らは本の中の経験が本物か偽物か知りたかったのです。主は多くの人々を送られました。座る場所も立つ場所もないこともありました。主はその時教会を移動することについて語られました。

「キム牧師、多くの人々が訪れるでしょう。そのことが起きた時、人々が座るのに十分な場所はなくなってしまいます。講壇の上に座らなければならない人々も出てきます。人々の靴が階段の上から下まであふれかえるでしょう。わたしはそのときようやくあなたたちをより大きな建物に移します。」

神のなさることは、すべて時にかなって美しい。神はまた、人の心に永遠への思いを与えられた。しかし、人は、神が行なわれるみわざを、初めから終わりまで見きわめることができない。(伝道者の書3:11)

主の教会で起こった出来事は国内だけでなく国外からも多くの人々を引き寄せました。1日だけ来た人もいれば長期間来た人もいました。長期間とどまった人たちは、限られたスペースで非常に不便なものにもかかわらずとどまってくれました。本の内容が先例のない霊的な出来事で成り立っているのです、私たちは実に様々な人たちを引き付けました。疑いを持ってくる人もいました。熱烈に祝福を求めてくる人もいる一方で、私たちと口論するために来る人もいました。彼らは私たちの経験が聖書的なのかそうでないのかを口論しがっていました。訪れた多くの人々は既に賜物を受けていました。私たちがカルトだと宣言する人々もいました。私たちのミニストリーに参加してもよいかなどと尋ねてくる人もいました。私は何千人もの人が訪れたと思います。

どんなタイプの人に来るかは問題ではありませんでした。私はすべての礼拝を注意深く導き、彼らすべてに威厳を持って接しました。私は教会を訪れる人みんなに心を開き、彼らが主の教会の家族の一員であるかのように接しました。彼ら1人1人は一つ心で私たちの祈りのラリーに参加しました。私は主の教会を訪れて下さった人々に感謝しています。

ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるからです。(マタイ18:20)

時がたつにつれて、より多くの人々が主の教会を訪れ始めました。彼らは韓国国内からだけでなく、アメリカ、ドイツ、日本、中国、さらには中東からも訪問してくる方たちがいました。私たちが一致してみんなで祈った時、私たちの祈りは光を放ち始めました。

私は主に嘆願しました。「愛する主よ、私たちは毎日あなたに礼拝を捧げてあなたを喜ばせています。しかし教会のスペースがあまりに小さくて制限されているので、あなたが願われるようにミニストリーを行うことができません。どうか今もっと広い教会を手に入れることをお許しください。」主はついに答えられました。「いいでしょう。行って大きな建物を探さない。」しかし、主はその場所の具体的な指示をなさいませんでした。教会員たちと私は特に新しい教会の建物に望むことと必要なことのために祈り求めました。私たちは必要なオフィスや異なる目的で使う様々な部屋を作るのに十分な広さの建物を探しました。私たちはとりなしの祈りの部屋、訓練の部屋、男性女性のゲストの部屋、分かれたトイレ、図書館、放送室、食堂、キッチン、少なくとも5つの個人的な祈りの部屋、メインの礼拝堂、保健室などを求めました。私は公に新しい教会の建物を探す仕事を公表しました。私は情報を教会員に提供し、求めている建物を探すのを手伝ってくれるよう頼みました。私は彼らに少なくとも1423フィート四方(訳注:約40坪)以上の建物を探すように言いました。私たちはインチョンの西側で探し始めました。

しかし、私たちがリストに入れたすべての望む部屋と設備を備えつけるには少なくとも3559フィート四方(訳注:約100坪)の建物が必要でした。私たちには全然お金がありませんでしたが、私たちの目標を定めました。教会員はみんな尋ねました。「牧師先生！大きな建物はすごくお金がかかります！どうするつもりなのですか？」教会員たちは誰もが心配するように心配しました。彼らは私たちの置かれた現実の状況と信仰によって新しい教会を得るビジョンを考慮していました。しかし、彼らは私の導きを信じてついて来てくれました。主の教会のほとんどの人は新しく登録された人だったので。

私たち主の教会のメンバーは外の世界から隔離されてはいませんでした。私たちは証と主からの啓示をどうしても分かち合いたかったのです。私たちは国際化し、教会を訪れる人たちを受け入れようと決意しました。私たちは祝福を受けた

い人みんなに教会を開きたかったのです。私たちは他の地域から来た兄弟姉妹たちが私たちの経験していることを経験するよう願いました。その結果、私たちは国際空港から可能な限り近いところに引っ越そうと決めたのです。

私たちは最低1423フィート四方(訳注:約40坪)から2850(訳注:約80坪)、3600(訳注:約100坪)、5338(訳注:約150坪)、7118(約200坪)、そして8185フィート四方(訳注:約230坪)までの建物を探しました。私たちは次第に広さを増やしていきましたが、見たすべての建物の家主は私たちを拒絶しました。彼らは教会に貸したくなかったのです。そのため私たちはもっと熱心に力強く祈り始めました。私たちはより広い場所のために主に嘆願しました。私たちは意志、心、そして信仰で決断しました。しかし、私は前進していても少し心配がありました。私は「あまりにも大きな目標を求めすぎているのではないだろうか？私はいくらもぼれているのではないだろうか？私はばかげた夢をもって会衆を導いてきたのではないだろうか？」と自問しました。新しい建物を探し続けている時、主は家主が私たちを拒絶することをお許しになりました。主は私たちを訓練しておられました。彼は私たちの限られた小さな考えをより大きな考えへと作り変えたかったのです。その時、私たちは状況の裏にあって私たちが何かを学ぶよう助けて下さっているのは神なのだということに気づいていませんでした。主は既に私たちの前の道であられました。彼はとても広くて見た目も素晴らしい建物を用意してくださっていました。主は様々な状況と道のりを通してこの特定の建物へと導いて下さいました。もし粘り強さと意志を信仰の方へ向って進ませるなら主は私たちのために働いて下さいます。主イエス様は、既に交通の便のよい場所を心に決めておられました。イエス様は私たちが祈り求めていたことを、最も細かな詳細に至るまで、成し遂げ、満たして下さいました。

私たちは何カ月も空き家だった建物を見つけました。その建物はソグ区役所の向かいで、ソグ消防署の隣でした。建物の大きさは9400フィート四方(訳注:約260坪)でした。私たちはすぐにこれが主の教会のために準備された建物だと思いました。イエス様は私たちが恒久的に教会をヨンジョン島インチョン国際空港のそばに移す前に、インチョンのソグにとどまって基礎を築き成長することを望んでいると語られました。私たちは未来へ飛び立つために自分たちを整えました。

空いている場所は5階にありました。その場所はとても広大でした。7つの柱が端から端までまるで中心から一直線に並んでいるように立っていました。その柱は空間を約3600フィート四方(訳注:約100坪)に分けていました。その広大な空間を見るや否や、私はすぐにその空間の使い方を頭に描きました。私たちにはすべての提案した設備を備えるのに十分なスペースがありました。私たちは理想的な場所を見つけたのです。私はその時すぐにチョークで床に書きました。そこには私たちが構想したすべての部屋を作る十分なスペースがあったのです。私たちはメインの礼拝堂、放送室、保健室などを作ることができました。十分なトイレという問題はもはや私にとって問題ではありませんでした。私はこのスペースの全てにとっても感動しました。しかし現実に戻ると、私たちは経済的に貧しかったのです。私たちにできることはただ祈りだけでした。祈り以外にできることなど何一つありませんでした。私たちの経済は極めて制限されていました。さらに、私たちはそのビルの持ち主に会ったことがありませんでした。実際、私たちはそのビルの持ち主が教会に貸したがるかどうかすら定かではなかったのです。

ある夜、深夜12時に教会員と私はこっそりそのビルの5階に忍び込み、エリコの戦略を使いました。私たちは並んで歩きまわり、「主よ！この場所を与えて下さい！」と叫びました。私たちは力強く祈り、叫びました。その騒音でビルの警備員たちが驚いて駆け上がってきました。その近所は消防署、警察署、区役所といった政府のオフィスで占められていました。その警備員たちは心配で青ざめているように見えました。さらに、ビルの周りにはアパートもありました。「あなたたちはここで何をやっているのですか？なぜこのビルで叫んでいるのですか？あなたたちはここに忍び込んだのですか？一体ここで何をやっているのです？警察を呼びますから投獄される前に直ちに立ち退きなさい！」警備員は怒りの表情で私たちをにらみました。この出来事の後でさえも、私たちはまた3回以上忍び込んで祈り叫びました。警備員もついにはビル

の持ち主も私たちを憎むようになりました。私たちは歓迎されていなかったのもう望みは消えうせたと思いました。

この世において、私たちがすべてを信仰を持って始める時、霊的にも物理的にも多くの障害物が出てくるのは至極当然のことです。ほとんどの場合、多くの人々は障害物を好みません。しかし、私たちは時には障害物に勇敢に立ち向かわなければなりません。たとえ否定的な状況で挫折してしまいそうな時でも、私たちは恐れずに前進し続けなければなりません。私たちがそのようにし続ける時、免疫がついてきます。免疫が増し加わると、ついにはすべての障害物を克服できるのです。

私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。（ピリピ4:13）

するとイエスは言われた。「できるものなら、と言うのか。信じる者には、どんなことでもできるのです。」（マルコ9:23）

私は後に私たちを追い出し続けていた警備員はビルの持ち主の親戚であったことを知りました。私たちはまた周りの地域の他のテナントもそのビルの持ち主にどんなことをしてでも私たちには貸すなど頼んでいたことさえ聞きました。実際、私たちはその場所はどこ教会にも貸し出さない場所であると言われました。私たちは持ち主に教会に貸すくらいなら空いたままの方がましと言われました。私たちが持ち主に近づいた時、彼は頑なに私たちに貸すことを拒みしました。彼は非常に頑固でした。その持ち主は私たちを6回拒みましたが、7回目に会った時にはついにその場所を貸すことを認めました。私はこれが聖霊様の助けのおかげであったと信じています。しかし、家賃とデポジット代金は私たちの想像を絶するものでした。要求された金額は私たちにものすごいショックをあたえました。もし私たちがデポジットとして350,000ドル（訳注：1ドル75円として約2625万円、1円14ウォンとして約3億6750万ウォン）払って借りるなら私たちは月々の家賃を払う必要はありません。韓国では、使用料は巨額のデポジットを払って得られた利息を通して支払われます。そのデポジットは賃貸が終わった時に全部返還されます。他方は、私たちが86,000ドル（訳注：約645万円、9030万ウォン）をデポジットとして支払うなら家賃は2,600ドル（訳注：約20万円、280万ウォン）になります。もう一つの選択肢はデポジットとして170,000ドル（訳注：約1275万円、1億7850万ウォン）払って家賃が1,700ドル（訳注：約13万円、182万ウォン）というものでした。最後の選択肢がデポジットとして260,000ドル（訳注：約1950万円、2億7300万ウォン）支払い、家賃が862ドル（訳注：約6万5千円、91万ウォン）というものでした。管理費が別にかかり、35フィート四方（訳注：約2畳）あたり5ドル（訳注：375円、5250ウォン）または1400ドル（訳注：約10万円、140万ウォン）が必要です。電気や水の料金も含めると合計2500ドル（訳注：約19万円、262万ウォン）はかかりました。これは冗談ではありません。

私たちは板挟み状態に陥りました。もし彼らが私たちにその場所を貸してくれたとしても、一体どうやって資金を作りやりくりしていけるのでしょうか？今の教会の建物で持っていたもののすべては残っているデポジットの2000ドル（訳注：15万円、210万ウォン）だけでした。その間に私はスウォン市のリバイバルを導きました。リバイバルの中に会って、私は熱烈にこの問題のために祈りました。

「愛する主よ、ソグ区役所のところに教会を建てるのが本当にあなたの御心でしたらどうか1週間以内に86,000ドル（訳注：約645万円、9030万ウォン）現金でお与え下さい！もしそうなったら、私たちの教会がそこを借りて得ることがあなたのご意志であることを信じます。私は前進します。」

このことは本当に実現しました。神は私たちの見知らぬある人を通して働かれました。この人は何度か文書を送って来て、その後3回に分けて合計86,000ドル（訳注：約645万円、9030万ウォン）を私たちの口座に振り込んでくれたのです。

* 主の声を聞いて石膏の壺を割った女性

ヒゼキヤとすべての民は、神が民のために整えてくださったことを喜んだ。このことが即座に行なわれたからである。

(Ⅱ 歴代誌29:36)

3年前、2005年の1月に私の家族を含めた9人の主の教会のメンバーが特別な新年の祈り会を開きました。30日間の祈り会の中に、その教会員たちは主によって霊の目を開かれました。同時に聖なる火によるバプテスマも点火しました。主は私に「燃える火によるバプテスマ」の本を書くように命じられました。私たちの聖霊ミニストリーはとても多様になりました。

その間、私たちは極めて貧しい状況下で祈っていました。私たちの状況は好ましくはありませんでした。視覚的効果を高めるために、私はプロジェクタースクリーンを設置して5つの祈りの課題を映しました。私は最初から最後までそれぞれの祈りの課題を叫ぶことによって導いていました。残りの8人は私が言うことを繰り返しました。私たちの祈りはばかげたものに見えるかもしれませんが。しかし主は5つのパンと2匹の魚を5000人に分けたのと同じような奇跡をなさいました！実際、私は5つの祈りの課題は非常にあいまいなものだと分かっていたので、彼らが具体化するのとは不可能だと思っていました。またその時には、5人のメンバーはただ楽しむために私に続けて叫んでいたのです。これが5つの祈りの課題の内容です。

1. 全世界が聖なる火のバプテスマを受けること
2. 教会を引っ越すために430,000ドル(訳注:3225万円、4億5150万ウォン)与えていただくこと
3. 9人全員を巡礼旅行に遣わしていただくこと
4. あらゆる分野の働き人を主の教会に送っていただくこと
5. 「ボンバルバル！」(私たちを他の家に移して下さい(異言の祈り))その頃私の家族は道端に立ち退かせられていました。私たちは神に1779フィート四方(訳注:約50坪)のアパートを求めているとは知らずに祈っていました。私たちはこれらの祈りを宣言しました。

私は私たちの祈りは現実にはそんなに意味がないと思っていましたが、それらは2年後の2007年に実現しました。それはただ奇跡としか言いようがありません。私は信徒たちに活気を持たせるためにいくつかの肯定的な祈りのリストを作りました。私はただ視覚的効果を高めるためにプロジェクタースクリーンを使いました。しかし、神はその裏で真実私たちのために働いて下さっていました。私たちは答えを受け取ったにもかかわらず当惑していました。実際、私たちは『燃える火によるバプテスマ』の本からたくさんのお金が与えられるだろうと思っていました。しかし神の思いと私たちの計画は異なる方向に進んでいたのです。

田舎に住んでいる婦人執事がいました。ある日、彼女はインターネットで『天国は本当にある』のサイトを見ていました。このウェブサイトの主な内容はトマス・チュナム女史と著書『天国は本当にある』についてでした。そのサイトを見た後、彼女はコンピューターを切ろうとしていました。しかし、突然主は彼女の耳に語られたのです。「**娘よ、インターネットを見るのをやめないで他のウェブサイトを見てみなさい！**」その婦人執事は続けていくつかの他のウェブサイトも探しました。すると突然ポップアップ広告が現れました。それを読むと「これらの本の紹介」とありました。その本は「燃える火によるバプテスマ」の1巻から4巻だったのです。そこで紙表紙の要約版を買い求めることができました。主は彼女に命じました。「**よし、娘よ。今その本を買ってすぐに全部読みなさい。わかりましたか？**」

その婦人執事は 1 巻から 4 巻までシリーズを全部買いそろえました。彼女はすべての本を一気に読みました。彼女はとても祝福され、またショックを受けました。主はその時彼女にささやかれました。「娘よ、あなたが持っているお金をみな集めなさい。あなたはインチョンのソ市にある主の教会に行ってそのお金を渡しなさい。あなたが持っているものはすべてこのため準備されたものなのです。この瞬間から、あなたも主の教会に出席しなければなりません。」彼女は答えました。「主よ、私は主の教会よりも預言で有名なソウルのメガチャーチに出席したいのです。あなたはなぜ私に主の教会に通えとおっしゃるのですか？あなたはなぜ私に自分のお金をすべて彼らにあげてしまいなさいとおっしゃるのですか？」彼女が尋ねた後、主はソウルのその教会は既にたくさんの方がいる裕福な教会だと語られました。主の教会のキム・ヨンドウ牧師は貧しさや困難の中にあるすべての人々を喜んで迎え入れる牧師です。主はさらに彼女は主の教会を経済的に支え、仕えなければならないと語られました。

主は彼女に私たちの経済的必要な全ての支えよう命令されたのです。彼女を通して、神は新しい教会に引っ越すための資金、経済的支援が必要な教会員のための資金、そしてさらに私たちの巡礼旅行のための資金までも与えて下さいました。イエス様は、引越しに必要な費用を賄うために、既に見知らぬ婦人執事を通して備えて下さっていたのです。追加の資金は国中の特別なクリスチャンたちを通して賄われました。主はその婦人執事に巡礼旅行について語られました。「娘よ、主の教会のメンバーたちを旅に行かせなさい！あなたが旅行の計画を立てるのではなく、キム牧師に何か計画がないか尋ねなさい。キム牧師に聞けばわたしの意志がわかるでしょう。」

彼女は不満を抱いて言いました。「主よなぜですか？主の教会のメンバーたちはみな霊の目が開かれています。彼らは祈りの中で天国も地獄も旅することができます。彼らが物理的に特別な巡礼旅行をする理由などありません。主よ、そうではありませんか？」主は答えられました。「霊は霊、肉は肉です。肉体的な領域での旅行もまた必要なのです。娘よ、だからあなたはこの計画に直接参加しなければなりません。彼らはどのように旅をするか、またどのように代金を支払うかを心配すべきではありません。あなたが彼らを送りださなければなりません！あなたには彼らの食事の世話をする責任があります。彼らにより宿泊施設を用意し、食事と睡眠をしっかりとりなさい。食事も含めた旅行計画を準備しなさい。あなたはまたパスポート、旅行鞆、小さなショルダーバッグ等の費用も提供しなければなりません。」

私とその婦人執事の話聞いた後、私は主の素晴らしい配慮に大いに衝撃を受けました。私はしばらく言葉を失い、頭も真っ白になって立ちつくしていました。妻と私にはハネムーンに行くチャンスがありませんでした。実際、私たちは飛行機に乗ったことはありませんでした。私たちはロマンチックな旅行に行くという夢さえ抱いたことはありませんでした。私は語る言葉もなく、主に対する畏敬の念に満たされていました。私は茫然としていました。その時突然表現できない感情に圧倒されてしまったのです。私の心臓は高鳴り始めました。私は自分の鼓動が次第に早まっていくのを聞きとることができるほどでした。どんなに自分を落ち着かせようとしても、それは容易ではありませんでした。

2005 年 1 月は教会員たちにとっても私にとっても霊的に開かれ始めた時でした。私たちはまた凍え、文字通り空腹でした。その冬はとても寒く、私たちは基本的に 711 フィート四方（訳注：約 20 坪）の地下教会にいました。私たち 9 人は極めて貧しい状況下で叫びの祈りを始めました。今はそれから 3 年がたちます。今その頃を思い出すと、ぼんやりとした記憶しか残っていません。

その時には、燃料がずいぶん前に尽きてしまい、とても寒い中で私たちは休むことなく必死になって悪魔や悪霊と戦っていました。それは終わることのないように思われました。私たちは気温マイナス 15 度という極限状態の中で戦っていました。私たちには何も食べるものはありませんでした。空腹を覚えながら、私たちは祈りの中で悪霊や悪魔に対して戦いを挑んでいました。私たちはなぜ彼らが私たちに向かってくるのかわかりませんでした。私たちには彼らの目的がわからな

かったのです。手を温めるために温かい息を吹きかけながら、私たちは悪霊と絶え間なく直面し、戦いました。私たちは餓死寸前であり、また寒さで震えていました。私たちが知っていた唯一のことは祈りでした。私たちは温かいシャワーを浴びたり、ちゃんと体を洗ったりすることすらできませんでした。ほとんどの場合私たちは 1 日 1 食おにぎりを食べるのができただけでした。

その時、私を含めて 9 人全員が祈りに集中していました。祈りは私たちの希望であり、ひたすらイエス様とお会いすることを望んでいました。祈る時にはいつでも、常に悪霊の集団と殴り合いとも言えるような戦いをしました。多くの戦いをし、私たちは次第に疲れ、体調を崩してしまいました。しかし 2007 年に、主はすべての祈りに同時に応えられました。このことについて考える時、私は今でも仰天してしまいます。私は主が与えて下さったものを思う時、胸がいっぱいになります。私は静かに、また絶え間なく喜びの涙を流します。その良い知らせはももとの 9 人のメンバーと後に加わった新しいメンバーたちにうれしい出来事をもたらしました。私たちの状況は祈りがいかに力強いかを証明するものです。私たちはすべての栄光を主にお捧げします。

どうか、私たちのうちに働く力によって、私たちの願うところ、思うところのすべてを越えて豊かに施すことのできる方に、教会により、またキリスト・イエスにより、栄光が、世々にわたって、とこしえまでありますように。アーメン。

(エペソ 3:20-21)

巡礼旅行の計画を練っていると新しい問題が生まれました。主は 30 日の祈禱会で祈りぬいたもとの 9 人の信徒が参加することを望んでおられました。しかし、後に加わった新しいメンバーのうちの何人かも一緒に行きたがったのです。私は板挟みになり、大きなストレスを感じるようになりました。決めかねているうちに数か月が経過しました。その間に婦人執事は新しい建物を借りるために 260,000 ドル(訳注:約 1950 万円、2 億 7300 万ウォン)捧げて下さいました。契約は完了しました。私たちは大きな建物で主のミニストリーを行うことを夢見てきました。今や 9400 フィート四方(訳注:約 260 坪)の建物が与えられ、夢は実現したのです。

そのスペースはとても広く、内装にかかるお金も莫大になると思われました。私たちはもともと発泡スチロール製の亜鉛メッキパネルを付けようと決めていました。しかし主は、「**キム牧師、この建物があなた自身のものではないとしても教会は私の体です。だから内装をきちんとしなさい。わたしが十分な資金を与えよう**」とおっしゃいました。神の礼拝堂に装飾を施すとなると、神はみずばらしい材料とやり方では喜ばれません。主は私たちを強く説得して内装を徹底的に優雅で美しく飾らせました。建設中に財源が不足した時はいつでも、主はいつでもとても多くを与えて下さいました。経済的問題が生じると、私はいつも心配しましたが、お金は予期しない形で与えられました。主はいつも 1 歩先に進まれ準備しておられました。

教会の建設と巡礼旅行の準備はスムーズに進みました。私たちはどちらも大きな祝福のうちに成し遂げました。私たちに資金を与えて下さった婦人執事の旦那さんは証券会社のビジネスをしていらっしゃいました。私は好奇心で主の教会の必要を満たすために彼女が用いたルートは何だったのだろうかと考えました。それにもかかわらず、その婦人執事は素早く適切な手続きを踏んで資金を与えて下さいました。主が彼女に力強いメッセージを与えられたようでした。しかし、彼女は計画全部の資金を供給することはできませんでした。

神は 5 冊の炎の本に触れられ、感動を与えられた様々な人を通して資金の不足を満たして下さいました。もちろん、全国にいるその人たちに触れられたのは神ご自身です。その人たちは私たちを経済的に、また祈りで支えて下さいました。神

もまた主の教会の資金と祈りに力を貸して下さいました。主が力強く介入して下さいだったので、建設作業は水が流れるようにスムーズに進みました。何の問題もなく、私たちは建設のために一切追加の負債を負うことはありませんでした。私たちは予算内で留まっていました。最終的な合計額は 450,000 ドル(訳注: 約 3375 万円、約 4 億 7250 万ウォン)になりました。

主の教会におけるすべての仕事は喜びと幸福のうちになされました。私たちはこのように続けていくつもりです。すべては自己決定によってなされます。誰にも要求はしません。特別な献金や他の貴重な品々を捧げるよう圧力をかけることもありません。すべては自発的になされます。新しい建物のための資金は不和も妨害もなく与えられました。神はすべての方法を完全に整えて下さり、それは実に驚くべきものでした。私たちは特にインテリアデザイナーのために多くの祈りの時間を割きました。神はベツアルエルのような特別なインテリアデザイナーを整えて下さいました。

主はモーセに告げて仰せられた。「見よ。わたしは、ユダ部族のフルの子であるウリの子ベツアルエルを名ざして召し、彼に知恵と英知と知識とあらゆる仕事において、神の霊を満たした。それは、彼が、金や銀や青銅の細工を巧みに設計し、はめ込みの宝石を彫り、木を彫刻し、あらゆる仕事をするためである。見よ。わたしは、ダン部族のアヒサマクの子オホリアブを、彼のもとに任命した。わたしはすべて心に知恵のある者に知恵を授けた。彼らはわたしがあなたに命じたものを、ことごとく作る。」(出エジプト記31:1-6)

ある人が1人のインテリアデザイナーを私たちに紹介して下さいました。そのインテリアデザイナーは他の教会の執事でした。彼の名前はキム・スンジョンと言います。彼は他の関連分野でも働いていました。彼は新しくできた教会のためには無償で奉仕し、3,000ドル(訳注: 約22万円、315万ウォン)以下の内装工事費だけで請け負ってくれることで知られていました。彼の低い料金設定のおかげで合計コストを低くおさえることができます。多くのインテリアデザイナーがやって来て計画を算定して下さいましたが、他の誰にも興味をひかれませんでした。キム・スンジョン執事とお会いした時、「この人だ!」と強く感じました。

キム・スンジョン執事は毎日徹夜祈禱会に参加しました。新しい建物のために彼は喜んで働いて下さいました。彼はその時異言、預言、またその他の賜物も受け取りました。彼は次第に主の教会の家族の一員になっていきました。神は彼に賜物という特別手当を与えられました。神はまた彼に喜んで会堂の建設をさせました。なんと驚くべきことでしょう。

主が私たちが完全に新会堂に移された後、主は私たちがリラックスさせて下さったので新しい気持ちを持つことができました。新しい場所で心機一転しました。私たちの祈りはリフレッシュし、新しい霊的戦いの準備が整いました。それは全教会員が長く心に抱き続けてきた願いの応答でした。メインの礼拝堂は4270フィート四方(訳注: 120坪)で食堂、キッチン、男性・女性のための部屋、シャワー室、5つの個人的な祈りの部屋、訓練の部屋、とりなしの祈りの部屋、放送室、図書館、備え付けの物置、分かれたトイレ、オフィスなどができました。主は完璧な部屋を用意して下さいました。今や私たちは防音壁があるので近所を気にせずに叫ぶことができます。さらに、どんな訪問者でも年中夜の祈禱会に出席した時に休息をとることができます。教会にはもはや何の不足もありませんでした。私たちは今や祈りの家として、また完全に建て上げられた教会として準備ができたのです。

** 主が私たちの祈りに応えられた!*

私は主が韓国教会の建物をどのように見られるのだろうかいつも思います。私は主がこのことについて私の疑問にどのように応えて下さるのだろうかと思ひめぐらしました。私には1つの疑問があり、それを尋ねたい理由は大きな教会を

建てたいという衝動があるからです。信徒数が増えたら大きな教会を建てるということはどんな牧師にとっても自然なことです。教会が建てられる時、牧師のビジョンと信徒たちの信仰に基づいて多くの変わることに要因を考慮します。いくつかの事例において、私たちは多くの牧師が大きな教会堂を建設し、次第にその大きさが必要以上で予想を超えるものになってしまうのを目撃しました。この失敗の理由の1つとして牧師の野心が挙げられます。このようなことを人生のうちで成し遂げたいという野心です。教会の外観は甚だしく、自慢するかのような荘厳さで建てられます。しかし実際には彼らは絶えず重い負債と利息で苦しんでいるのです。さらに、彼らの教会員たちがこれらの巨大プロジェクトの連帯保証人として債務を負っています。彼らは結局貧しい生活をするようになっていくのです。

イエス様は言われました。「**牧師たちの過度なうぬぼれは彼らの宗教哲学と相まって、失敗と副作用を生みだしています。わたしはその後始末をしている信徒たちを気の毒に思います。**」主はこれらの教会は極端な決断の後、負担の重い生活を続けることになるだろうと付け加えられました。私は主に返事をしました。「しかし主よ、教会建築のために多く貢献した人はどうなるのですか？その人はたくさん祝福をうけるのでしょうか？そうですね？」主は答えられました。「**それでも、賢明に行動しなければならぬのです。彼らは自分たちの資力に見合った建築をしなければなりません！**」

与えられた神の恵みによって、私は賢い建築家のように、土台を据えました。そして、ほかの人がその上に家を建てています。しかし、どのように建てるかについてはそれぞれが注意しなければなりません（1コリント3:10）

私は主に尋ねました。「愛する主よ、私たちはあなたのために何もしてきませんでした。一体なぜあなたは私たちを祝福し大きな建物に移して下さったのですか？あなたは私たちの巡礼旅行さえ整えて下さいました。私たちはあなたの恵みに感謝するばかりです！」主は大きな声を出して笑われ、私に語られました。

「**ははは！キム牧師、何を言っているんだ！あなたがどれだけ父、聖霊、そしてわたしを楽しませたか知っているのかい？あなたと主の教会は夜通し祈って私をとっても喜ばせました。わたしはあなたたちに素晴らしい贈り物をあげたいのです。どうだい？うれしいでしょう？」**

私はそれを聞くと涙が頬を流れ落ちました。私は言いました。「はい、主よ！ありがとうございます！」主は柔らかく温かい声で語り続けられました。

「**終わりの日まで変わってはいけません。いつも父、聖霊、そしてわたしを喜ばせなさい。あなたは霊的戦いを通過するために大変な人生を経験してきました。わたしは巡礼旅行を与えることによってあなたの疲労を和らげてあげたいのです。わたしは個人的にあなたと共に旅行についていきましょう。一緒に行こう！もう1つ、この瞬間からあなたは新しい次元の霊的戦いを経験するでしょう。だからあなたはしっかりと準備をし、武装しなさい！わかりましたか？」**

主がまた霊的戦いのことに言及されたので、私は緊張しました。私は「今、主は霊的戦略を世界規模に拡大しようとしておられるのだろうか？」と考えました。主は今や新しい霊的戦略を計画しておられます。彼は準備を整えて飛び込むように命じられました。私たちは自分自身を整えなければなりません。その準備は神の御言葉を読み、祈ることです。しかし、主の戦略は私たちがいくつかの戦いで勝ち、いくつかの戦いにおいては悪霊に打ち負かされることも含んでいます。彼は私たちを成熟した屈強な将軍にしたいと望んでおられるのです。私は既にこのことをある程度知っています。

新しく借りた建物の内装工事中に、私たちはみんなわくわくしながら巡礼旅行の準備をしました。これは主の教会の歴史において歴史的な旅行でした。主は整然とすべてのことを整えて下さったので、2007年6月に工事が完了し新しい建物に

移って、巡礼旅行に行くことができました。

それにも関わらず、私は巡礼旅行に参加する人数によって非常に困りました。私は全教会員が旅行のために互いに張り合っているのでもうどうしたらよいかわかりませんでした。私には最初に私たちの教会に登録した15人を選ぶ以外に選択肢がありませんでした。しかし、1日2日の差で登録された新しいメンバーがたくさんいたので気分は晴れませんでした。しかし私には他に選択肢がありませんでした。私は何人かをリストから除外しなければなりませんでしたが、彼らは決して旅行のために競い合うことをやめようとしませんでした。彼らは最後まであきらめませんでした。「主よ、私も巡礼旅行に行きたいのです！どうか私も行かせてください！」彼らは異口同音に祈っていました。

巡礼旅行が広がっていくのを見て、私は困り果ててしまいました。旅行のための費用は順調には進んでいませんでした。旅の資金は見ず知らずの婦人執事に依存していました。そのことを思うと、私は申し訳なくて落ち着きませんでした。しかし突然その婦人執事が私に電話してきたのです。「あら、キム牧師先生！巡礼旅行のことでどうしてそんなに思い煩っていらっしゃるのですか？単純なことですよ。もともといた9人だけ連れて行けばいいではありませんか。どうしてそんなに困ることがあるのですか？」私は何も言うことができませんでした。私はただ彼女の言うことを聞いていました。後に彼女は主が彼女に命じられたことを話してくれました。「娘よ、わたしの僕であるキム牧師がとても困っているのどうするつもりなのですか？僕がこれ以上悩まなくてもいいようにあと何人かの人をリストに加えなさい。」

結局15人の人が旅行に行くことが決まりました。しかし他の新しいメンバーたちが私に懇願してきました。「牧師先生！私たちはここに来てまだ少ししか経っていませんが、それでも私は行きたいのです。行かせてください！お願いします。」旅行に行けない残りのメンバーたちは必死になって祈りました。彼らは旅行に行くために祈りました。彼らは私に泣きついて憐みを乞うかのように頼みこみさえしました。私はまた悩みました。「主よ、あなたは私に何をしてほしいと願っておられるのですか？私が行かない方がいいのですか？」私が悩んでいると、その婦人執事がまた電話してきました。「あら、キム牧師先生、一体何があったのですか？」彼女は主がもう一度彼女に命じられたことを話してくれました。「娘よ、我が僕はまた悩んでいる。だから、残りのメンバーも旅行に加えなさい。」

20人のメンバーが決まりました。するとまた同じことが起こったのです。私が悩み続けていると、主は婦人執事に語られました。「娘よ、旅行に行く必要のあるメンバーがまだいます。」彼女は不満になって異議を唱えました。「まあキム牧師先生、あなたは一体何人の人を旅行に連れて行くつもりなのですか？」私は答えました。「あの、もし可能なら、私は全教会員と一緒に連れて行きたいのです。でももし無理ならあともう少しだけ連れて行きます。」最終的に、私たちは合計25人で出かけることになりました。これはすべて主の驚くばかりの恵みによるのです。

婦人執事は大笑いしながら言いました。「牧師先生、心配なさらなくてください！あなたがあまりにもお悩みになるので、主は私が忙しくて疲れきっているのに私のところに来られるのですよ。」主は言われました。「娘よ、私はあなたが疲れきっていることを知っています。あなたは私の僕、キム牧師がどんな困難を経験しているのかわかっているのですか？彼も非常に疲れ果てているのです。キム牧師は毎日地獄に引きずって行かれます。夜の間、彼の魂は地獄で残酷にも切り裂かれています。彼は想像を絶する痛みの中にあります。その痛みは肉体にも及んでいるのです。だから、わたしはキム牧師にこのことで心配してほしくないのです。キム牧師は地獄の苦痛を直接経験しているので他の人に警告をすることができます。彼には人々が地獄に行くのを防ぐ使命があるのです。娘よ、わたしはあなたに彼の全ての負債と巡礼旅行の準備に責任を持つよう求めました。わたしは彼が思い煩うことを願いません。」

ついに婦人執事は苦心して自分を犠牲にすることにしました。彼女は私たちの旅行を実行に移すために全身全霊を注いで下さいました。彼女は重要なことからささいなことまですべてに気を配って下さいました。巡礼旅行の準備は整いました。私たちはイスラエルからヨルダン、エジプトに至るまで5つ星ホテルに宿泊することになりました。私はハイクラスのリムジンサービスも受ける予定だと聞かされました。私たちは専用バスをいただくことになりました。そのバスは豪華な設備がたくさん付いていました。その国にはそのようなバスはたった2台しかありませんでした。私はとてもうれしく思いました。私は感謝の気持ちを涙で表しました。巡礼旅行と新しい会堂への引越は美しい実を結びました。その実には自分を犠牲にした匿名の婦人執事と多くの信徒を通して可能となったのです。

あなたがたも祈りによって、私たちを助けて協力してください。それは、多くの人々の祈りにより私たちに与えられた恵みについて、多くの人々が感謝をささげようになるためです。（Ⅱコリント1:11）

*** 主が共に行かれた巡礼旅行**

苦難の日に主があなたにお答えになりますように。ヤコブの神の名が、あなたを高く上げますように。主が聖所から、あなたに助けを送り、シオンから、あなたをささえられますように。あなたの穀物のささげ物をすべて心に留め、あなたの全焼のいけにえを受け入れてくださいますように。セラ主があなたの願いどおりにしてくださいますように。あなたのすべてのはかりごとを遂げさせてくださいますように。私たちは、あなたの勝利を喜び歌いましょう。私たちの神の御名により旗を高く掲げましょう。主があなたの願いのすべてを遂げさせてくださいますように。今こそ、私は知る。主は、油をそそがれた者をお救いになる。主は、右の手の救いの力をもって聖なる天から、お答えになる。ある者はいくさ車を誇り、ある者は馬を誇る。しかし、私たちは私たちの神、主の御名を誇ろう。（詩篇20:1-7）

主の教会は生ける神の偉大な御業によって次第にリバイバルし、成長しました。私たちの巡礼旅行は予定通りに進みました。お祭りのような雰囲気が広がっていました。旅行に参加できなかった教会員のうち何人かは長い間悲しみにくっていました。「もし知っていたならもっと早く来たのに。もっと早く名前を登録したのに。私は非公式に教会に出席して登録していませんでした。最初から登録を先延ばししていました。今私は巡礼旅行に行けません。登録するのが遅すぎました。」

私はある兄弟が旅行者リストに入るように手配しました。彼はかつて公園のベンチで寝泊まりしていました。彼は非常に喜んでいました。その兄弟はとても感動して幸せそうでした。彼は自分も連れて行ってくれるなんて思いもしなかったと言いました。匿名の婦人執事は旅行に必要な手配のすべての世話をしてくれました。私は旅行のことについて心配する必要がありませんでした。私は彼女の勤勉な努力と献身を決して忘れないでしょう。私は一生、いつでもそのことを思い出すでしょう。

偉大な愛をお持ちのイエス様はこの巡礼旅行を前進させて下さいました。主は旅行代理店の責任者に「燃える火によるバプテスマ」の本を読むように語られました。婦人執事は旅行代理店の責任者に旅行の手配の準備をするように求めました。彼女は彼にこの旅行を最優先にして、VIP待遇をするよう頼みました。旅行は炎の本に出てくるメンバーたちと共に行くことになりました。しかし、この旅行が特別なのは三位一体の神ご自身が教会員と共に行かれるということです。

2007年6月の最後の週に私たちは教会の内装工事を完了しました。2007年7月9日に主の教会のメンバーたちは送別礼拝を開いて、帰宅後荷物を詰めました。私たちはバスに乗って空港に行きました。主もまた4つの鞆を持っておられ、天使たちに付き添われていました。「**主の教会の聖徒たちよ、わたしは巡礼旅行に同行します。どう思いますか？みんな幸**

せでわくわくしていますか？」私たちはみんな大喜びで答えました。「アーメン！」

午後8時に私たちは大韓航空のKE951便に搭乗しました。私たちは飛行機に乗って約束の地へ向かって飛んでいました。私たちはこの瞬間を切望し、夢見てきました。これはずっと抱いてきた夢であり、どう考えても不可能だったのに今や現実となったのです。

私の妻、ジョセフ、ジューン、ハークスン、そして他のメンバーたちの何人かと私は人生で初めて飛行機に乗りました。興奮と感激であふれていました。私たちはみんなそろってずっと「ハレルヤ！主よ感謝します！」と叫んでいました。妻と私は互いを見て繰り返しました。「一体どうして主は私たちをこんなにも愛して下さるのでしょうか？」私たちは喜びにあふれて泣いていました。涙が顔を流れ落ちました。私たちは既に私たちに加わっておられた主に気づいていませんでした。彼は私たちの膝の上に座っておられました。「**そうです、わたしの愛するキム牧師と聖ヒュンジャ！あなたたちはわたしがあなたたち2人をとても愛していることを知っていますね。多くの困難と苦しみに耐えてくれたことをあなたたちに感謝したいのはわたしの方なのです。これから先も耐えしのび働きなさい。あなたたちの前にはまだたくさんの困難が待ち受けているでしょう。将来困難に直面する時、わたしはあなたたちが耐え抜くことを期待しています。愛しているよ。**」主はそう言いながら私たちの頭をを優しくなでて抱きしめて下さいました。彼はそれから顔を私たちの顔にすりつけられました。

飛行機に乗っている間、私は「ああ、私は巡礼旅行の間は、主は私を地獄には連れて行かれないだろうな」と思いました。私はわくわくし、喜びにあふれていました。「旅行の間彼は私を連れていかれないに違いない。うーん、そうかな？」私は教会のみんなは私の考えていたことを察していたと思います。彼らはみんな「キム牧師、あなたはとても幸せに違いありませんね。主はこの旅行の間は絶対あなたを地獄に連れて行かれないでしょう。」と言って私を慰めました。

旅行は主によって認められ、整えられました。私たちは信仰の道を突き進みました。私たちは休暇でパック旅行中でした。偶然にもそれは出エジプトパックツアーと言い、10泊11日でした。巡礼旅行で私たちはイスラエル、ヨルダン、エジプトを回りました。私たちはイエス様がお生まれになった地を旅する予定でした。私たちはまた初代クリスチャンたちがいたガリラヤや、新旧約の預言者たちや弟子たちが働きを行った場所などにも行く予定でした。しかし私たちはそこに着いてがっかりしました。その光景は私たちの想像と異なっていました。それを見て私が思い出す場所は仏教の寺院でした。そこは悪霊と盗人の巣窟と化していました。悪魔が荒々しく狂ったように走り回っていました。実際、悪魔が自分の家で楽しんでいるかのようでした。

さらに、私たちが行ったところにはどこにでも数え切れないほどのろうそくがありました。それは私に仏教と寺とろうそくを思い起こさせました。そこは燃えている香料で満ちていて、また商人や売り子であふれ返っていました。私には悪を追い出すために聖なるむちが必要でした。

私たちはそこに着いたら攻撃を受けました。悪霊は集団で私たちに襲いかかってきました。しかし、1つ1つの場所で私たちは力強く祈り叫んで悪霊たちと戦いました。私たちは負けるつもりはありませんでした。一方で、私たちはなじみのない場所を訪れたことで本当にリフレッシュしていました。異国の地に立っているということはとてもわくわくすることでした。私たちは主の恵みによってこれらすべてを経験することができました。私たちの一団はイスラエル、ヨルダン、エジプトの3カ国を訪れました。私たちが異国の地に着くや否や、私たちは自然により愛国的になりました。私たちの心も考えも自分の国に向いていました。私はかつて誰かが自分の国を離れると自分の祖国に対する愛国心を感じるのは自然なことだと言っていたのを聞いたことがあります。それは正しいようで、私たちは精神的に次第に1つになっていきました。

私と妻が結婚して22年になります。しかし私たちは国外も国内も一緒に旅行をしたことがありませんでした。実際、私たちは新婚旅行にも行かなかったのです。イスラエルでの滞在で5つ星ホテルに泊まっている間に、私たちはこっそり手をつないで散歩しました。私たちは他の教会員が見ていないときに手をつなぎました。私たちが互いのために時間をとるようになってからかなりの時がたっていました。手をつなぐと、とても緊張してしまいました。私たちは教会員が見ているのではないかと心配になりました。私たちの心臓は非常に早く打っていました。私たちは互いを見て大笑いしました。私たちの子供、ジョセフ(高校3年生)とジューユン(高校2年生)は私たちがそっとしておいてほしいこと、また私たちの場所を与えてほしいことを察してくれました。「お父さん！お母さん！2人はたくさんの困難を経験してきたよね。2人で一緒に過ごさせてあげるよ。ほら、手をつないで。愛してるよ！」

苦痛と訓練、そして試みの日々は今や薄れて消えてしまいました。その時の記憶と状況は絶え間ない悲しみと試みでした。それが今やパッとめくられた本のページのようにすべて消え去ってしまったのです。ハレルヤ！主よ、感謝します！

聖徒たちよ。主をほめ歌え。その聖なる御名に感謝せよ。まことに、御怒りはつかの間、いのちは恩寵のうちにある。夕暮れには涙が宿っても、朝明けには喜びの叫びがある。(詩篇30:4-5)

あなたは私のために、嘆きを踊りに変えてくださいました。あなたは私の荒布を解き、喜びを私に着せてくださいました。私のたましいがあなたをほめ歌い、黙っていることがないために。私の神、主よ。私はとこしえまでも、あなたに感謝します。(詩篇30:11-12)

巡礼旅行に出発する前、旅行代理店のスタッフの1人が主の教会を訪れアドバイスをしてくれました。私たちが再検討したことのうち、1つ心に刻まなければならないとても重要なことがありました。旅行代理店の方は中東の人々、また西洋、ヨーロッパの人々は乾燥したものであっても焼いたものでイカの香りを嫌うと言い、イカを持っていかないようにアドバイスをしてくれました。その人は出かける前にできるだけたくさん食べていくようにと言いました。

それにもかかわらず、人々は言われたことに逆らおうとしました。彼らが子供か大人かは問題ではありません。巡礼旅行に参加した私たちの教会員は問題を引き起こしました。彼らはこっそり乾燥イカを持っていったのです。イスラエル、ヨルダン、エジプトへの観光バスに乗ると、彼らはイカを取りだして食べました。イカの匂いがバス中に充満しました。その間、バスの窓はしっかり閉じてありました。全教会員はこっそり様々な種類の乾燥イカを持ってきていました。旅行代理店のアドバイスに従ったのは私たち夫婦だけでした。

中東のイスラム教徒の中には聖書の記述を知っている人もいます。彼らはうろこのない魚を汚れていると考えます。彼らにはおいのために特にイカをひどく嫌います。中東人のバス運転手はそのにおいをかぎました。

バスの運転手はイカの匂いのせいで嫌そうな顔をしていました。私は彼の顔を見ると、歪んだ表情をしていることに気づきました。バスの運転手はイカの匂いを臭い足の匂いのように思っているかのように見えました。彼は鼻をつまみずっと頭を振っていました。「ああ、もう！」彼は自分の横の窓を開けて空気をバスの外に出そうとしていました。

私は教会員たちを見てイカを捨てるように言いました。しかし彼らはこう答えました。「どうしてですか？先生だってイカがどんなにおいしいか知っているでしょう。どうして捨てるなんておっしゃるのですか？牧師先生、一緒に食べましょうよ。」ああ、韓国人とはどこに行ってもなんと強情なことか。私は彼らに捨てると言ったにもかかわらず、実は私もこっそり自分

の分を持っていたのです。バスの後ろにはシンプルな服の警官が座っていました。この警官は私たちのツアーに同行していました。彼は私たちの警備員でした。

私たちの巡礼旅行は特に問題も不便もありませんでした。婦人執事と旅行代理店の助けのおかげで、何もかもが用心深く準備されました。私たちは本当に新しく異なった場所や出来事を経験しました。特に現地人の体臭やわきの匂いについては面白いエピソードがたくさんあります。彼らが私たちの食べるニンニクやイカの匂いが気に食わないのと同様に彼らの体臭が嫌でした。彼らのわきの匂いといったら、もうどうしようもありませんでした。それは我慢できないほどの臭さでした。

巡礼旅行の間、宿泊施設は5つ星ホテルでした。それはその地域で最良のホテルでした。食事素晴らしかったです。私たちは常に高級ビュッフェをいただきました。そのビュッフェは美しく、とてもおいしそうに見えました。私たちの口は文字通り濡れていました。しかし並んでいる食べ物は知らないものばかりでした。私は全く食べることができませんでした。果物さえ何も食べられなかったのです。私が食べることができなかった理由は、すべての食べ物からある匂いがしたからです。果物を含めてすべての食べ物がその匂いを放っていました。私は鼻をつまんで食べようとしたのですが、やっぱりいつも食べることができませんでした。

しかしちょうど教会員の何人かが韓国から缶詰を持ってきていました。私はそれで彼らの持ってきた物を食べました。私はとてもお腹がすいていました。韓国料理は最高においしく感じました。後になって彼らの体の独特な匂いはスパイスだということがわかりました。このスパイスは料理にも使われています。彼らはスパイスをご飯にふりかけます。それは韓国人が料理を作る時に塩とコチュジャンを使うのとほぼ同じです。スパイスに気づいていなかったのは私たちのグループだけのようでした。これらのスパイスは中東文化と密接な関係があるようです。この巡礼旅行は私たちにとって他国の伝統的な食文化を体験するよい機会でした。私たちは食文化を克服するのはそう容易くないということを知りました。

教会員のうちの数名とジョセフはすぐに食事に順応しました。彼らはとてもよく食べていました。「牧師先生、もう一回食べてみてください。おいしいですよ。」今、私は韓国の宣教チームが何を経験しなければならないのかを考え直しています。彼らは韓国を出て見知らぬ異国の地へ行き、福音を述べ伝えていきます。彼らは食事を含めて様々な文化的問題を乗り越えてきました。私は彼らがどんなに自分を犠牲にしてきた素晴らしい人たちなのかと感じずにはいられませんでした。

私はかつてアメリカに住んでいるクオン・パルク兄弟、シン・ジェラン姉妹からある話を聞いたことがあります。そのことは彼らがたまたま大学生だった時に大学のキャンパスで起こりました。韓国人学生は地元のアメリカ人学生にいじめられていました。韓国人学生は少し力が弱かったのです。韓国人学生は我慢の限界を迎え、アメリカ人学生に仕返しをするために乾燥イカを持って行きました。彼らはいじめっ子たちの真ん前で乾燥イカを食べました。するといじめっ子たちはイカの匂いから逃げて行ったのです。とにかく、旅行代理店がイカを持っていくと警告したにも関わらず、教会員たちは最後の日までイカを食べ続けました。旅行中乾燥イカを食べていたせいで起こったことの話はたくさんあります。それらは私たちが長い間何度も繰り返す言うであろう話です。

旅行中、私たちは出エジプトの道をたどりました。しかし、私たちは常にそれぞれの地域の君と10日間にわたって常に戦いがありました。すべての出来事や経験の中で、私の記憶に永遠に残るであろうことが1つあります。ツアーガイドを含めて、私たちはみんな聖霊の力強い臨在と強力な油注ぎの下にありました。私たちはみんな古代エルサレム、ガリラヤ、またイエス様と弟子たちがかつておられて働きをなさった他の地域で叫び祈りました。聖霊のエネルギー、熱い火、そし

て油注ぎがツアーガイドを含めて私たちにバプテスマされました。私たちは聖なる燃える火のバプテスマを与られました。いろいろな所と一緒にいったツアーガイドは地面にあおむけに倒れてしまいました。三位一体の神は毎日私たちと共におられ、すべての細かいことまで気にかけてくださいました。ツアーガイドはこんなに強い聖霊の臨在を経験したのはこれが初めてだと証しました。彼は自分のキャリアを通してたくさんの巡礼旅行を導いてきたのです。

また機会があったら、私は出エジプト巡礼旅行の間に示された霊的な現象を詳細に著そうと考えています。2007年の主と共におられた10日間の巡礼旅行は終わろうとしていました。しかし、たくさんの出来事と試みが私を待ち受けていました。

巡礼旅行の最後に、私たちはエジプトの最高級ホテルで最後の夜を過ごしました。そのホテルは「カイロ国際コンチネンタルホテル」と言います。この夜が明けたら私たちは早朝に韓国に発ちます。私は「巡礼旅行が終わって、おそらく主はまた私を地獄に連れていくだろう」と思いました。私はとても緊張していました。突然、主が現れて私に話しかけられました。

「わが愛するキム牧師！」私は「はい、主よ！」と答えました。主はお尋ねになりました。「**旅行はどうだったかな？素晴らしかったらう？ところで、わたしたちは計画より遅れてしまっています。旅行は終わったから地獄に戻ろう。準備しなさい！」**

私は叫びました。「主よ、何とおっしゃいました？もう少し時間をください！ああ、主よ待って下さい！」

私は時が来ていることを知っていましたが、そのことを認めていませんでした。主はその時私が彼と議論もできないうちに直ちに私を地獄に連れて行かれました。私はホテルのロビーを歩いて部屋の前まで来て倒れました。妻は苦勞して私を支え、部屋に入れました。妻が私をベッドに横にならせてくれた直後に私は金切り声をあげました。私はベッドから落ちて床を転げまわりました。地獄の苦痛が私の体全体で悲鳴を上げていました。翌朝、私はひどい痛みの中で荷物を詰めました。妻と若者たちの助けで、私は飛行機に乗ることができました。彼らは私が座席に座るのを助けてくれました。

私は「ここでは絶対にないだろう。飛行機の中は人があまりにも多いし、フライトは15時間だから。主はここでは私を地獄には連れて行くまい。満員なんだから。」と思いました。その時主は言われました。「**キム牧師、予定が遅れてしまっています。すぐに地獄に行こう！**」彼は私の手を引っ張ったので私は不機嫌に返事をしました。「何ですって！主よ？ここでですか？飛行機は満員で、狭いスペースも限られています。どうやってですか？この状況でどうやって地獄に行けるというのですか？主よ、多すぎると思いませんか？」イエス様は答えられました。「**いいや、大丈夫です。わたしは既にあなたを地獄に連れていく準備ができています。あなたにいくつか余分の席を用意しています。キム牧師、狭い座席については心配しないでいい。もしわたしを信じられないなら、妻に頼んで空いている席がないか聞いてもらいなさい。**」その瞬間、私は飛行機の通路に倒れました。私は飛行機にたくさんの人が乗っていたのでうめきを抑えようと努力しました。私は痛みの中で静かにしていようと試みました。

韓国に帰る韓国人がたくさんいました。チケットは完売でした。妻は戻ってくると席に座って言いました。「牧師先生、ほんとうに不思議なことよ！全部の座席が売り切れたのに、主はどうかして一番後ろの列の4つの席を空けておかれたの。あなたはそこに横になれるわ、ハレルヤ！」私は妻を見て驚きました。私は「何だって！ハレルヤだって？もちろん、地獄に行くのは彼女じゃない。私なんだ！いったいどうやって主は飛行機で私を地獄に連れて行かれるんだ？」と思いました。

しかし私はそれでも主の素晴らしい配慮に感謝しました。

突然、私の祈りは感謝に変わりました。「主よ、こんなに気にかけていただけるなんて私は一体何者なのでしょう？私はただの罪人にすぎません！主よ、私は罪人であるだけでなく何でしょう？」私は繰り返し地獄に連れ戻されていましたが、私は主の助けに感謝していました。私は絶え間なく涙を流して泣きました。私たちは主の特別な配慮の中で無事に韓国に帰ってきました。

ハレルヤ！主よ感謝します！

* 巡礼旅行中の霊的戦い

そういうわけで、あなたがたは大いに喜んでいます。いまは、しばらくの間、さまざまの試練の中で、悲しまなければならないのですが、信仰の試練は、火を通して精練されてもお朽ちて行く金よりも尊いのであって、イエス・キリストの現われのときに称賛と光栄と栄誉に至るものであることがわかります。ですから、あなたがたは、心を引き締め、身を慎み、イエス・キリストの現われのときあなたがたにもたらされる恵みを、ひたすら待ち望みなさい。(I ペテロ1:6-7,13)

旅行の準備をしていた時、悪霊たちは様々な方法で干渉してきました。その悪霊たちは数人の教会員、特に巡礼旅行に参加する人たちの夢を通して働きました。サタンは旅行に参加するメンバーに間違っただボイスをするよう人を用いることもできました。実際、信仰の弱いメンバーの中には準備を進めていたのにも関わらず参加をあきらめてしまった人々もいました。悪いアドバイスをした人々は霊の目が開かれたと主張する人々であり、また熱烈な祈りの勇士であると言う人々でした。彼らは飛行機の墜落やテロリストの話をして弱い信仰者に恐れを抱かせました。信仰の弱い人々は自分の身の安全を心配して旅行をキャンセルしたのです。

私たちが出発するその日まで、参加する人と参加しない人の間には絶えず争いがありました。インテリアデザインを任せられた執事にも不思議な事件が起きました。彼はほとんど死にかけたのです。その執事の舌は後ろに巻いてしまい、彼は窒息してしまいました。私は出発するまで全ての争いや事件にはらはらし、冷や汗をかいていました。さらに、出発する前夜、私は地獄の底に連れて行かれ、私の魂は残酷にも引き裂かれました。私は肉の体にも鮮明に痛みを感じることができました。

もしある人が特別な信仰を持っているなら、その人は特別な試練に耐えなければならないでしょう。並はずれた信仰生活をしている人は、特別な試みを通さなければならないでしょう。神は高潔な人物、ヨブに対して計り知れない愛情を抱いておられました。そのため、神はサタンの提案をお受入れになったのです。神はヨブの思考、性格、特に神への信仰の自由意思をテストすることを願われました。ヨブの物語はまた私たちに神はヨブの忍耐がどこまで続くかを知っておられたことを明らかにしてくれます。

ヨブの経験と同じような出来事を示す物語は聖書の中にたくさんあります。それは聖書全体にわたっています。私自身の見方では、私たちの教会は聖書中にあるこれら多くの物語を反映して前進しているようです。私たちは直接的、あるいは間接的にこのことを理解しています。教会員も私もいつも神にユニークな方法で用いていただきたいと願っています。

主の教会はしばしば様々な試みを通されます。私たちが個人のリバイバル礼拝をしているか集団のリバイバル礼拝をしているかは問題ではありません。様々なところで大きな試練に直面しました。それゆえに、私はメンバーたちをしっかりと祈

りで武装させなければなりません。しっかり武装した祈りにもかかわらず、メンバーのうちの幾人かは打ち負かされ、幾人かは試みに勝利しました。巡礼旅行も例外ではありません。天にはタクシーやバス、電車、バイク、ヘリコプター、戦車、潜水艦のように武器を積んだ船があります。この旅行で、主は天国の乗り物を持って個人的に付き添って下さり、私たちを守って下さいました。

霊の目が開かれた人々は頻繁に超自然的な出来事を目撃して私に伝えてくれました。

同時に、悪の力もまた私たちに立ちほだかるために仲間を招集しました。それらは私たちについて来て攻撃し続けました。しかしイエス様がいつも共にいて下さったので、悪霊たちは私たちに近づくことができませんでした。

しかし主は時々悪霊が私たちを攻撃するのをお許しになりました。それが起こるといつでも、メンバーの中には地面に倒れてとても具合が悪くなってしまう人々がいました。彼らはひどい吐き気と体の痛みに遭いました。それは私たち全員が突然気づきました。私たちは新しい国際的な次元の霊的戦いに遭遇していたのです。

飛行機に乗っている間、非常に多くの天使たちが飛行機の傍を飛んでいました。彼らはV字に隊列を組んで飛んでいました。悪魔の力もまたあらゆる方向から飛行機の近くに集まってきました。悪霊たちはハチのように繰り返し集まったり散らばったりしていました。悪霊は海辺の砂のように数え切れないほどいました。それらは高い山のように積み重なっていました。飛行機は何も知らずにその間を飛んでいたのです。異国での霊的戦いはより深刻というわけでもないわかりました。

旅行中、私たちの教会員は好奇心旺盛でわくわくしながら日中は観光旅行に行きました。しかし、私はリーダーとして霊的戦いを導かなければなりません。夜になるといつでも私は緊張しました。それにもかかわらず、悪魔の手下たちは昼でも夜でも私を攻撃しようとしました。私はレストランでもホテルでも、プールでもバスの中でも攻撃されました。

* エジプトを監視している支配者

私たちは7月9日に出発し、翌日にエジプトに着きました。私たちが着くや否や、国立博物館、ピラミッドとスフィンクスを見る観光ツアーが用意されていました。最初の夜はシナイ山のふもとにあるホテルで泊まりました。ジョセフと数人のメンバーは既に悪しき力によって攻撃を受けました。ジョセフは言葉によってののしられたと言いました。それらは「おい、5^@#%(聞き取れない言葉)！なんでこいつらはここに来んだ？」と言いました。その攻撃は私たちが国立博物館、ピラミッド、スフィンクスの3つの観光地を見物している間に起こりました。ジョセフは準備ができていなかったもので、頭を殴られてしまいました。彼は頭が砕けたかのように感じたと言っていました。彼は耐えられない痛みの中にありました。イエス様はその時すぐに現れて彼の血をジョセフの頭に適用しました。ジョセフは次第に良くなって癒されました。

朝早くに山登りをする予定だったため、私は午後10時半に床に着きました。しかし、眠ることができませんでした。私は寝返りを打ち続けていました。私は眠れなかったので出エジプトの出来事の主な特徴について思いめぐらしていました。その時私は突然エジプトの支配者とシナイ山から来た悪霊によって攻撃されました。エジプトの悪霊は韓国から私たちに着いてきた悪霊たちに援助されていました。私は悪霊の声と「へへははうふうふ」という異様な笑いにとっても驚きました。私の隣で寝ていた妻は既にぐっすり眠っていきびきをかいていました。彼女は旅行でとても疲れていたのです。

私は主が見当たらなかったのが奇妙で嫌な感じがしました。私はこの危機的な状況下で彼の臨在すら感じるできませんでした。主から与えられていた武器は取り去られていました。いつもなら、他の信徒が悪魔の攻撃を受けた時には主はより多くの武器を与えて助けて下さいます。今この時、なぜ神は何の助けもなく私がまた打ち負かされるのを許しておられるのだろうかと思いました。私は時々このことに悲しくなります。私はこのような霊的状况に置かれて緊急な助けを必要としているから悲しいのです。しかし私に何ができると言うのでしょうか？これは主のご意思なのです。

「俺はエジプトを支配している神だ！お前と対決で来てうれしいぞ！お前は痛みを味わうだろう！@#\$#@#% (聞き取れない言葉)！」その悪魔の君主はその時突然私の両ふくらはぎに攻撃しました。私のふくらはぎは両方麻痺してしまいました。私は全く防御する余裕がありませんでした。私は即座に床に落ち、叫びながら転げ回りました。私はもはやどの悪魔や悪霊が私を攻撃しているのか確かめることもできませんでした。その痛みは耐えがたいものでした。

私は叫びました。「どいつが私を攻撃しているんだ？」私は目の前に山のような大きさの巨大な悪霊を見ました。その悪霊はだらしない身なりでみすぼらしいジプシーのようでした。髪は長くてぐしゃぐしゃでした。そのジプシーの悪霊は叫びながら狂ったように走っていました。

「お前はなぜここに来た？@#\$#@ (聞き取れない言葉)！お前は自分を誰だと思っているのだ？お前は俺たちをこんな風に苦しめるために来たのか？」それらは一斉に攻撃してきました。悪霊は私のふくらはぎに毒を入れ、その毒は次第に全身に回ってきました。悪魔は私が苦しんでいるのを見ると喜びました。「はははは！こいつは何者でもなくなった！相手にもならんわ！へへへへ。」痛めつけられていると、妻はどうか私の戦いに気づいて目を覚ましました。

「ああ、あなた？」私は答えました。「ああ、急いで私の足をマッサージしてくれ！悪霊にやられてしまったんだ。毒はだんだん上半身にも回って来ている。異言で祈ってそれを聖なる火で早く止めてくれ！」床に横たわった状態で私は「聖なる火」と叫びました。妻はその時巨大な聖なる火で悪しき力と戦いました。

「ああ、熱い！」エジプトの悪霊の集団は聖なる火を受けた痛みのために大声で叫びました。その悪霊たちは塵になってすぐ消えてしまいました。

悪霊たちは一瞬も休む時を与えてくれません。私が寝ているか起きているかは関係ありません。悪霊は昼も夜も攻撃を仕掛けてきます。だから、私は防御を解くことはできないのです。悪霊の集団はエジプトを発つまで容赦なく私たちを攻撃してきました。

* イスラエルを支配する神

2007年7月14日、私たちはガリラヤこのほとりにあるホテルにチェックインしました。私がまさに眠りに着こうとしていた時、非常に小さな蛇が私に近づいてきました。それが私に近づいてきた時、小さな蛇は巨大な黄金の蛇に変身しました。蛇は山のように巨大でした。その蛇は近づいてきながらシューっと音を鳴らして命を奪うほどの牙を見せました。

「おい小僧、よくも俺の国に来やがったな？」

私たちがイスラエルの地に着いてからもう2日たっていました。私は悪霊が面と向かってこなかったのが内心緊張していました。ついに、それらは本当の姿を露わにしました。主が緊急に現れて私に語られました。

「キム牧師、この蛇の悪霊は古代のもので、それは非常に古い悪霊で、太古の昔から存在しています。わたしの民を荒野でそそのかしたのと同じ悪霊なのです。個の悪霊は現在でもなお下級の欲望の霊と共にイスラエルの至る所で働いています。」

主が語り終わられるのと同時に、他の巨大な黄金の蛇が攻撃してきました。それは私の周りにとぐろを巻くことができました。それは竜のように見えました。私は叫んでベッドから床に落ちてしまいました。私は蛇の周りを転げまわりながら戦いました。私は「聖なる剣！ 聖なる剣！」と叫びました。しかし主は私に剣を与えて下さいませんでした。主は蛇と素手で戦うようにされたのです。「ああ、つかみにくい！」蛇は私を尾でぐるぐる巻きにしました。私はひどく不快なおいをかぎました。蛇の体は気持ち悪い油で覆われていました。私はそれを握ることができませんでした。私が蛇の体を握ろうとしても、すっぽぬけてしまうのです。その蛇は非常につかみにくいものでした。私は嘔吐を始めました。「主よ、私に力を下さい！」

主は近くで見ておられて、ついに私に何か珍しいものを与えて下さいました。私は左手にはめる特別な手袋を与えられました。その手袋はすべらない耐性のある素材で覆われていました。私の手はもはやすべりません。実際、その手袋は私が蛇の体をつかまえるのを助けてくれました。それは強力糊のような粘着性の手袋でした。左手に手袋をはめて、私は左手を使って怪物のような蛇の頭に向かってよじ登りました。黄金の蛇は全ての力を使って私にかみつこうとしました。蛇は私を体から振り落とそうとしました。その蛇は他の欲望の蛇を呼ぶために奇妙な信号を発しました。

私が戦っていた蛇は砂漠の砂と深い泥を混ぜたような黄色をしていました。その時白い蛇の群れが私に向かってくるのが見えました。それらは遠くから様々な形で現れました。数え切れないほどの蛇が現れて地球と周りの大気を満たしました。しかし私は戦っている一匹に集中しました。私はもしこの一匹を倒せば他の下級の蛇たちは同じようになるだろうと考えました。

とうとう、主は私に蛇の頭に到達する力を与えて下さいました。私は蛇の首のあたりに着きました。私は馬に乗るように蛇の首に座って身を守りました。私は蛇の上下の顎をつかみました。私は「主よ、私に力を下さい！」と叫びました。私は力の限り叫びながら蛇の口を引き裂きました。その瞬間、蛇はうめくような苦痛の叫びをあげて消えました。私の全身は汗でびしょぬれになっていました。わたしはとうとう疲れ果てて床に倒れてしまいました。

私が疲れてうめきながら、なんとか話すことができました。「ああ、主よ、主よ。」妻は私に近づいてきて言いました。「あらあなた、今ここでひどい戦いをしたの？ 大変だった？」彼女は冷たい水を手渡して私の体をマッサージし始めました。主は静かに立っておられましたが、満足そうな表情をしておられました。

私は主が巡礼旅行の間私を地獄に連れて行かれなかったことにもう 1 度心から感謝します。もしその旅行のためでなかったら、私は毎晩地獄を訪問していたことでしょう。一方で、私はそれでも主が心を変えられるのではないかと思って非常に緊張していました。誰も知りません。彼はまだ私を地獄に連れて行かれるでしょう。

* ヨルダンを支配する神

2007年7月15日、その日は日曜日で、礼拝の後私たちは移動しました。私たちはロトと家族が避難した場所であるツォアルに行きました。私たちはその時ロトと2人の娘が住んでいた洞穴に行きました。その後、私たちはアモン、モアブ、ギレアドなどの地にも行きました。最後に私たちは「ペトラ・ゴールデンチュールリップホテル」に着きました。美しい風景を見ると、私はいくつかの理由で早く寝たくはありませんでした。妻と私はホテルを出て散歩しました。私たちは二人の時間

を楽しみました。平和なひと時でした。私たちが打ち解けて心にあることを話す時間を持ってからかなりの時間が経っていました。私たちはどれくらいの時が与えられているかはわからないけれども、主と彼のミニストリーのために最善を尽くすことを確認しました。私たちは心にあることを分かち合いました。私たちは願い、望み、そして祈りについて話しました。私たちは主が事前に霊的戦いについての情報を与えて下さることを望んでいました。霊的戦いは大きな代価を伴います。それは瞬間的に、また次第に私たちを抑圧するのです。

私たちが2人の時間を楽しんでいる時でさえ、イエス様はいつも私たちの間に座っておられました。彼は私たちの会話を楽しんでおられ、様々な方法で愛を表現されました。夜遅くなってしまったので私たちはホテルの部屋へ戻りました。私はその時また霊的な緊張が高まるのを感じました。私たちはベッドの上で寝ていました。私たちはツインの部屋に泊まっていた。私たちにはそれぞれのベッドがありました。私たちは祈って眠ることにしました。ついに、ヨルダン地域に割り当てられた悪霊たちがやってきました。もし自分の敵を知っているなら、もっと容易に戦いに勝つことができるでしょう。少し時間が経ちましたが悪しき力は完全に自分たちの正体を現わしませんでした。私は主に尋ねました。「主よ、主よ、私に悪霊たちを見せて下さい。」しかし私は主の臨在を感じることはできませんでした。

私は主がいつもおられることを知っていますが、時にほとんど臨在を認識できない時があります。そしてそれは主の自由なのです。主は既に全てのことを知っておられます。彼は正確に全ての霊的戦いを判断しておられます。さらに、彼は常に私をじっと見つめておられます。私にはこのことに関して選択の余地はありません。私は悪霊たちと戦わねばならないのです。神は私に霊的戦いに入り、通過することを望んでおられます。神が私をそのような状況に導かれたのです。主は聖徒たちのドラマティックな成果を楽しんでおられるようです。だから、主は私たちに落胆することのない忍耐強い信仰の自然な特性を備えるよう期待しておられます。(詩篇 24:10,16)

時間が経つと、私はだんだん悪霊たちの姿が見えるようになってきました。それらすべては深い黒黄色のぼろぼろな麻の服を着ているように見えました。その数はとても多くて数えることができませんでした。想像を絶するほどの数の悪霊が全て異なる形や色をして現れました。それは全世界の物乞いがこの一か所に集結しているかのようでした。それらすべては異なった種類のよくある武器を持っていました。

主は言われました。「これらの悪霊は人々を怠情で無気力にし、さらに貧しくする力を持っています。その悪霊たちが人を捕まえると抜け出すことは困難です。」多数の悪霊の中に親玉が立っていて、それは黒いマントをかぶっていました。その悪霊は私に銚(もり)を投げつけてきました。その銚はとても長く、恐ろしいものでした。その銚は捕鯨に使われるものです。それは瞬間的に起こったので私は移動して銚を避ける余裕がありませんでした。それは私の心臓の近くに刺さりました。私は打たれるや否や地に倒れて叫びながら転げ回りました。私の胸に刺さった銚と悪魔のべとべとする毒の液体が体中に広がり始めました。悪魔の毒が広がるにつれて、私は次第に意識を失っていきました。私はめまいがし始め、意識が不明確になりました。

私は消え入りそうな声で呻きました。ほとんど聞き取れないような声でした。「主よ、ああ、主よ。どうか私を助けて下さい。妻よ、なんとかしてくれ。急いで私を助けてくれ。」しかし妻はぐっすり眠っていました。彼女は旅で疲れており、何が起きているか知ってもいなかったのです。私の体は毒で麻痺していました。毒は体中に広がり、私は力を失って指を動かすことすらできませんでした。

悪霊の親玉は叫びました。「おおやった！よくやった！ついにキム牧師をやっつけて倒したぞ！攻撃しろ、総攻撃だ！」その後副司令官が鋭いナイフで私のお腹を切り裂いて開きました。私のお腹は切り裂かれて開いてしまいました。私は痛みで叫びました。「うわあ！うわあ！主よ、助けて下さい！」私がどんなに大声で叫んでも主は私を助けに来ては下さい

ませんでした。私は主の臨在さえ感じるできませんでした。さらに悪霊の集団が現れて一斉に私を攻撃してきました。私は力の限りを尽くして痛みで「ううう」と呻きました。

私が何か声を出そうとすると、悪霊たちは私の口を覆いました。妻に起きてほしくなかったのです。悪しき力は私を引き裂きました。私は筋肉を動かすことができませんでした。涙、よだれ、そして汗が流れ出てベッドのマットレスを濡らしました。

長い時間が経って、妻が状況に気づいて目を覚ましました。彼女は私のベッドのところに来ました。「あなた、何が起きているの？あなたはまた攻撃されていたの？まあ、どうして私を攻撃しなかったのかしら？悪霊たちは旅行中なのにあなたを休ませてくれないのね。」彼女は私を気の毒に思い、私の体をさすりはじめました。彼女は静かに異言で祈りながら私の体をマッサージしてくれました。彼女は私に完全に意識を取り戻させようとしてくれました。私は彼女の心遣いに心から感謝しました。その戦いの後、主がついに現れて私を励まして下さいました。「**キム牧師、霊の世界の情け容赦ない現実を理解しましたか？**」主は霊的な現実を忘れてしまった愛する民たちを深く悲しんでおられます。彼らは今物理的な現実集中して生きているのです。

* 1組の虹

私たちが巡礼旅行に出かける前、主は私たちに旅行に参加するメンバーのうち半分以上が次第に主の教会から離れていこうと語られました。主は私たちに弱ったり落胆したりすることなく、むしろ変化に備えるようにと語られました。さらに、旅行に参加しないメンバーの中にも去っていく人がいるでしょう。私は主に尋ねました。「主よ、どうしてそんなことになるのですか？」主はお答えになりました。「**彼らがあなたとなす任務は終わりました。わたしはさらなる働き人をあなたに送ります。キム牧師、心配しなくていい！**」

私たちを経済的に支援し、巡礼旅行を準備して下さった婦人執事もこの状況について預言しました。霊の目が開かれた主の教会の他のメンバーたちも具体的に預言しました。私はとてもうろたえてしまいました。

私は悪しき力と多くの激しい戦いを経験してきました。私はまた多くの困難や障害を経験してきました。毎日が血なまぐさい霊的戦いでした。痛みを伴う試みがいつも私たちを待ち受けていました。悪魔は主の兵士として呼ばれた全てのメンバーを追い散らしました。

そして確かに、巡礼旅行に参加したメンバーの半分以上が去って行きました。去っていた人たちは皆どうして教会に出席できないかについてはぐらかすような言い訳をしました。しかし、主が変化を許されたと主ご自身がお語りになったのです。巡礼旅行の後、私は新しくリフレッシュした心で霊的戦いをしようとしたのですが、サタンは私を落胆させ、疲れ果てさせました。私の肉体は次第に弱り、大きな精神的プレッシャーを抱えていました。私は霊的スランプに落ち込んでいくかのようでした。

2007年8月12日の午前5時、日曜の早天礼拝が終わった後、私はオフィスのソファーに座っていました。私は妻とマリア執事が叫ぶのを聞きました。「牧師先生！窓の外を見て！わあ！1組の虹が出ているわ！」私はもっとよく見ようと思って屋根に登りました。私はつぶやきました。「これは何だ？ここ何日かは雨も降っていないのに。どうしてすっきり晴れた朝に虹が出るんだ？」その瞬間、私は主の御声を聞きました。「**愛するキム牧師、わたしはあなたが疲れていることも困難の中にあることも知っています。わたしはあなたを守り、我が僕ノアの2倍の祝福をあなたに与えましょう。その虹は私**

の約束としてあなたに見せたものです。だから落胆してはいけません。2つの虹をよく見なさい。これはわたしがあなたと共にいるという証拠です。」

2つの虹の最上部はベルがある私たちの教会のタワーに付いていました。虹は30分以上も見えていました。とても鮮やかな虹でした。こんなに近くで虹を見るという経験はとても驚くべきことです。私は虹を小さい子供がはるかかなたから見るようにしか見たことがありませんでした。マリア執事と妻と私は消えてしまうまで虹の前に立っていました。私たちはそれからオフィスに戻りました。

夜になると、ゴン・テモ牧師一家とその教会員の何人かが主の教会にやってきました。彼らはチョロナンドのゴソンの街から再び訪れてくれました。「ああ、先生、また遠くから来て下さったんですね。」ゴン牧師は説明しました。「私たちは主の頼みで来ました。主は私たちにキム牧師のところに行って、慰め、元気づけてあげなさいと命じられました。主は私たちにあなたは困難の中にあると語られたのです。」

たった一人の人を励ますために、主はゴン牧師と彼の連れの人たちを遠くのゴソンの街から遣わされたのです。私はただの罪人にすぎず、私は主がどんなに私に関心を持っておられるかを思うと敬虔な気持ちになります。私は罪を犯した罪人にすぎないのです。

** タラバガニパーティー*

感謝のいけにえを神にささげよ。あなたの誓いをいと高き方に果たせ。苦難の日にはわたしを呼び求めよ。わたしはあなたを助け出そう。あなたはわたしをあがめよう。」（詩篇50:14-15）

苦難から助け出された信者たちは主に栄光を帰さなければなりません。もし私たちがどんな状況にあっても主に栄光を帰すなら、主は私たちを助け祝福して下さいます。主の教会は多くの祈り願うことで神に求め、たたき続けてきました。神は全ての祈りに正確に応じて下さいました。これらの年月を振り返ると、私は主が私たちのためにどんなにドラマティックに働いて下さったかを見ることができます。

主は私たちの教会の引越しに責任を持って下さいました。私たちの教会は狭くとても制限されていました。今、主は私たちを広い教会に移して下さいました。さらに、巡礼旅行に行くことを可能にして下さったのも主です。私たちが長い間必死で祈ってきたことは主だけが知っておられます。今、主はまた私たちの家族をより広い家に移して下さいました。しかし私たちは自分たちの家についてはそんなに真剣に祈ってはいませんでした。その祈りは緊急の祈りと言うよりはほんのちょっとした祈りでした。しかし、主は力強く介入して下さい、最も些細なことに至るまで全てのことを成して下さいました。主は1つの祈りの課題すら見落とされませんでした。

ある日、キム・ジョンス執事がある祈りのリクエストをされました。彼は新しい教会のインテリアデザインを任された兄弟でした。「牧師先生、今月末(2007年11月)までに私は中古家屋を購入し、修理して引っ越さなければなりません。どうか私のために祈ってください。」私はすぐに答えました。「本当に？私も新しい教会の近くに引っ越す時だと思っていたんだ。どっちが先にいい場所を見つけて引っ越すか賭けをしようじゃないか！」もちろん私は単なる冗談でそう言ったのです。実際、その執事は既に競売で家を買っていました。彼は既にその不動産を直してリフォームしている途中でした。一方、私はまだ以前使っていた地下教会の近くにある462フィート四方(訳注:約13坪)の狭い貸家に住んでいました。

妻と私は新しい家のために祈ってきました。私たちの祈りはあまり賢明なものではありませんでした。「主よ、新しい教会の近くには新しくできたアパートがあります。そこはハンコックアパートと言います。どうか私たちを1708フィート四方(訳注:約48坪)のアパートに移して下さい。そこには4つの寝室があります！私たちはそこに住みたいです！愛する主よ！この祈りがちょっと肉欲的でばかばかしいのは知っていますが、それでもです。」

私の祈りは自分の欲と願いに傾いていますが、それでも個人的な理由のために広いアパートを求めています。私の家族は常に貸家に住んでいました。私たちの教会の初めから基礎を築いてきた年月の間ずっと私たちはずっと貧しい生活をしてきました。大きな広い家に住むことは私たちにとって単なる夢物語だったのです。しかし個人的な必要について祈ることは自由なので、私は自分たちが必要とするものについて祈り求めました。聖書には求めなさいと書いてあるので、それで、私は1708フィート四方(訳注:約48坪)の新しいアパート、特にハンコックアパートを求めました。

キム執事は静かに既に新しい家の改装に取りかかっているともしました。しかし私はキム執事に私たちの家族が彼よりも先に新しいところに引っ越すと保証しました。私は「もし私が最初に新しい家に引っ越したら全教会員のためにタラバガニパーティーを催そう」ともしました。もちろん、私は半分冗談で言ったのです。

驚くことに、全知全能の神は私の祈りに応えて下さいました。主は私の家族を2007年11月末までに2708フィート四方(訳注:約76坪)の間取りがあるハンコックアパートに移して下さいました。主は私たちを真冬になる前に移して下さいました。キム執事はまだ忙しく家の改装作業をしていました。私は非公式な賭けに勝ったのです。

主の教会のメンバーのほとんどは貧しい生活をしています。彼らはみんな貸家に住んでいます。主が私の家族を小さな貸家から大きな広いアパートに移して下さいた時、私は教会員たちに申し訳なく思い、また彼らに対して感謝の気持ちがあふれました。私は主に尋ねました。「主よ、居心地がよくありません。私の家族だけが新しい広い所に引っ越したのです。私はどうすればいいのですか？」主は答えられました。

「キム牧師、一体何を言っているのですか？今日まであなた方家族はわたしの訓練、痛み、試みの日々を耐え忍びました。だからわたしは今あなたを祝福しているのです。あなたは今までずっと耐え忍び、心の中で苦しんできました。あなたの笑いと笑顔の裏にはいつも涙がありました。わたしはそれをよく知っています！これから先、わたしはあなたとあなたの家族、そしてあなたの教会の信徒たちを大いに祝福します。わたしはあなたの涙をすっかりぬぐい取ってあげましょう！あなたの教会の信徒たちが祝福されるためには、まずあなたが最初に祝福されなければなりません。だから、そのことに対して申し訳なさや罪責感を抱かなくてもいいのです。」

イエス様はすでにハンコックアパートにある2708フィート四方(訳注:約76坪)のアパートを指定し、計画しておられたのです。私たちはデポジットとして90,000ドル(訳注:約675万円、9450万ウォン)を支払い、家賃は必要ありませんでした。内装はすでに整っていました。主はこの場所を私たちのために用意して下さいたのです。全教会員は大喜びして、一斉に「ハレルヤ！」と叫びました。彼らは私と共に喜んでくれました。彼らは経済的困難にあるのにも関わらず、彼らは私たちの家の器具を提供してくれました。初めのうち、私は彼らの助けを拒絶していましたが、彼らは与えたいのだと言って譲りませんでした。

神はまた電気屋を営んでいる新しいメンバーを送って下さいました。彼は執事で、名をナン・ヨンイルと言います。彼は主の教会に登録し、私たちの家族に入ってきました。神は彼を用いて私の広いアパートに必要な機器で満たして下さい

ました。神はそれでナン執事を祝福されました。

私たち家族は皆驚いて興奮してしまいました。神は私たちの必要を正確にすべて満たして下さいました。彼は私たち家族の必要だけでなく、教会と信徒たちの必要も満たして下さいました。神が私たちの人生になされたことに仰天してしまいました。私はすべての祝福がどのようにして起こり、しかもどうして次々と起こったのか知る由もありません。私たちはとても祝福され、感謝に満たされました。

私はいつも主の教会のメンバーたちの世話をしなければなりません。特に毎晩泣き明かしている信者たちのためにはそうしてきました。彼らは貧しい生活で日々泣き叫んでいました。私は彼らに最も素晴らしいおいしい食べ物を食べさせてあげたかったのです。神の恵みによって私は大きな広いアパートに移されたので、私は祝宴を開きたいと思いました。私は徹夜祈禱に参加した人たちを含む全教会員と一緒にタラバガニパーティーを開きたいと思いました。主の教会の人々は何が人のもので何が自分のものか区別しません。すべてを共有しているのです。

私が講壇で祈っていると、主は私にノーヤンジン魚卸売市場に行けというしるしを与えられました。私は数人の執事たちや若者たちと一緒に教会を出て、午前3時頃に市場に行きました。私たちは生のタラバガニを買うのにちょうど間に合いました。私は合計16ケース、160匹のカニを買いました。ものすごい量のカニでした。私は後になってその市場では普段そんなにたくさんの生タラバガニを扱っていないということを知りました。私は地方なまりで大声で叫びました。「愛するイエス様、あなたは主の教会の信徒たちの状況を知っておられます。私は彼らが貧しい生活をしていることを気の毒に思います。彼らには主よあなた以外に頼れる人はいません。私は彼らに食べさせてあげるためにたくさんのタラバガニを買いました。どうか彼らを祝福して下さい。私はあなたが今私と同じように喜んでおられると確信しています！」

主は大きな声で「**ははは！**」と笑われました。その間に、アメリカから1組の夫婦が私たちの教会を訪れました。私たちの教会にやってきた多くの人々の中にクォン・パルクユ兄弟、シン・ジェラン姉妹がいました。私たちは客人たちにも同じように食べさせてあげました。私たちは1人当たり3匹食べられるように見積りしました。残ったものは信徒たちに持ち帰らせました。

主の教会は心の共同体です。全てのメンバーは互いに調和しています。教会の皆がキリストにあって喜び、信仰生活をしています。彼らは好きなだけ祈り、また休むことができます。皆が自発的に教会に仕えます。主の教会の人々は喜びと兄弟愛で満ちています。誰も疎外された人はいません。全信徒が親しい関係を持ち、主の愛で互いに愛し合っています。現在、私たちはより大きなビジョンを持って祈っています。私たちの祈りの内容はばかばかしく見えるかもしれませんが、もし主が私たちの願いをお許しになり経済と状況を整えて下さるなら、私たちの夢は実現するでしょう。

もし主がインチョン国際空港の近くに1,779,500フィート四方(訳注:約5万坪)の土地を与えて下さったら、私たちはそこにアパートを建てることを計画しています。私たちはそのアパートを経済的困難にある人々の家として用いるつもりです。そのアパートの部屋は彼らに無償で提供します。私たちはまたもっと大きな教会と宣教センターのために祈っています。さらに大きい教会と宣教センターは海外からのたくさんの訪問者を接待することができます。海外からの訪問者たちは大きな祝福を受けるでしょう。私は韓国と世界を結ぶ取りなしの祈りのかけ橋になりたいと願っています。そしてもちろん、私たちの中心的な目的は魂の救いです。私はまた再び主の驚くような恵みを期待しています。ハレルヤ！

* モハベ (車の名前)

神は日夜叫んで祈り求める信者たちをととても喜ばれます。祈りの内容は実は問題ではありません。例えば、子供が両親に何かを繰り返し求める時、両親はだんだんいらいらしてきます。たとえそれが自分の子供であるとしても、両親はいららすのです。一方主はいつでも、私たちが探し、求め、主に叫ぶ時にだけ祈りに応えて下さいます。私たちが祈る時にどんな風に見えるかは問題ではありません。主は貧しい信徒たちを愛しておられます。祈りへの答えは主の約束と等しいので、次第に実現されていきます。だからもし私たちがどんな状況にあっても主に栄光を帰すならば、神は私たちを救い、祝福して下さいます。

まことに、神なる主は太陽です。盾です。主は恵みと栄光を授け、正しく歩く者たちに、良いものを拒まれません。万軍の主よ。なんと幸いなことでしょう。あなたに信頼するその人は。 (詩篇84:11-12)

2008年2月、主は私たちに新しいプレゼントをお与えになりました。主の教会は日々着々と成長しています。一般的に、最終的に私たちの教会にいるのは困難でますます悪くなっていく状況にある人々です。おそらく、大いに助けを必要とする羊を抱きしめることが私たちの教会に対する神の御心なのでしょう。彼らは自分たちの人生によって最も傷ついた羊たちです。私たちはかつて家族が使っていたミニバンを教会用にも使っていました。しかし今、数人の信徒を通してプレゼントを受け取りました。それは私たち家族が私的に使うための新車です。

ある日、私は執事の1人であるソン・ビュンスー兄弟と会話をしていました。その会話は次のようなものでした。「牧師先生、私は車のことでうんざりするような問題がたくさんあります。私はかなり長い間この車を使ってきました。私は新しい車のために祈り始めるつもりです。私は『モハベ』を祈り求めるつもりです。『モハベ』はキア(訳注:韓国の自動車メーカー)の発表されたばかりの新モデルで、SUV(スポーツ用多目的車)なんですよ。」私は答えました。「本当ですか?ソン執事、それはどんな車ですか?ガソリン代が上がっているんで、個人的には小さな車がほしいと思っていたのですが。う〜ん、ソン執事、あなたが祈り求めている車を主が私に与えて下さるよう祈り求めるべきでしょうかね?」

大人気なく、ソン執事と私はどっちが先に祈りの答えを受け取るか賭けをしました。牧師の祈りと平信徒の祈りのどちらに先に答えるのが主の御心でしょうか?それは全く意味のない、単なる楽しみのための賭けでした。私は自分たちの会話について全く真剣に考えてはいませんでした。私はそれを非常に軽く考えていました。しかし、ソン執事は私たちの賭けを真剣に考えていました。ソン執事と彼の妻であるキム・スーキュンは『モハベ』のために熱心に祈り始めました。

私は思いました。「ありや、この私が信徒と一緒にこんな子供っぽいことをしているなんて信じられないぞ。」しかし、ソン執事夫妻が真剣に祈り求めているのを見て、私はチャレンジを受けました。結果的に、私たち夫婦も同じように熱心に祈り始めました。

2週間が経ちましたが、主が私の祈りにそんなに迅速に応えて下さるとは夢にも思っていませんでした。キア・モハベはそんなに安い車ではありません。オプションを減らしても価格は大して変わりません。モハベの値段は一般的に6万ドル(訳注:450万円、6300万ウォン)以上です。もろもろの税金や他の費用を合わせると、結局7万ドル(訳注:約525万円、7350万ウォン)以上になります。私は個人的にディーラーに行って試乗もしてきました。この車が比較的高価であるのには理由があります。座席は柔らかくてとても快適であり、ハンドルはとてもスムーズです。エンジンにはグレードの高いガソリンを使わなければなりませんが、その代わりほとんど騒音がしません。私はすっかり心奪われてしまいました。私は今なら多くの人々が高級車を買いたいと願うのかわかります。

中流家庭は一般的にそんな高いSUVを買う余裕はありません。私は祈っているながらも、同時に疑っていました。「この車
は私たちの状況に見合ったものではないな。神様はそんな車を与えて下さるのだろうか？」しかし神は驚くことに私たち
のために働いて下さったのです。ある夜遅くに知らない執事から電話がかかってきました。「牧師先生、あなたの家で個
人的にお会いしたいのですが。」私は彼が何について話し合いたいのか気になりました。私は彼が遠くからわざわざ我が
家に来るのは何か深刻なことなのかと思いました。その夜、その執事と奥さんがやってきて車について話し始めました。
「ヒュンダイ(訳注:韓国の自動車メーカー)かキアのどちらかを選んでください。好きな方を選んで下さいね。牧師先生、
神があなたの家庭に車を提供するようにという思いを私に与えられたのです。牧師先生、最近発売されたソナタ、ソレ
ント、サンタフェ、ニューグレンジャーといった新モデルもありますよ。お見せするカタログを持ってくるつもりだったのですが、
忘れてしまいました。2日以内にまたカタログを持って伺います。」

私はとても主に感謝しました。しかし、私は何度も断って言いました。「執事さん、いいですか、そんなことをして下さる必
要はないのですよ。お心はありがたく頂戴しますから。」その執事と奥さんは私が降参するまで譲りませんでした。「いい
え牧師先生、これは私の使命であり、神への捧げものなのです。私はあなたが毎日地獄を訪問するのを目撃しました。
私はあなたが運転する時は快適であってほしいのです。」私は答えました。「あなたも経済的に困難な状況にあるのでし
ょう、マティスのような小さな車を選びますね。」しかし、彼らはそれでも譲りませんでした。

2日後、その執事夫妻はカタログを持って戻ってきました。私は妻の耳元で囁きました。「なあお前、私たちは神がキア・モ
ハベを与えて下さるように祈ってきただろう。」私たちは主がどのように働かれるかを見ました。突然その執事が言ったの
です。「牧師先生、とても不思議なことがあったのです。」私は「何があったのですか？」と尋ねました。彼らは丁寧に状況
を説明してくれました。

「私たちは日が傾くころに急いでヒュンダイのディーラーにカタログを取りに行きました。しかしカタログが1冊も残っていな
かったのです。それで私たちは他のディーラーにも行きましたが、そこにもカタログは1冊も残っていませんでした。」彼ら
はその後キアのディーラーに行きましたが、キア・モハベSUV以外のカタログは全部なくなっていました。彼らは他のキ
アのディーラーにも行きましたが、そこもキア・モハベ以外のカタログは全部なくなっていたのです。販売員はついにモハ
ベのカタログを手渡して言いました。「これは新型ですよ。つい最近ディーラーに届いたんです。とても素晴らしい車なん
ですよ。」執事夫妻は持ってこることができたのはモハベのパンフレットだけだと言いました。彼らはカタログを開いて不思議
で心配そうな顔をしました。「牧師先生、あなたはモハベを選ばなければならないようです。」

妻と私は主の細部まで気を配った御働きに非常に驚きました。主は完全に介入されました。私たちは開いた口がふさが
らなくなりました。私はその時私たちがどのように新車を、特にモハベを祈り求めてきたかを詳細に説明しました。その執
事夫妻はとても驚いて感謝しました。「牧師先生、カン・ヒュンジャ夫人、主はあなた方二人を特別に深く愛しておられる
に違いありません。主はあなた方を祝福するために私たちをお用いになったのです。」私は心から主に感謝を捧げます。
私は主のあわれみに対してどのように感謝を表したらいいのかわかりませんでした。私の目は涙であふれていました。
その瞬間、主の小さな御声が聞こえました。

**「愛するキム牧師と聖カン・ヒュンジャ、あなたたちはわたしの喜ぶ礼拝を日々導いています。わたしはとてうれしいの
です。父と聖霊もわたしと同じ思いです。わたしはあなたが必要とするもの、また願うものをすべて与えたいと思っていま
す。しかし、これは後に来るものとは比較になりません。わたしは次第にさらなる祝福を与えましょう。だから変わるこ
となくいつもわたしを喜ばせなさい。わかりましたか？」**

数日前、聖霊様が繰り返し私の頭と顔に触れられました。三位一体の神は妻と私よりも喜んでおられるようでした。私は繰り返し訪ねました。「執事さん、このモハベSUVは本当に私のものなのですね。そうですよね？」その執事は私が考えていることを知って返事をしました。私は最終的にはその車を売って小さい車を買うことを検討していました。「先生、なぜそんなことを聞くのですか？何があってもその車を売ってはいけませんよ。あなたがその車を売らないようにいくつか手を打ってありますからね。」私たちはみんなで大笑いしました。数日後、私はモハベを手にすることができました。そのSUVは近所で最も新しいモデルで、しかも最も高い車でした。

しかしその車を運転していると、私の心は重荷を感じました。主の教会の信徒たちはみんな貧しく困難な状況にあるのです。私は彼らの目に裕福で横柄な墮落した牧師に見えるのではないかと思います。私が思い悩み続けていると、主がついに語られました。「キム牧師、そんなに心配しなくてもいいのですよ。あなたには私が与えた祝福を楽しむ権利があります。教会員たちが祝福を受けるためには、牧師が祝福されなければなりません。しかし欲望のために祝福を誤って用いる人もたくさんいます。」

私たち家族はいつも困難で貧しい生活をしてきたので、このようなぜいたくは私たちには不釣り合いです。それに慣れるのはとても困難でした。私は親戚たち、教会員、また他の人たちがどのように思うかとても心配になりました。私たちが主の教会で祈る時、主は牧師家族の祈りに最初にお答えになります。これは教会員たちにとってチャレンジとなってきました。

「牧師先生が最初に祈りの答えを受け取りました！私たちの祈りも聞かれるように祈りましょう。」彼らはやる気を奮起されました。牧師の祈りが応えられると、執事夫妻も火がついたように熱烈に祈りました。教会員たちも私にごちそうしてくれと求めました。

あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまるなら、何でもあなたがたのほしいものを求めなさい。そうすれば、あなたがたのためにそれがかなえられます。（ヨハネ15:7）

* 主から与えられた預言的言葉

2007年10月17日午前1時半、私たちはある女性牧師を通してキム牧師に対する主からの言葉を受け取りました。この女性牧師はプチョン市の方でした。私たちはその言葉を公にするため、第5巻に記録しました。

キム牧師:愛する主よ、韓国教会とクリスチャンたちの現在の状況について御言葉を与え、あなたの考えを教えてください。

イエス様:そこは赤く光る十字架で覆われています。ほとんどの教会は注意深くわたしの声を聞いてはいません。彼らは人間の欲で満ちています。彼らは会衆の声を聞き、彼らを満足させようと忙しくしています。我が愛する僕よ、わたしはあなたを通してわたしの言葉を世界に宣言したいと願っています。わたしの言葉は火となり福音は世界に行きわたります。わたしはこれが間違いの中にある僕たちが目を覚ます機会となることを願っています。その人々の価値観、大きさや成長、リバイバルに関する認識はわたしの基準と一致していません。わたしは彼らの方法を認めることはできません。彼らの方法は私の思いや計画とは何の関係もなく、彼らはずっと自分のバベルの塔を築きあげようとしているのです。自分の塔を建てている人が数え切れないほどいます。

聖霊の満たしを求めている人はたくさんいますが、しかしそれは口先だけのものです。彼らは愛と寛容を求めていると言っています。彼らは賛美し、礼拝を捧げ、唇で祈りも捧げます。彼らは主と神をよく知っていると言っていますが、それは口だけなのです。しかし彼らは自己中心なのです。彼らは自分の知識、安全、都合に合わせて求め、宣言しているにすぎません。彼らはわたしが望むことを宣言しているではありません。

我が愛する僕、わたしに属する羊よ！多くの人はあなたを指さすでしょう。多くの人はあなたを認めないでしょう。おそらくあなたを狂人と呼ぶ人もいます。あなたが偏っていると批判して迫害する人もいます。彼らはあなたは気が狂っていると言うでしょう。

我が愛する僕、我が愛する羊よ、彼らは海の波や流れのように多くの言葉を語ります。彼らは多くの説教が知恵と知識、啓発に従って述べられていると言います。しかしそれはわたしが本当に願っていることではありません。私はそれを認めません！わたしは説教が純粹で単純であってほしいと願っているのです。

美しい服を着て見せびらかすことを愛する人々よ、また外に出て交差点に立ち大きな声で自慢することを愛する人々よ、あなたたちは人によく見せることを愛しているのです！メディアやテレビを通して自分を見せることに忙しい人々よ、わたしはあなた方を哀れに思います！

わたしの羊の多くは彼らの声を聞いています。わたしの羊の多くが彼らを敬っています。わたしの羊たちはそのような人々によって盲目にされています。わたしの羊は無知なのです。彼らは真理の道を知りません。だから、わたしの羊は目を覚ましてわたしの声を聞かなければなりません。わたしは幻想的なことを求めもしなければ、知識を求めもしません。私はただ愛と誠実さ、そして寛容を求めているのです。将来、多くの様々な苦難や反対が主の教会のミニストリーに生じるでしょう。このことが起こった時、あなたたちは皆主の声を慎重に聞かねばなりません。右にも左にもそれることなく、天に望みを置きなさい。揺れ動くことなく、天国の奥義を理解しなさい。

わたしは既に終わりの時代に聖霊の力なしでは誰も立つことができないと語りました。彼らは義を知っているのでしょうか？彼らは信仰を知っているのでしょうか？彼らは神を信じ、信仰を持っていると言っています。彼らは神に栄光を捧げ、賛美すると言っています。しかし最終的には、彼らは自分の目的を成し遂げ、人々の前で自分たちを見せているのです。それはわたしのためではなく、いつでも彼ら自身のためだったのです。彼らはいつでも人より優れたものになりたいと願ってきたのです。

わたしの民は自分の上に置かれた我が愛する僕たちのために誠実に祈らなければなりません。彼らは夜警のように祈らなければなりません。今は悪しき人々の世代です。ゆえに、悪しき世代はわたしの僕を一人で放っておいたりしません。彼らは我が僕を何としてでも踏みつけ、殺そうとします。テクノロジーと情報の即時的な伝達は非難が急速に広まるのを支えています。わたしの民は守りの盾とならなければなりません。祈りの盾で我が僕たちを守りなさい。御言葉に堅く立ち、揺り動かされてはいけません。岩のように強くありなさい。わたしの民よ、あなた方は岩の上に建てられた祈りを通してそれを可能にするのです。すべてのことは心からなされなければなりません。

キム牧師:「我が愛する主よ、今、教会を出て行ったり自分のグループを作ったりする信徒がいます。彼らは人々を家に呼び、預言や解釈、そして悪霊追い出しを行っています。主よ、あなたはこのことについてどう思われますか？」

イエス様: 出て行ってしまった我が愛する子供たちよ、私はあなたたちを呼びたいと願っています。わたしは純粹で澄んだ、濃密な金色の霊を注ぎたいと願っています。わたしは何も混ざっていない水晶のように透き通った霊と共に御言葉を

与えたいと願っています。しかしあなたたちはうぬぼれて高慢になってしまったので、注意を払おうとはしません。あなたたちはわたしが語りかける言葉を聞こうとしません。あなたたちは高慢で自分を見せることに忙しくしています。あなたたちが何かを聞いたと思う時、何かを見たと思う時、また何かを感じたと思う時、あなたたちは自分自身をわたしよりも大きなものだと思っているのです。わたしの言葉に耳を傾ける代わりに、あなたたちは自分の思いに沿って行動しています。

愛する子供たちよ、あなたたちは注意深く聞かねばなりません。あなたの魂が純潔でないなら、あなたの魂に汚れがあるのなら、それが小さなものであってもサタンはそれを利用してでしょう。敵はあなたの体を武器として利用してでしょう。あなたのグループを出て行った人たちのように、あなたたちも自分自身を識別することができなければ彼らと同じ霊的暗闇に陥ることになりうるのです。人は常に自分自身を見分け、判断しなければなりません。自分自身を見分けることができなければ、目と魂は暗くなってしまいます。その後その人は何も見分けることができなくなり、耳が詰まってしまったために誰の声も聞くことができなくなるでしょう。どれだけ真理の言葉を聞いたかが問題ではなく、その言葉がその人の心と思いに入らなかったことが問題なのです。そのような人々は世俗的な世の中に従い、世の願いを満足させようとするでしょう。そのような人々は世の中が聞きたいと願っていることを語るようになるでしょう。彼らは主がこのように語られたのだと言うでしょう。

我が愛する人々よ、あなたたちはいつも純潔な心を持っていなければなりません。あなたたちはいつでも用心深く防御していなければなりません。わたしは地獄の火に落ちていく人々を裁きます。わたしは彼らに聖なる火は与えません。彼らが自分の生活とミニストリーを続けていく中で、自分たちの実は本当は神から来たものではなかったと気づくでしょう。しかし、すぐに過ちを悔い改めるならわたしは彼らを愛し、憐みを与えます。わたしはニネベの街の人々を愛したように彼らを愛します。

わたしは彼らの魂を哀れに思います。彼らの魂を思ういつもわたしの心は痛みます。なんと愚かな人々でしょう！彼らはあまりにもプライドとうぬぼれに満ちているのでわたしが与えようとしている祝福を受け取ることができないのです。彼らにはわたしが彼らに与えようとしている力を享受する能力がありません。しかしわたしの子供たちは彼らを憎んではいけません。あなたたちは彼らを憐れみ、彼らのために祈りなさい。彼らが神のもとに戻り、真実光り輝いた目でわたしの前に立ってくれることがわたしの願いなのです。絶やすことなく彼らのために祈りなさい。一日も欠かしてはなりません。わたしはあなたを愛するのと同じように彼らの魂を愛しているのです。

キム牧師: 愛する主よ、わたしはいつまで地獄を訪問し続けなければならないのですか？もう 3 年以上毎日送られているのですが。

イエス様: はははは、我が愛する僕よ、あなたは恐れているのかい？はははは、この地獄を訪れる機会さえ他の人は得ることはできないのですよ。もし人が天国を見るだけなら、人々は信じようとしなんでしょう。わたしはだからあなたに直接地獄を訪問し目撃すると言う特権を与えたのです。わたしは地獄を経験させるために特別にあなたを選びました。わたしはあなたがすべての痛み苦しみに耐えるのを助けています。わたしはあなたにとっても関心を持っているので、痛みを味わう機会を与えたのです。これがわたしがあなたに地獄を訪れる機会と特権を与えた理由です。それは他の誰のものでもありません。あなたはそれでも心配ですか？はははは。

キム牧師: もし私を続けて地獄に送られるのでしたら、どうかもっと力を下さい。主よ、どうか私の霊の目、見通す賜物、預言と解釈の賜物を強めて下さい。

イエス様: あなたはせっかちですね！ はははは。あなたはなんと忍耐ができないのですか！ あなたの時とわたしの時は異なります。喜びだと思って待っていなさい。その瞬間は耐えるのが困難かもしれませんが、わたしは誰にもそのようなユニークな試練を受ける経験をさせていないのですよ。これはただわたしがあなたを愛しているからなのです。わたしは特別にあなたを選びました。わたしはあなたを用い、多くの経験を与えるでしょう。これらすべてを喜びだと思いなさい。わたしに感謝しなさい。はははは。我が愛する僕よ！ 心配しないでいい、はははは。近い将来あなたはわたしがどうしてあなたを地獄に連れて行ったのか悟るでしょう。

キム牧師: あなたは私にもっと見せられるのですか？ 詳細にですよね？ 主よ、私にお見せになる時にはどうか妻も一緒に見るようにして下さい。彼女はすねてしまっています。

イエス様: ははは、わかっているよ。あなたはたくさん要求しすぎです！ はははは、我が愛する僕よ！（イエス様は私の髪を撫で、手を握って下さいました。彼はそれから私に話しかけ、笑われました。）あなたがわたしの内にとどまるなら、わたしはあなたの内にとどまります。あなたはどのようにして絶えずわたしの先に行こうとするのですか？ 一緒に行きましょう。わたしのペースに合わせなさい。

はははは、あなたはそうしているととてもかわいいですね。はははは、我が愛する僕よ！ あなたに注意して聞いてほしいことが一つあります。あなたがわたしの見せたことや語ったことを伝える時には、膨らんだ風船が浮き上がっていくように伝えなさい。あなたは自分自身を点検しなさい。悪魔があなたを尊大にする時があります。あなたはいつも自分を点検し、話し始める前にもう一度よく考えなさい。あなたは注意深くなり、何かを語る前に自分自身を点検することを忘れてはいけません。何かを見る前に自分自身を点検しなさい。あなたはいつも注意して、決して尊大になってはいけません。

わたしは貴重なミニストリーを長期に渡ってあなたに任せたいと願っています。わたしはわたしのミニストリーを多くの僕に任せたいと願っています。しかし彼らは自分の意志や知識が強すぎるため、わたしの麗しい計画とわたしの霊による貴重なミニストリーを植え付ける余地がないのです。彼らは自分自身の意志と知識で満ちています。

あなたが私のミニストリーを導く時には、世の中によって注意をそらされることがあってはなりません。あなたのミニストリーを他のもので計ったり比較したりしてはいけません。自分自身の標準を持ちなさい。世界中の他の牧師に注意を払ってはいけません。あなたはただわたしだけを見つめなければなりません。わたしの声だけに注意を払いなさい。

キム牧師: 愛する主よ、妻に「あなたは変な人だ」と言ってやって下さい。

イエス様: はははは、あなたは彼女が変わった人だと思うかもしれませんが、彼女はわたしの作品なのです。彼女の性格、性質、そしてイメージはわたしの反映なのです。工場には漁師もいれば農夫もいて、他の商人たちも同じ所で働いています。あなたの妻はあなたとは異なります。はははは、彼女は変人ではありません。わたしは彼女を彼女らしく用い、その性格も用いたいと願っています。わたしは彼女の性格を愛おしく思っています。あなたもわたしの目にはとても美しく、かわいらしいですよ。はははは、あなたは自分の見方で妻を見るから彼女は変だと思うのです。わたしがあなたをかわいくて美しいと思うように、わたしはあなたの妻も美しくかわいく思っているのです。わたしは彼女をとても愛しています。

聖カン・ヒュンジャ、我が愛する僕であるあなたの夫より霊的に先に行こうとしてはいけません。わたしは秩序の神です。あなたに霊的に開こうとしているものは夫と同じではありません。わたしはあなたのために特別に異なった霊的な事柄を開きたいと願っています。わたしはあなたを適切に、そして尊く用いるでしょう。わたしは女性だけが持っている優美さ、優

しさ、そして愛の心を用いるでしょう。あなたは常にあなたの目をわたしに向けて開かなければなりません。忍耐をなくしてはなりません。あなたはわたしの時を愛する心を持たなければなりません。

キム牧師: 主よ、愛する主よ、外部からここを訪れている人々に対するお言葉をお願いします。

イエス様: 我が愛する 1 人の男性の僕がここにいます。その僕はわたしの小さな教会を任せた者です。

(訪れている牧師たちの数人が「主よ！主よ！」と叫んでいる。)

イエス様: (主がむせび泣かれた。) 愛する僕よ！あなたの心はとても痛んでいます。あなたは痛みを誰とも分かち合うことができません。あなたは時にあきらめてしまいたいと思うこともあります。実際、あなたは日に 12 度もあきらめようかと考えていたのです。あなたが自分の家族を見ると、彼らのために申し訳なくなり、心が痛みます。ああ、我が愛する僕よ。そんなに早まらなくてもいいのですよ。あなたの目にはよどんで見えるでしょう。あなたは何も見えないと感じるでしょう。あなたは助けとなるものがないと感じるでしょう。しかしわたしはこの瞬間でさえあなたと共に働いているのです。これはあなたが経験して通り抜けなければならない過程であるために、わたしはこれらのことが起こるのを許しました。それはわたしがあなたを憎んでいるからではなく、あなたを無視しているからでもなく、あなたが弱いと思っているからでもありません。わたしはあなたを成熟させてあなたの忍耐力と立ち直る力を用いようとしているのです。

訪問している牧師: (激しく泣き叫びながら) 神様、私の心は押しつぶされそうです！！私は霊がくさびで留められているかのように感じています(むせび泣く)。神様！！私は聖書を読むことができません。あなたの声を聞くことができません。神様！(むせび泣く) 私は何度もあなたをうらみしました。わたしはこう言っていました。「神様、あなたはただ私を困難に合わせるために僕としてお呼びになったのですか？」と。神様、私に何をしろと言うのですか？(むせび泣く)(この瞬間、主はその牧師の首を撫で、御腕で抱かれた。)

イエス様: 我が愛する僕よ、あなたの燃えるような忍耐のない心を取り除きなさい。わたしはあなたにわたしのようになり、わたしのような性質を持ってほしいと願っています。人々を、特にあなたが腹を立てている人々を愛し祝福する僕となりなさい。あなたは誰かに対して敵意を持っていますか？彼らのところに行きなさい。へりくだって彼らと握手をし、抱きしめ、祝福し、そして彼を憐れんであげなさい。

わたしはあなたが素晴らしいリーダーになることを期待しているのではありません。わたしがあなたに期待し、望んでいることは素晴らしい羊飼いになることです。わたしはあなたに傷ついた魂を祝福する牧者になってほしいと思っています。わたしはあなたに様々な才能、力、偉大な強さを持ったリーダーになることを期待しているのではないのです。

我が愛する僕よ、わたしはあなたとあなたの家族に 30 日間私に向かって叫んでほしいと思っています。あなたの性格がわたしようにならなければ、またあなたの心の痛みが癒されるまでは、あなたはわたしの愛する群れを愛することはできないでしょう。あなたの全ての傷と痛みを注ぎだしなさい。あなたの全てのごみを注ぎだしなさい。あなたの心の全てにわたし自身を与えたいと願います。わたしがあなたの心に移り住む必要があります。わたしがあなたの心に来て住む必要があるのです。わたしはあなたの心に入ってあなたと語りあいたいと願っていますが、あなたの心があまりにも自分自身で満ちてしまっているためにそうできないのです。

我が愛する僕よ、他の人を見てねたんではいけません。わたしはよく知られ、世界に認められている僕を望んでいるわけではないのです。わたしは僕に任された全てのミニストリーを評価しています。わたしは人気の度合いで評価したりはしません。サクランボは春に育ちます。それは成熟して鮮やかな赤色になります。それが実を結んだらその役割は完了な

のです。わたしは一人ひとりの僕に使命を任せています。その使命の広さ、深さ、領域、大きさは全て異なります。あなたは多くのことを望むでしょうが、もしあなたが毎日私の与える 5 匹の羊を養い育てるなら、5000 匹、10000 匹、あるいは 30000 匹の羊を養う羊飼いと同一報いを受けるでしょう。だから、そんなに貪欲になってはいけません。わたしはあなたに忍耐し、任せたことを成し遂げてほしいと願っているのです。ベストを尽くし、喜んで行いなさい。

愛する僕よ、わたしはあなたが最初にわたしに悔い改めた時に立ち帰ってほしいのです。あなたは最初に悔い改めた時天国への希望を持っていました。わたしがあなたと初めて出会った時のように、もう一度心を戻してほしいのです。

あなたはわたしに約束したすべてを覚えていますか？祈ってそれらにしがみつきなさい。わたしに尋ね求めなさい。そうしたらわたしはあなたを引き上げ、用いるでしょう。わたしはあなたを引き上げ、わたしがあなたの前に備えた使命を成し遂げられるように力を与えるでしょう。わたしはあなたに希望を与えます。わたしはあなたが必要とするなら働き人を与えるでしょう。だから、忍耐を失ってはいけません。長く苦しんできたわたしの群れを養い、愛し、恵みを注ぎ、憐れんであげなさい。

キム牧師: 愛する主よ、私たちの会話の内容を第 5 巻に収録しましょうか？主よ、新しくできた教会の僕たちが力を得ると思うのですが。

イエス様: 我が愛する僕よ、あなたは第 5 巻を途中で書くのを止めてしまっていますね。そうでしょう？

キム牧師: はい、主よその通りです。

イエス様: あなたは息苦しく思っているに違いありません。あなたはまた書き始めなければならないことを知っていますが、とても焦っています。あなたの手は思うように動かず、何も思い浮かばない。そうでしょう？だからわたしは今日特別な時を与えます。わたしはあなたの心を自由にするためにここに来ました。そして今わたしの言葉を聞いている全ての人たちにわたしの言葉を目撃し、書き記し、宣言してほしいと思っていますのです。

多くの人々は炎のミニストリーとわたしの本を通して実を結ぶでしょう。主の教会を通して多くの人々が感嘆し、聖霊のミニストリーを行ったり聖霊運動に参加したりすることを望むでしょう。あなたが第 5 巻を出版すると、多くの人々が聖霊の働きを望むようになるでしょう。第 5 巻が出版された後、あなたは希望と力が強められるでしょう。現在、あなたは様々な問題やサタンとの衝突といった困難を経験しています。しかし勇気を出しなさい、わたしはあなたに三倍の喜びを与えます。

キム牧師: 愛する主よ、私はアメリカでリバイバル集会を計画しています。しかしわたしのビザがまだ手に入っていません。主よ、私が参加しようとしている教会は新しくできた教会で、信徒は牧師の家族です。私はどうすべきだと思いますか？主よ、私は参加すべきでしょうか？私はどうすればよいのでしょうか？

イエス様: あなたの集会を求めている僕には2つの目的があります。1 つ目は、彼の欲望と望みを満足させたいというものです。彼の目的は真実の福音を宣言することではなく、自分の教会を宣伝することなのです。彼の動機は彼自身を高めることにあります。今彼は自分の個人的な望みや欲望に基づいてリバイバル集会を準備しています。わたしはそれを喜びません。もしミニストリーやメッセージが誤って伝えられたら、サタンが介入してくるでしょう。そうしたら副作用が生じます。参加する人々は一時的には興奮し、満足するでしょうが、後には批判に走るでしょう。それはまるですぐに朽ちてしまう枯れ葉に点火するようなものです。長くは続かないひと吹き煙に似ていると言う方が近いでしょう。

我が愛する僕よ、わたしはあなたがそこに行くことを望みません。あなたが築き上げてきた様々な働きは重要視されなく

なるでしょう。終わりの時代のわたしの僕たちは自分の欲を満たしたいという願いがあまりにも強すぎます。彼らは霊的な力を持って成功したいと望み、自分自身を自慢しているのです。これがわたしが聖霊の働きを行い、満たすことのできない理由です。これがわたしが聖霊の力を与えたり力強い賜物を注いだりすることのできない理由です。それはとても残念なことです。もし人がへりくだり、地の塵のようにひれふすことをしないならば、わたしは聖霊の働きを与えることはできません。そうでなければ彼らはそれを自分自身の欲望を満たすために使うからです。結果的に、多くの人は道を外れた牧会をするようになるでしょう。彼らは多くの人々を間違った方向に導いていくリーダーとなるでしょう。多くの人が盲目になり、真理に入ることをやめてしまうでしょう。これがわたしが現在多くの僕に力を与えることができない理由です。すべての僕たちは賜物を求めています。彼らは皆霊的領域を望んでいます。しかし、彼らの多くは間違った理由で求めているのです。彼らは自分自身の自己実現と成功を探し求めているのです。

今、わたしはここにいる僕たちに語ります。もし今ここにいる誰かがキム牧師の持っているような力と賜物を受け取りたいという目的で主の教会を訪問しているなら、わたしはその人に自分の個人的な願いをすべて捨てることを要求します。もしあなたが自分自身、あるいは自分のミニストリーを崇拜するためにさらなる自分の野心や成功を求めてここにいるならば、それらすべてをわたしの足の下に置くことを勧めます。あなた方のプライドと尊大さもすべて捨てなければなりません。あなた方の欲望や個人的な野心が徹底的に洗い清められる時、わたしはその時あなた方に賜物を与えましょう。賜物はただあなたが期待したり願ったりするから与えるというものではありません。あなた方は熱心に願っていただければわたしが賜物を与えると思っているのでしょうか？あなたの熱心な願いの中に少しでも個人的な欲望があるなら、わたしは聖霊の賜物は与えません。そうでなければ、賜物を受け取ることは毒となることがあり、その賜物が殺人のナイフとして用いられるかもしれないからです。これがあなた方に賜物を与えることができない理由です。

愛する人たち、あなたがたが愛、親切、謙遜といったわたしの性質に似るようになった時、聖霊の賜物はあなた方の上に注がれます。わたしはあなた方に賜物を与えたいと切に願っているのです。わたしの心はあなた方に早く賜物を与えたいと願っていますが、あなたは自分の心を空にしようとはしません。あなた方の心は欲望で満ちています。あなた方はわたしの賜物と力を機械のように用いたいと願っています。これがわたしの賜物を与えることができない理由なのです。ここにいるすべての人々よ、冷静に聞き、祈りなさい。3 か月、2 か月、1 か月、30 日連続で、あるいは一晩中祈れば賜物を受け取ることができると考えている人々よ、あなたがたの考えは間違っています！わたしがあなた方の内に入り、聖霊が完全にあなた方の内に現れることができるのは、ただあなたが自分自身を空にしたときだけなのです。あなた方が自分の欲望で満ち溢れているのに、どうしてわたしがあなた方の内に入ることができるでしょう？あなた方はわたしの賜物を受け取る準備ができていません。あなた方は自分自身を空にすることなしに口先で信仰を告白しているにすぎないのです。わたしはあなた方の霊の中心にある欲望や野心を空にしてほしいと願っています。あなた方が自分が本当は何者であるか、自分がどういう状況にあるのかという隠されたアイデンティティを悟る時、あなた方は次第にわたしの前で自分自身を見るようになるでしょう。

キム牧師: 愛する主よ、預言の働きのために人々を訓練するところがあります。多くの人々がそこに集まっています。その訓練所のメンバーの一人が私たちの教会を訪れ、私たちは彼を高位の悪霊から解放しました。彼は自分が悪魔に入られていたことを知って非常にショックを受けていました。彼は自分の中に悪魔がいることに気づかず預言していたのです。主よ、このことについてどう思われますか？

イエス様: (深いため息をついて) あなた方は皆聖書を読んで賜物は賜物であると知っているでしょう。預言の賜物を訓練やその他の不自然な方法で獲得できるという考えは大きな過ちです。他人が異言、天の言葉で話すように訓練しようと

する人もいます。自分自身の天の言葉を作り出す人もいるのです。そういう人はカルトのリーダーです。彼らは天の門を閉ざす人たちです。彼らは天国の道しるべを見えなくする人たちです。

ここにいる我が愛する民たちは賜物を訓練によって得ることができるとは信じていませんね。わたしはあなた方に救いの賜物を与えました。あなた方は自分の罪のために死ぬ以外に選択肢はありませんでした。あなた方は賜物と言う概念すら知りません。賜物は要求に基づいて与えられると考える人もいるでしょう。その時、あなた方はわたしの先を行っているのです。そうするとついにはわたしに教えたり、指図したりしようとするのです。今、不自然に訓練された人々はミニストリーを行い、わたしを雇っています。彼らはわたしの前に立ち、わたしに彼らの願いに応じるよう指図しています。彼らは最悪の中でも最悪です。

あなた方は皆、終わりの時代の教会には麦と毒麦があり、羊と狼がいるということを知っていますね。今、わたしが彼らを右と左に分けなければならない時が来ています。あなた方は目を覚まして注意深く自分自身を点検しなければなりません。非常に注意深くし、繰り返し気をつけて間違った道に並んでいないことを確かめなさい。

ひとたび霊の目が暗くなると、あなた方はもうそれ以上識別することができなくなります。わたしがあなた方に近づこうが、憐みを持って叫ぼうが、真理を語ろうが、それらは何の意味もなくあなた方にはわたしの声が聞こえなくなるでしょう。自分の欲望に満たされると、自分の野心に向かって走っていくようになります。あなた方は彼らの最終的な結果の証人となるでしょう。そして遠からず彼らは処罰を受け、あなた方は彼らがどうなるかをはっきり見ることができるでしょう。わたしは彼らを裁きます。あなた方は再臨の時に彼らが滅びるのを見はしないでしょが、あなた方は自分たちのそれぞれ異なる目で彼らを目撃するでしょう。聖霊の働きは実によって現れます。あなた方は彼らの実が活着しているか死んでいるかによってその人生を見るでしょう。

キム牧師:愛する主よ、感謝します。申し訳ありませんがもう1度質問させて下さい。私の子供たち、ジョセフとジューユンが深く霊の領域に入っているので、私が教会の家族よりも自分の子供を愛してしまっていないかどうか教えて下さいませんか？主よ、あなたはジョセフとジューユンをどのようにお用いになるおつもりですか？教えて下さいませんか？

イエス様:あなたの目には彼らはあなたの小さな子どもたちだと見えるでしょう。だからあなたは彼らが霊の領域を見る時とても心配になるのです。しかし、神の王国においてはその人が60歳であろうが40歳であろうが、小さな子供であろうが関係ありません。霊の領域では皆同じなのです。あなたが天国で見えてきたように、年寄りも若者もなく、男性も女性もなく、子供も大人もありません。霊はみな同じなのです。

わたしは霊の領域を物理的な方法で考えません。それは霊的に判断されるのです。わたしは子供たちの霊が清く純粋なので彼らを用いたいと願っています。年配の人は、時に知識、常識、頑固さによって混乱してしまうでしょう。それはわたしがどんなにはっきりと霊的な領域を見せても関係なく、さびで汚れた水のように彼らの思いは移ってしまいます。だからそのような人々を用いるのは危険な時もあるのです。これが幼い子供を用いる理由です。

この終わりの時代、わたしは聖霊を幼い子供たちに注ぎ、彼らに霊の領域を見せるでしょう。彼らは預言するでしょう。わたしは彼らを引き上げ用います。あなたの子供たちの霊は清く純粋なので、わたしは彼らを用いたいと願っています。だから過度に心配してはいけません。しかし、キム牧師、彼らを誤って用いてはいけません。わたしが機会を与える時にはいつでも彼らを用いてほしいのです。あなたは彼らによく注意を払わなければなりません。時に、幼い子供たちは賜物を自分の楽しみのために濫用することがあるかもしれません。だから、あなたはいつでも彼らを訓練し、神に仕える目的で賜物を用いるように教えなければなりません。

今から後、多くの幼い子供たちが霊の領域、聖なる火を経験し、聖霊の賜物を受け取るでしょう。このことが起こった時、大人たちは彼らが幼い子供だからという理由だけで彼らを見下したり無視したりしてはなりません。これはわたしの来る日がとても近いというしるしです。あなたは彼らを尊敬し、愛し、高めてあげなければなりません。わたしはあなたにわたしに接するように彼らに接してほしいと願っています。

キム牧師:愛する主よ、あなたの恵みを感謝します。ある人が自分の孫が10代、特に10代半ばになったらあなたが来られると言っています。その人は欺かれているのでしょうか？

イエス様:我が愛する僕よ、もしわたしが来る日にちを僕の何人かに公開したら、世界は混沌に陥るでしょう。わたしは聖書で述べているように、わたしは盗人のように来て、それは誰も知りません。しかし、霊的に目覚めた人々は私が来る日は近いことを知っています。彼らは正確な日にちは知りませんが、その時期は知っています。彼らは再臨が緊急であるということを突然悟るのです。その時期、それは時間の問題にすぎません。

天国の門が開いているとか、第一の御使いがトランペットを吹いているとか、いつわたしが花嫁を迎えに来るとかいうことは年月を預言するものではありません。それは突然起こります。霊的に目覚めている人は、祈っている時に突然霊の領域を通して私が来ていることを霊的に感じ、知るでしょう。待ち望み、目覚めている人々と一緒にそれを感じます。

私は誰にもその日付を言ってはいません。そうでないと世界は混沌とし、秩序を失うでしょう。だから、その日にちは与えられないのです。ただ父だけがその日を知っておられます。我が愛する僕よ、もしあなたがわたしだけを愛し、わたしの内にとどまるなら、あなたはその日を知らないからと言って困惑することはありません。

キム牧師:愛する主よ、あなたの恵みを感謝します。あなたもよく知っておられるように、バクスター姉妹は何度も天国と地獄を訪問しました。彼女は本の中で地獄は地球の中にあると述べています。私の意見としてはそれに賛成できません。地球の核には火がありますが、私の経験とあなたがわたしたちを導いて見せて下さった旅に基づいて考えると私は地獄が地球の中にあるとは思えません。主よ、どうでしょうか？

イエス様:愛する僕よ、聖書の観点では天国は今あなたの心の中に存在し、また未来に来るものでもあります。あなたはこの知識を持っていますね。わたしが地獄は地球上にあると言う時、それは裁きの後に地獄が来る場所を意味しているわけではありません。私が地獄は地球上にあると言う時、それは神の国がその人の上にはないということの意味します。例えば、人々が「地獄のように感じる、私たちは地獄を生きている、世界は地獄のようだ」といったことを口にすることがあります。その人たちが通る痛みや苦しみの度合いは異なっています。

愛する人たち、今注意して聞いてほしい。わたしがあなたの霊を開く預言の賜物を与える時、とても気をつけなければならないことがあります。もしこの賜物を受け取る人の霊や魂が純潔でなかったら、多くの問題が起こるでしょう。ある人が他の人に預言する時、その預言者の霊的不純物がすべて取り除かれていなかったら、聖書を間違って解釈する人のようなものです。霊が聖められていない預言者は誤った預言や解釈をすることがあり、それは結果的にわたしの意図を誤って伝えてしまうこととなります。だから、人が預言の賜物を受け取ったとしても、その人は思い浮かんだことを全て口にすべきではありません。しかし、彼らはとても注意深くなければなりません。預言を受け取る人も預言する人もどちらもとても注意深くなければなりません。

キム牧師:愛する主よ、既に述べた通り、中に入っている全ての悪霊を追い出さずに聖霊のミニストリーを行うのはとても危険なことです。それは教会の日々の礼拝の中で明らかに証明されました。預言に焦点を当てそれに集中している教会があります。彼らには悪霊の正体を暴露する能力がありません。主よ、このことにどう対処すればいいか教えて下さい。

イエス様:預言のミニストリーにおいては、一人の人の一つの言葉で、弱いあるいは若い信仰者を真理の道にも悪の道にも導き入れることができます。そこには人々を盲目な人々のように暗闇に導いてしまうという危険性があります。あなたに預言する人々についていくつかの例を与えましょう。黄色いオレンジジュースがいっぱい入ったコップの中に赤い水を注ぐと、その色は赤みがかかったオレンジになります。この例は人が語る時、人間の考えと悪霊の考えが混ざることがあるということを示しています。このことが起こった時、その人は自発的にへりくだり、預言をやめなければなりません。その人はへりくだって従い、霊が聖められるまで祈って待たなければなりません。わたしはその人に預言することを止めて休んでほしいと願っています。わたしはその人がへりくだることを願っています。聖霊を受けている人は悪霊がその人の霊的状况を墮落させているかどうかを識別し、知ることができます。わたしはあなたの今のミニストリーが聖霊の御業であるか主が喜ばれないものであるか聖霊を通して教えます。だから、あなたは自分の霊が聖められておらず、預言するべきでない時には聖霊を通してそれを知るでしょう。人が自分の状況を悟る時、わたしはその人に自分自身を慎んでほしいと思います。注意深く行動することによって、その人はわたしの羊を病気にさせることもなければ、預言者自身も病気になることはないでしょう。もし汚れた状態でミニストリーを続けるなら、その人の霊性は鈍くなり、彼らは病気になってしまいます。結果的に、その人は次第にサタンの道具になってしまうのです。

キム牧師:愛する主よ、私たちの霊の五感で預言するのは聖書的でしょうか？彼らは感覚を用いて預言することができるのでしょうか？また、耳から鮮明に言葉を聞いて預言するのは聖書的でしょうか？霊の五感で預言する人がたくさんいます。ですので、耳から聞いて預言するのはあなたのご意思ですか？

イエス様:愛する僕よ、それはこういうことです。あなたの性格は聖カン・ヒュンジャとは異なっています。実際、わたしの全ての子供たちの個性はそれぞれユニークで異なっているのです。わたしは自分の僕を異なった賜物と独自性をもった道具として異なった方法で用います。他の人よりも霊の五感が敏感な人もいるので、わたしは彼らに感覚を通して言葉を与えます。ある人々に対しては耳を通して言葉を与え、別の人々に対しては聖書を読んでいる時に預言を与えます。わたしが預言を与えるのには多くの方法があるのです。あなたは預言が与えられる特定の方法について判断してはいけません。

霊の領域は広く無限です。わたしはひとりひとりに最も適した賜物を最も適した方法で与え、用いたいと願っています。わたしは彼らが最もよく用いることのできるものを与えます。だから、そんなに慌てて判断してはいけません。慌てて非難してはいけません。人の霊性が開かれると、霊的な識別力があるのでその働きが悪魔からのものかどうか知ることができるでしょう。わたしはあなたがたに互いに尊敬し、高めあい、愛し合ってほしいと願っています。

キム牧師:愛する主よ、申し訳ありません。私もあなたに同意します。霊の領域では、私個人としては体系的に述べたり理論を構築したりできるとは思えません。しかし、霊の領域の知識を持っていて、聖霊運動を行っていると言っている多くの人は体系や理論を作っています。彼らはそのナンセンスな理論で人々を教育しています。このことについてどう思われますか？

イエス様:あなたは肉体を持った人間であり、たとえ働きの全てに全力を注いだとしても、あなたはわたしのようになることはできません。わたしは霊の体を持っています。基本的に、あなたが今直ちに完全になることは不可能です。だから、わたしは人が霊の領域が完全に開いたと言うのを好みません。その人の傾向、能力、性格、その他の特性に基づいて、

わたしはその人に最も合った賜物を与えます。人はただ自分が持っているものや経験したものだけを理解することができるにすぎません。

だから人々は霊的領域のことについて互いに判断したり非難したりしてはなりません。霊的な人々、あるいは霊の領域が開かれた人々は互いに分かるでしょう。彼らはそれぞれの働きさえわかるでしょう。彼らは互いに判別するために一言の言葉さえ言う必要はないでしょう。彼らは霊を通して互いを知ります。彼らは一体であることを理解します。働きは異なるかもしれませんが、聖霊は同じであり、主によって一つだとわかるのです。

だから、ある人の霊の領域が開かれるかもしれませんが、その人は自分たちの方法や啓示が唯一の正しい方法であると言ったり同時に他人を批判したりするべきではありません。人は自分が経験したことだけを知ることができるのです。有限の考えや知識、言葉で表現することはできません。霊の領域は他のものと比較できるものではないのです。その高さ、深さ、幅、広さはどんな基準とも比較したり判断したりすることはできないのです。人は天の御国でわたしとともに住む時にならないと霊の領域の完全性を理解することはできません。人が完全性を得るのはその時なのです。

キム牧師:愛する主よ、もうひとつお尋ねしたいのです。私は早く新しい家に引っ越して、古い教会を他のテナントに貸さなければなりません。しかしすぐにはできそうにありません。主よ、あなたのご意思は何でしょうか？私の祈りが不足しているのでしょうか？私たちが古い教会の建物の借り手が見つかるように祈れるよう祈りの僕を起こして下さい。

イエス様:それは祈り不足のせいではありません。あなたの教会の建物はわたしが与えたいと願う僕が見つかるまで保留されているのです。わたしはまだその建物を任せることのできる適切な僕を探しています。あなたのせいではないのです。だから我慢して私を信じ続けなさい。あともう少しです。

キム牧師:主よ、どうか私が早く引っ越せるよう助けて下さい！私は我慢の限界です。

イエス様:あなたがせっかちなのはよく知っています。はははは。あなたはいつも気が短いですね。あなたはあまりにも跳ね回っていますよ。はははは。

キム牧師:妻のカン・ヒュンジャが私を押ししました！

イエス様:時々、あなたはとても愛らしいです。はははは。時々あなたの性格はほとんどわたしと同じだと思うくらいですよ。

キム牧師:主よ、ユン・ジュン兄弟はもともと仏教の僧侶でした。彼は肉を食べませんし、何度も修行をしてきました。しかし今彼は結婚したいようです。このことについてどう思うかお聞かせ下さい。

イエス様:はははは、ただ待ってみなさい。キム牧師、かなりばかばかしいですよ。わたしはあなたと会話する時とても楽しんでます。あなたはわたしを喜ばせてくれますね。はははは。

キム牧師:あなたはユン兄弟に言っているのですか、それとも私にですか？

イエス様:あなたに決まっているでしょう、はははは。あなたはわたしをありとあらゆる方法で笑わせてくれますね、はははは。

キム牧師: イエス様、どうかユン・ジンス兄弟を癒してください。ヒュク・ファン兄弟は欲望の霊がユン兄弟の内に働いていると言っています。これは頻繁にある問題です。主よ、これについてはどう思われますか？

イエス様: わたしの願いはあなたがた皆が弱い兄弟たちに心を向け、愛してあげることです。もしあなたが弱い信仰の友を愛の心を持って見るなら、彼らが愛おしく美しく見えてくるでしょう。わたしの目には、彼らは皆遊び回っている小さな赤ん坊のようです。彼らのやり方や見た目、性格が変だからという理由だけで、あなたの考えで判断したり分析したりしてはいけません。あなたは弱い人々を愛の心を持って見つめなければなりません。その時初めて彼らの美しさを見ることができるよう。あなた方は力や賜物を求める前に第一に愛の心を持つことを学ばなければなりません。わたしは弱い人を抱きしめる心をもつことをまず身につけてほしいと願っています。これがなされた時、わたしはあなたに力を注ぎます。癒し、回復、解放の力が実際に生じるでしょう。

キム牧師: 主よ、もちろんあなたの言う通りです。ホープチャーチの牧師がはるばるここに来ました。彼はスウォン市からここまで来ました。彼にどのようなミニストリーを導いてほしいと願っておられますか？あなたは炎のミニストリーを期待しておられるのですか？

イエス様からスウォンの牧師へ: あなたは何を変革しようとしているのですか？あなたは 2 つの異なる考えをもっていますね。あなたの願いは何ですか？

キム牧師: 主よ、彼は聖霊運動のミニストリーを願っていると言っています。

イエス様からスウォンの牧師へ: あなたは鉄のような性格を持っています。あなたに一つのことを心に留めてほしいのです。あなたの全ての固定観念を捨て去りなさい。わたしはあなたに粘土のような軟らかく優しくなってほしいと願っています。もしわたしが強い性格を持った人に聖霊運動のミニストリーを注いだら、彼らは多くの困難を通ることになるでしょう。だからわたしがこの要求に今応じたら、あなたは多くの困難に直面することになってしまいます。

あなたの性格が粘土のように軟らかくなり、全ての不純物が洗い清められて金が再び見えるようになった時に初めてわたしはあなたの要求に応じて聖霊のミニストリーを与えることができます。この特定のタイプのミニストリーに焦点を当てるよりも、わたしはあなたに現在の状況で最善を尽くしてほしいと思っています。あなたには神の時を待ってほしいのです。

わたしはまず現在あなたの手にゆだねられている働きを成してほしいと願っています。あなたは粘土のように融通のきく者にならなければなりません。わたしはあなたの心にあるすべての考え、計画、目標が崩されることを願っています。すべてを脇に置いて再出発してほしいのです。今はあなた自身を立て直す時です。他の人の言葉や自分の観念、また自分が見聞きしたことによって思い込みを持ったり形作られてしまったりしてはなりません。あなたは自分の基準を作り上げてしまってもはいけません。自分自身の標準を作ってもはいけないのです。

人が話す言葉は不純物と混ざります。必ずしも直接わたしが望んだとおりに伝わるわけではないのです。彼らの言葉はその人の偽善やごまかしと混ざるのです。だからあなたは彼らの言葉を考える時、柔らかくされるのではなくて頑なにされてしまうでしょう。結果的に、あなたはほんの少ししか許容できない狭い心になってしまうのです。

キム牧師:愛する主よ、もう1つお尋ねしなければなりません。申し訳ありません。私たちをカルトだと非難する人々や教会、組織があります。彼らは私たちを迫害しようと躍起になっています。彼らは他人に対して私たちをカルトだと定義づけているのです。このことについてはどう思われますか？

イエス様:愛する僕よ、他の人々に基準を定めさせてはいけません。わたしが聖霊のミニストリーで用いる人々やわたしが力強く用いる人々は非難されるでしょう。批判したり裁いたりする人々は正しい聖書知識や神の知識を持っていません。その結果、彼らは自分自身の基準や人間の限られた知識で基準を定め、わたしを判断しているのです。それゆえにわたしは深く悲しんでいます。この終わりの時代に、わたしは多くの僕を通して多くの魂を救いたいと切に望んでいます。しかし、わたしの僕の多くはわたしの力を注ぐのに適した器ではありません。彼らは自分自身の知識、基準、常識、肉体的な領域の外面的な認識に基づいて基準を定めてしまうのです。これが彼らの上にわたしの霊を注ぐことができない理由です。わたしは彼らの霊の領域を開くことができません。たとえ彼らに霊の領域を見せたとしても、彼らはそれを自分の標準や知識で押し量り、評価するでしょう。彼らは間違っただけの定義付けをするでしょう。彼らは心を開いてわたしを受け入れようとはしないのです。

我が愛する僕よ、どんな基準も作ってはいけません。あなたは常によく見て、わたしとの関係をしっかり築かなければなりません。ただあなたの目をわたしに向けていなさい。あなたが今何をしているとしても、世界があなたをどのように評価するかということにあまり関心を持ってはいけません。わたしが彼らを激しく裁くからです！

キム牧師:主よ、最後にもう1つ質問があります。どうぞお許してください。

イエス様:いいですよ。もう1つ質問したいことがあるのは既に知っていますよ、はははは！

キム牧師:たびたび私たちの教会に出席する若い未婚の牧師がいます。彼には長い間付き合っていた彼女がいましたが、数日前に破局してしまいました。他の教会員が彼に対してその彼女は彼に用意された女性ではなく、主は彼女を喜ばれないと預言していました。私たちは自分の自由意思についてよく知っています。私たちは自分が選んだ人とデートすることが認められていますよね。主よ、このことについてどう思いますか？

イエス様:どれだけ多くの人々が他人に何か言ったりアドバイスしたりするかは問題ではありません。人の配偶者は前もって定められており、運命づけられています。その人が運命の相手と出会う前に、わたしはその人が霊的に訓練されることを願っています。一般的に、人は訓練が不完全であるために運命の相手を見つけることができません。運命の相手を見つけるのが早い遅いは重要ではなく、あなたの方が真実必要とする人を与えたいのです。時は重要ではありません。運命の人と出会うことが重要なのです。

キム牧師:イエス様、ユン・ジュンス兄弟はあなたに何度もあなたに誓いをしました。彼は一生独身でいると誓いました。主よ、あなたは彼の誓いを受け取られたのですか？

イエス様:人々はわたしの意志を尋ねようとはせずに、わたしを雇おうとします。だからわたしは彼らに深い聖霊のミニストリーを与えることができないのです。多くの人々はわたしが望む器として彼らを用いるのを妨げる障害物を持っています。ああ、愛する人々、いつでもわたしの意志を最初に求めてほしいのです。決して成長しないような類の信仰は捨ててしまいなさい。わたしの無条件の許可を求めて自分の意志を伝えるような祈りはやめなさい。わたしはあなた方に成熟してほしいのです。

キム牧師:愛する主よ、何度もおたずねしてすみません。今のような機会はそれほどないのです。主よ、今日ここに来た教会員や出席者たち1人1人の簡単に質問に答えていただけませんか？

イエス様:わたしは全員に同じように語ることはできません。受け取る人もいれば受け取れない人もいるからです。さらに、一人で聞かなければならないような答えもあります。だから彼らの個人的な質問に対して公衆の面前で答えることはできません。

キム牧師:主よ、どうか私たちに天国の家を見せて下さい。主よ、ここにいる皆に見せて下さい。賛美し、ユーモラスに踊るために主の教会に出席する人たちの家は素晴らしく建て上げられるのでしょうか？

イエス様:ははは、そのユーモラスなダンスはあなたを喜ばせるのですか？ははは、わたしはあなたのゆえに笑っているのです。わたしはあなたのぎこちなさや、ばかげたふるまいが大好きです。あなたの動作1つ1つがわたしの喜びです。わたしはだから皆に他人の足りない部分や弱さを愛してほしいと願っているのです。

キム牧師:主よ、主の教会のメンバーたちの家はすべて天国の中心か御座の近くに位置していますか？私にはあまり知恵がなく、時々理解するのが難しい時があります。どうか答えを与えて下さい。

イエス様:あなたに示すことのできないことがたくさんあります。既に述べたように、あなたは基本原理を知る必要があります。あなた方は皆せっかちに全てを知りたいと願いますが、わたしが開かないこともあるのです。時が来たら、わたしはあなたにそのようなことを示しましょう。

キム牧師:主よ、働き人が不足しています。

イエス様:右にも左にもそれではいけません。あなたは堅く立ってわたしのミニストリーを続けなければなりません。あなたに人々を送るのはわたしの役目です。だから心配してはいけません。しかし少し期間、あなたはあなたの羊たちと共に祭壇からいくつかの領域において訓練を受けなければならないでしょう。あなたが削られ、また形作られねばならない領域がたくさんあります。成長の度合いに基づいてわたしは順に働き人を送りましょう。今のところはわたしのミニストリーと栄光のために忍耐し祈りなさい。わたしが集めます。

キム牧師:主よ、あなたに全ての栄光と感謝をお捧げします。主よ、床にひれ伏しているあなたの愛する娘にお言葉を願います。

女性牧師:(むせび泣きながら)神様！私の人間的な見方では、牧師という責務を引き受けたことを何度も後悔してきました。あまりにもたくさんの障害があり、私はそれに対処することができません。また心配なこともあまりにもたくさんあるのです。女性の僕として、私には多くの点で限界があります。私は頻繁にすっかり落胆してしまうのです。主よ。

イエス様:我が愛する娘よ、あなたがわたしを知る前から、わたしはあなたを僕となるように作りました。あなたが牧師になるまで、そして牧師になった後でさえもわたしはあなたの傍に立って働き多くの人々を備えてきました。愛する娘よ、あなたはどのようにしてそんなに頻繁に失望落胆してしまうのですか。あなたの願いは人々のために向けられているので、わたしはあなたが触れることによって人々が癒されることを願っています。わたしはあなたが触れる人が回復するように願っています。わたしはあなたが病気の人々やのけ者にされた人々を抱くことを願っています。わたしはあなたを通して回復を成し遂げたいのです。これはあなたにかかっているものではありません。あなたの意志にかかっているのでもありません。

あなたはあなた自身の意志に基づいてそれを成すことはできません。続けるかやめるかはあなたの強さに基づいてはいません。あなたにこれを理解してほしいのです。

わたしはあなたに平安を与えたいと願っていますが、それはわたしの方法でやってくるのです。わたしは今あなたを一段階成長させたいと願っていますが、それもわたしの方法で成されます。わたしはあなたに幸せになってほしいと願っていますが、あなたはそれをわたしの方法で得なければなりません。わたしはあなたに自分の知識、考え、常識、計画を捨て去ってほしいと願っています。わたしはあなたにわたしにある新しい被造物となってほしいのです。あなたが新しい計画に入っていく時、あなたは平安、感謝、そして幸せを得るでしょう。

キム牧師:愛する主よ、ありがとうございます。私は続けるべきでしょうか、それともこれで終わりにするべきでしょうか？

イエス様:あなた方皆が祈っているのです、わたしはあなた方に個人的に会いたいと望んでいます。わたしは一人一人に言葉を与えたいのです。個人的なこともあるので公衆の面前で語ることは望みません。いくつかの言葉は他の人が聞くべきではないのです。一人ひとりがわたしを探し求め、わたしと出会いなさい。わたしはあなた方皆に語りたいたいです。わたしはあなた方皆に見せ、語り合いたいたいです。

キム牧師:一緒に歌いましょう。「おお、我が魂は賛美します。」ハミングしましょう。

女性牧師:(幻を見ている)私たちの一致した賛美が一つに集まって5色の雲を作っているのが見えます。ああ、天使たちも一緒に賛美しています。天使たちは美しい金色のトランペットを吹きながら賛美しています。主は両手を高く上げて私たちと共に歌っておられます！私は喜びで心を開き、栄光を主にお返しします。わたしは幸せです。感謝します。全ての栄光を主にお捧げします。ああ主よ、どうか全ての栄光をお受け下さい！天国で多くの魂が1つに集まっているのが見えます。祝典が開かれています。多くの魂が霊にあって天使たちと共に踊っているのが見えます。今この時、天使たちは私たちの手を取って一緒に踊りたがっています。聖霊様が導かれるように手を動かして下さい。心と足を動かして踊って下さい。天使たちは一人ひとりの手を握っています。ああ主よ、あなたに栄光をお捧げします！ああ主よ、あなたに栄光をお捧げします！ボリュームを上げて下さい。聖霊様は今あなた方の内で動いておられます。ボリュームを上げて下さい。聖霊様と共に導かれるままに動いて下さい。天において、天使たちが一緒に踊っています。良い香りが高いところから下って来ています。神様、あなたをたたえます！ああ主よ、あなたを賛美します！ああ主よ、あなたに栄光をお捧げします！もし腕に痛みがある人がいるのなら、立ちあがって腕を自由に動かしてみて下さい。主が今あなたを癒しておられます。

体に痛みがある人がいるのなら、自由に動こうとしてみて下さい。主があなたの手足に自由を与えておられます。呼吸に困難を覚えている人たちは深呼吸して下さい。吸って～吐いて。神様があなたの心に今触れて下さっています。頭痛がある人は頭をあげて踊りなさい。下腹部に痛みがある人はお腹をたたいて回りながら踊りなさい。聖なる火があなたに入っています。神様は心の固い人々や落胆している人々に触れて下さっています。今悲しみは去り、あなた方の心はリフレッシュされています。心を開いて主を見つめて下さい。平安が今あなた方の上にあります。不安や心配は去ります。ああ、なんと素晴らしい日でしょう。ああ主よ、なんと素晴らしい日なのでしょう。ああ主よ、彼らの腕は自由になりました。ああ主よ、私の足も自由になりました。背中に痛みがある人たちは、自由に上下に動かしてみて下さい。主は今あなたの方背中に触れておられます。

歌いたい人はどうか霊にあって今歌って下さい。もし歌が異言になったら、異言で歌って下さい。もしハミングだったら、その曲をハミングして下さい。霊に導かれるままに手を動かして下さい。声を張り上げたいのならそうして下さい。あなた方は今霊にあって歌うことができます。聖霊様は今あなたの方唇と舌に触れておられます。あなたが聖霊の導くままに歌うな

ら、あなたは霊によって歌うのです。あなたが霊によって賛美している時、あなたはより深い聖霊の喜びを経験するでしょう。あなたの口を通して、聖霊様はあなたの霊に深く入ってこられています。今聖霊から与えられる導きや印象によって、捕らえられている、あるいは抑圧されていると感じている人たちは大声で叫んでください。悪霊は逃げていきます。あなたの心はリフレッシュされるでしょう。天国とこの建物で祝典が行われています。主は踊っておられます。主はあなた方の手を取って踊っておられます。今、もし願いがある人がいるのなら、今それを語ってください。それを大声で言って下さい。あなたが何かを願っているなら、今神のみ前でそれを求めて下さい。

神様はとても喜んでいらっしゃるのです、あなた方の願い事を叶えて下さるとおっしゃいました。もしあなたが子供のことで祈っているのならそれを主に知らせて下さい。あなたの全ての関心事や喜びを神にお知らせして下さい。家庭に問題がある人がいるのなら、この時に神様に家族の回復を求めて下さい。私は今すぐ神様に1つの誓いをしたいのです。もし憎んでいる人がいるのなら、主にその人を許すと誓って下さい。主と指切りをして約束して下さい。主の胸の中で約束して下さい。主を見て約束して下さい。それを主の胸に指で書いて下さい。ハレルヤ！全ての栄光を主に捧げします。

* 主が付き添われて地獄を訪問する

2007年10月18日の早朝、1人の天使が主の教会を訪れました。この天使は天国で私たちに付き添い、案内してくれた天使でした。私たちが地獄を訪問する準備ができたので、その天使は数人の部下の天使を連れてやって来ました。その時私たちは全員一緒に地獄へ行きました。天の御使いは銅色をした場所のような乗り物に乗って来ました。私たちが地獄の入口に着くや否や、馬車の色は暗くなりました。

私たちの目の前にある道は終わりが無いように見えました。私が見上げると、空がとても高く見えましたが、同時に天井のようにも感じられました。たくさんのロープが上から垂れ下がっているのが見えました。数え切れないほどの肉、塊の肉がロープに結ばれたフックにかかっていた。フックにかかっている肉の塊は肉屋を思い起こさせました。私はその時その肉の塊は人々の魂で生きたまま吊るされていることに気づきました。全身が吊るされている魂もあれば、足がなくなっている魂もありました。頭だけしかないフックもあれば、足だけが吊るされているフックもありました。

キム牧師:主よ！主よ！この人たちは誰ですか？彼らが何をしたからと言ってここでこんな苦しみを受けなければならないのですか？

イエス様:これらの魂はとても哀れです。彼らはみじめな罪を犯しました。彼らは欲望と悪しき思いで満ちていました。彼らの悪は汚い水のように壺を満たしていました。近づいて見てみなさい。彼らの神経は生きていて動いています。

キム牧師:愛する主よ、私は続けて地獄を訪問し、墮落したクリスチャンが行くところを見ます。主よ、どうか私の手を握って付いて来て下さい！怖いのです！どうか聖霊を冒瀆する罪が実際はどんなものであるのかお見せ下さい。聖霊を冒瀆する罪を犯したために最終的に地獄に入れられたクリスチャンたちをお見せ下さい！どうかそれを詳細に見せて下さい。

イエス様:キム牧師、今からあなたがかつて地獄で訪問したところのある場所を見ます。あなたは聖霊を冒瀆する罪を犯した人々を見るでしょう。すぐ傍まで近づいて見なさい！

主と私は線路が敷かれた場所に付きました。その場所は大きな鉱山のように見えました。私たちは線路に沿って歩いて行きました。私は線路の横に無数の部屋があるのを見つけました。その部屋は倉庫や巨大な管を思い起こさせました。その部屋の深さはあまりに深いので測ることができませんでした。私は自分が見たことを言葉で説明することができませんでした。すると、部屋の様子が明らかになってきました。聖霊を冒瀆する罪を犯した人々が内側と外側で見た目が異なる服を着ていました。服の外側はおしゃれで、豪華で、威厳があるように見えました。その服装は彼らの権威や高い地位を表していました。主は彼らを見て深く長いため息をつかれました。

イエス様：ふううう…チツチツ、わたしにどうしろと言うのか？ヨンドウー！キム牧師！わたしの心は非常に痛み、引き裂かれています。わたしがいくら彼らに語ったかは問題ではありません。彼らの耳は閉ざされていました。彼らは全くわたしに耳を貸そうとはしませんでした。わたしの言葉は彼らの心に届きませんでした。彼らの霊は鋼鉄のように頑なにされました。わたしがどんなに彼らに語っても、彼らは聞いてくれませんでした。さらに、彼らはわたしの声を聞かないように努力し、わたしが触れようとした時に拒絶しさえしたのです。わたしの哀れな子どもたちよ。今わたしはどうしたらいいのだろうか？何ができるというのだろうか？

ああわたしの愛する息子、娘たちよ！わたしの気の毒な子どもたち、わたしの哀れな子どもたちよ！あなた方はわたしがどれだけあなた方を愛し、あなた方を大切にしてきたか知らないのですか？わたしは何度もあなた方を抱きしめたのにあなた方は耳がふさがり、目が覆われて暗くなってしまっていたために聞きとることができませんでした。あなた方は真理を見分けることができなかつたのです。あなた方は貪欲になり、真理よりも知識に自分たちを導かせようとしてしました。偽善者たちよ！もしわたしが動物をあなた方より高く引き上げたのだったら、動物たちはあなた方のようにはならなかつたらうに。

その魂たちはわたしの心を痛みでいっぱいにします。わたしの心は深く痛んでいます。あなた方は愛によって生きていたと言いましたね。あなた方は愛を実践しているとまで言ったではありませんか。あなた方は頻繁にいのちの全てを捧げて教会に仕えると言っていたではありませんか。連れ去られてしまった哀れな魂たちよ。あなた方は世の誘惑で連れ去られてしまったのです。あなたがたは他の偶像に付き従い、霊的に目も見えず耳も聞こえない者となってしまったのです。あなたがたはもはや識別することができませんでした！あなた方が地上で生きている時、多くの罪が行われました。しかし、それらの罪の中でもわたしが最も深く悲しむ罪があります。わたしの痛みがわかりますか？肉がとけるような痛みです。

罪はわたしが最も忌み嫌うものです。わたしは罪をあなた方の涙と交換することはできません。あなた方の悔い改めは十分ではありませんでした。たとえあなた方の体をすべて捧げても十分ではありません。わたしはあなた方の計り知れない罪のためにどうすればいいのでしょうか？あなた方はかつて唇で信仰告白しました。「父よ！我が神よ！我が生ける神よ！」しかしあなたは偽りの唇でそれ以上そう語れないようにチャンスを失ったのです。今できることは何もありません！今となって何をしようか？あなた方は閉ざされた目と耳のゆえにここに来たのです。泣き叫びなさい！罪を告白しなさい！しかしあなた方もよく知っている通り、それには何の意味もないのです！

まだ悔い改める機会が残っている地上の人々は悔い改めなければなりません！今ここにいる人々はわたしの道を妨害したのです！あなた方はわたしの意志を妨害し、わたしの名前によって仲間を捨てました！その人たちを通してあなた方はどれだけ利益を得たのでしょうか？あなた方はわたしの愛する羊たちを殺し、彼らをあなた方のいけにえとしてむさぼり食ったのです。あなた方は彼らを自分の名前のための記念碑としたのです。あなた方は自分たちの利益のためにわたしの名前であらゆる方法を結集しました！今わたしはあなた方に対して語ります！

あなた方は口先だけの信仰告白をしましたが、決してわたしに属してはいません！あなた方は教会に暗闇の墓場を作ってきました。あなた方は偽善者の墓場に入れられるでしょう！わたしが何を言っているのかまだわからないのですか？あなた方はわたしの言葉をあまりにも軽々しく扱いました。あなた方はわたしの言葉に思いを向けませんでした。あなた方はわたしの言葉に耳を貸しませんでした。あなた方は自分自身の思いに従って正当化してきました。あなた方は自分の側に立ってすべてのことにおいて自分の利益を追求してきました。

わたしが愛する魂は自分自身を探し求めません。彼らは純粋な霊です。彼らはわたしの血によって聖められた純潔な霊です。あなた方は『血』という言葉をよく知っていますが、尊い血とはまったく何のかかわりもありません！あなた方は餌食を求めてあちこちを見まわしている狼に似ています。わたしの愛する羊がいるところを見回していましたね。彼らを見つけるや否や、あなた方は彼らをむさぼり食ったのです。今、わたしはあなたを呪います！あなた方の永遠は今や地獄の苦しみに支配されるでしょう！

あなた方が地上にいた時、あなたはあらゆることや問題を見て言いました。「おや、こんな問題があるとは！教会には祝福がある。全ての祝福はわたしのものだ！」しかし、あなた方が高慢になって世界の全てのものは自分のものだと呼んだ時、あなた方はついにここ地獄に来ることになったのです。あなた方は自分自身の破滅を知りませんでした。誰も、風さえも知りませんでした。今や、あなた方は破壊され滅ぼされるでしょう。あなた方は自分たちの住みかを作っていたことをしらないのですか？あなた方の全ての行いは書物に記されています。今、この暗い住居があなた方の家です。あなた方は既に自分たちの名前を悪魔とその手下たちに与えました。だから、この終わりの時代の収穫の時に、空の麦のように、また落ち葉のようにあなた方はこの場所に落ちてしまったのです。あなた方は永遠に罰せられるでしょう。

キム牧師: 聖霊を冒瀆する罪は恐ろしいものですか？

イエス様: その通りです。近づいて見てみなさい！

私は彼らが牧師のガウンを着て椅子に座っており、激しい炎に囲まれているのを見ました。椅子は黒い金属でできていました。座っているところは鉄の板のようでした。その轍の椅子は 1 列に限りなく並んでいました。ひとたび人が座ると、彼らが動けないように何かが自動的に彼らを掴みました。すぐに椅子の下から炎が激しく燃え上がりました。その炎はとても強い炎でした。私は熱のせいで近づくことができませんでした。彼らは叫びました。「ああ！助けてくれ！主よ、私たちが知らなかったのです！あなたはなぜ私にこんなことをなさるのですか？」

不思議なことが起こりました。赤と青みがかった炎が次第に彼らの体中に広がりましたが、片方のまゆ毛や髪の毛の毛さえも燃えたり損傷したりはしませんでした。炎は体全体を覆いました。彼らは激しい痛みを感じていましたが、損傷していませんでした。完全な破滅は起こらず、ただ痛みだけが生じていました。彼らにできることは痛みでみじめに叫ぶことだけでした。

「イエス様！ああ！熱い！どうして私はここにいないからならぬのですか？どうして私がここに来たのですか？」

多くの霊的権威の地位にいた人々がそこにいました。イエス様のことをよく知っていると言っていた人々がたくさんいました。神の御言葉を研究していた人の群れがいました。ばらばらな研究をし、自分の人間的な知識に基づいて神の御言葉を解釈していた人々がいました。

私はたくさんの悪魔がその魂たちを傷つけているのを見ました。悪魔たちはとても喜んでいました。地獄のこの場所は巨大なアリーナのようでした。このようにしか表現できません。そこはとても大きく、広く、とてもたくさんの人がいました。膨大すぎて数えることができませんでした。

キム牧師: イエス様、私はこの光景を書きとめて本に載せなければなりませんか？主よ、ここは私が痛みを受けるために頻繁に来ていた場所ですか？

イエス様: 愛する僕よ、あなたは既にこの場所を何度も見えています。あなたは頻繁にこの場所を訪れ、痛めつけられました。あなたが苦しめられている間にあなたを見るのがどんなに困難か知っていますか？あなたとその経験のゆえに多くの魂がここに来なくてすむのです。目を覚ます牧師がたくさんいるでしょう。

さて、わたしはまだ生きている僕にわたしの言葉に耳を傾けてほしいと願っています。わたしは彼らに我が聖なる火のミニストリーに参加してほしいと思っています。この最後の世代に、聖なる火の力を通してミニストリーを行わなければなりません。しかしそこから出てくるものは多くありません。わたしは今わたしの民とイスラエルを回復する機会を与えています。わたしは彼らが聖霊運動のミニストリーを導くことを願っています。わたしの願いはあなた方一人ひとりがミニストリーを導くにあたって地獄を目撃することです。しかし多くの人が疑いを持っています。キム牧師、あなたはわたしが述べたことを書き記さなければなりません。

キム牧師: 主よ、あなたはなぜわたしを火の中に置き、炭の上で燃やされたのですか？それはやりすぎでしょう！しかも一度ではなく何度もですよ！

イエス様: はははは、キム牧師、それらすべては神のご計画に含まれていて、あなたは経験しなければならないのです。しかしあなたが経験したことを人々に宣言したとしても、彼らは信じないでしょう！あなたは既に身内のものですらあなたを完全に信じていないことを知っているはずですよ。彼らはまだ疑っています。これは非常に残念なことです。わたしは多くの魂が経験して知ることを願っていますが、彼らは天国と地獄から程遠いのです。

キム牧師: 主よ、あなたはなぜ私を地獄のバイキングのところに連れて行かれたのですか？とても恐ろしかったです。私の全身は小さく切り刻まれました。私は痛み苦しみに死ぬかと思いましたよ。主よ、もうこのようなことを続けることはできません。あまりにも困難です。もう私を地獄に連れて行かないでください。おできになりますか？

イエス様: はい、キム牧師、我が愛する息子よ。わたしはそれがどれほど困難であるかよく知っています。しかしあなたには成し遂げなければならない使命があります。あなたは地獄の情報を公開しなければなりません。わたしにできることは何もありません。しかし、わたしはあなたに計り知れない力を与え、あなたを用いましょう。だから他の人が何を言おうと気にしてはいけません。あなたの状況を思い煩ってはなりません。わたしがいつでもあなたを守ります。あなたは天国に置いてとてつもなく大きい報酬を得るでしょう。

牧師や他のリーダーたちは人々の関心や見方に従っています。彼らは理性に導かれています。集まっては人々の見方という問題に焦点が当てられ議論が行われています。彼らは教会政治と人気に基づいて決定をします。彼らは政治的に正しくなるのです。

彼らが神の名によって集まっていると主張したとしても、彼らの最終的な結果はいつも人々の関心にあります。わたしは彼らを見るととても心が痛みます。彼らはわたしの本当の意志を行ってはいないのです。去って行った子供をいつまでも

待つ親の心のように、わたしは彼らが戻って来て悔い改めるのを待っています。彼らは牧師の商人になってしまいました。彼らは説教を売り買いしているのです。

キム牧師: 主よ、あなたは説教を売買している牧師をまだお許しになるのですか？ そうでないのなら、お裁きになるのですか？

イエス様: 我が愛する僕よ、あなたはどのようにしてそんなに早まるのですか？ あなたは基礎的な論理で理解しようとし、単に白黒で判断しようとしています。注意深くわたしの言葉を聞きなさい。愛する息子よ、それらはわたしが作ったルールや伝統ではありません。そのようなルールや伝統は人間が自分の都合で作ったものです。過去に、人間の伝統のために改革が行われました。どうしてその前のことを実践するのでしょうか？ それらのルールや伝統はわたしが作ったものではないので、議論する価値もありません。父、聖霊、そしてわたしは全く喜んでいません。なぜその人々は自分の会衆を圧迫するのでしょうか？ 貧しい人々はどうなるのでしょうか？

キム牧師: 主よ、ありがとうございます。愛する主よ、聖なる燃える火のバプテスマはどのように世界中に広がるのですか？

イエス様: すぐに、あなた方は皆自分自身の目でそれが確立するのを目撃するでしょう。春に丘の上で点火する小さな火花のように、炎は急速に広がります。それが消えた時にも燃え残りが消えることなく広がり続け、さらなる火を生み出します。聖霊は神を心から待ち望み飢え渴いている全ての教会、全てのリーダーに注がれるでしょう。聖霊は牧師、平信徒、そして最後の世代の若い魂にさえも注がれます。キム牧師、あなたを通して火のミニストリーは絶えず点火されるでしょう。多くの悔い改め、統合、変化が起こるでしょう。しかし、それはそのことを真実として開かれた心で受け取る人々に限られます。わたしは彼らを力強い器として、また通り管として用います。そしてまた逆に、多くの人が信じずにあなたを追放するでしょう。

多くの魂がわたしの弟子になろうと熱心に学び、準備しています。しかし最後の訓練は死ぬことです。死のない弟子訓練は空虚なものです。それはこだまの音のように空虚なものなのです。

終わりの時代はとても悪いので、人々は自分自身の目で目撃しない限り信じようとしません。父、聖霊、そしてわたしは人の考え方をよく知っているので、わたしたちが彼らの霊の内で真実生きていることを示すために聖霊の力を与えます。信者を含めて、世界の多くの人々は外的な方法に基づいて信じているかどうか見られます。しかし、心を見ると彼らは本当は主に対して不適切な信仰生活を行っているのです。多くの人が神に受け入れられない生活をしているので、父、聖霊、そしてわたしは、聖なる火を通してわたしたちが真実生ける神であるという証拠を示しているのです。

キム牧師: 愛する主よ、私は炎のミニストリーに携わっている多くの人がでっちあげをしていることを知って驚いています。彼らは偽りの聖なる踊りを作っています。主よ、あなたは偽りを見抜くために私たちを用いてこられました。あなたは私たちのような弱い僕たちを用いてこられました。三位一体の神から与えられた力強い聖なる火を通して、多くの偽りの僕が明らかにされました。

韓国の教会には偽りの聖なる火のミニストリー、偽りの預言、偽りの賜物などがあまりにもたくさんあります。私は混乱していてどうしたらいいのかわかりません。実際、彼らの中には自分たちの偽りの主張について日刊新聞で頻繁に宣伝している者たちもいます。彼らは無知なクリスチャンたちを誘惑しています。私は起こっていることをどのように受け入れたらよいのでしょうか？ このことを止めるために私にはなにができますか？ 主よ、あなたは何を指示なさいますか？

イエス様:わたしと親しい霊的関係を持っている人々は見分け、知ることができます。人間の知識を用いる人々や霊的な目に見える現象を追い求めている人々に対して、わたしはわたしが生ける神であるという証拠を見せます。しかし秘密の場所で誠実にわたしに出会った人々は見分けて知ることができるのです。今全てのことをあなたに語ることはできません。しかし、この終わりの時代におけるわたしの完全な福音のミニストリーのために、わたしは世に示そうと計画している全てを徐々に明らかにしていきます。

キム牧師:私の頭に触っているのは誰ですか？

聖霊様:それはわたし、あなたを愛している聖霊です。いつでもあなたの傍にいたのはあなたの神です。わたしがあなたの心の中を最も小さな動きまで見ている神です。わたしはあなたを非常に愛おしく見えています。

キム牧師:愛する主よ、聖霊様、ありがとうございます。私が3巻に記した天国の秘密の部屋を訪れた時、父なる神やハウエが私にあって下さいました。彼は私が理解し、臨在を感じることでご自身を現わして下さいました。私はその部屋をもう一度訪問したいのです。ひょっとしたら、もう一度連れて行って下さるのでしょうか？

イエス様:今あなたをそこに連れていく計画はありません。今日書くことを書き終わったらわたしたちはできるだけ早く地獄を訪問しなければなりません。準備はいいですか？

キム牧師:イエス様、私と一緒にリバイバル集会を行った教会の多くが集会の後熱烈に祈っていました。しかし数カ月後、彼らは試練に勝利することができず、危機を乗り越えることができませんでした。次第に間違った道へ堕ちて行ってしまった教会もあります。主よ、私はどうするべきでしょうか？

私たちの教会を訪れて動機が汚れてしまった人々がいます。さらに、5冊の炎の本を読んでいる間に霊の目が開かれた人々もいます。ある程度の期間私たちの教会に出席していた人々もいます。これら全てのグループの中にも大きな問題が起こっています。主よ、このことについてはどう思われますか？

イエス様:愛する僕よ、あなたはとても敏感ですね。わたしはあなたにわたしのよな心を持って全ての魂を抱いてほしいと願っています。今、彼らがあなたの裏で悪いうわさ話や陰口を言い、彼らの過ちが明らかになったとしても、それにそんなに関心を寄せてはいけません。もしそのことにあまりに関心を向けるなら、あなたは大きなミニストリーを行うことはできません。最も重要なことはわたしがあなたを選び、あなたを任命したということです。あなたはたくさん訓練を受けました。今もこれからも色々な人が従ってくるでしょう。わたしはあなたに多くの魂を送ります。彼らは自発的にやって来るでしょう。他人の意志で来る人もいます。あなたを痛め、傷つける人もいます。

我が僕よ、たとえわたしが彼らにあなたがミニストリーを行うに当たってあなたと共に歩むように望んだとしても、彼らの中にはあなたを裏切る人やあなたを利用しようとする人も出てくるでしょう。あなたは初めから自分の心を全てさらけ出すのではなく、上手に彼らを見分けなければなりません。彼らの過ちが明らかになったとしても、彼らを愛によって教え、余分なものを取り除いて主の軍隊としなさい。

キム牧師:主よ、もし人々が私たちのところに戻って来て問題を起こし続けたらどうでしょうか？その時はどうすればいいのですか？

イエス様: 少なくとも彼らはあなたのもとに戻ってきたのです。そのことを感謝しなさい。しかし、戻ってこない魂たちもいるでしょう。去って行った人たちは互いに集まって連絡を取り合うようになるでしょう。しかし彼らの心の中には既に分裂があります。それからいくらしもないうちに彼らは孤独を感じるでしょう。彼らはさまよい回り、最終的には一斉に戻って来るでしょう。あなたは情け深く彼らのために祈り続け、彼らを抱いてあげなければなりません。愛する僕よ、いいですか？わたしの言っていることを理解しなさい。わたしはあなたを最後まで信用しています。わたしがあなたを抱いたように、幼い子供を愛して育てるように彼らを抱いてあげなさい。わたしはあなたに彼らが痛まなくて済むように彼らの傷を包帯で巻いてあげてくれることを願っています。

* 離れてしまった人々

私は去って行ってしまった教会員について話したいと思います。最初に教会員たちが霊の目を開かれた時、ペク・ボンニョ姉妹は最初から私たちと共にいました。しかし、彼女は外の教会の一人の男性のゆえに去って行きました。彼らは誘惑しあい、惑わしあいました。今、彼らは二人とも田舎のどこかにいます。ペク・ボンニョ姉妹が去って行った一番の理由は従うことを拒み、霊を識別することを拒んだからです。

多くの人々は霊の目が開かれた時に聖霊だけが働いているという間違っただけの理解をしています。結果的に大きな過ちが生じうのです。ひとたび霊の目が開かれてミニストリーを始めたならば、悪霊は容赦なく攻撃してきます。魔術の霊、惑わしの霊、混乱の霊が狂ったように襲いかかって来ます。その悪霊たちはイエス様の様々な姿に変装するでしょう。私たちが悪霊を見分けることをしないならば、致命的な過ちを犯すこととなります。その結果は明らかであり、多くの魂を誤った方向に導くことになってしまうでしょう。

ハークスはペク・ボンニョ姉妹が彼の母親だと言う理由だけで彼女に付いて行きました。しかし彼が母親のために教会を出ていく時に彼の霊の目は閉ざされました。彼は最終的には母親に何も言わずに主の教会に戻って来ました。彼が主の教会に戻ってくるといつでも霊の目が回復されましたが、母親のところに戻るとまた霊の目が閉ざされました。彼は同じことを三回繰り返しました。彼が戻って来る度に、彼は悪霊に重くのしかかられました。

結論は自分でも明らかです。私の息子と主の教会の家族たちは強い悪魔がイエス様だと偽ってペク・ボンニョ姉妹の中に座っているのを見つけていました。その強い悪魔は最上位で、またの名を目に見えない悪魔、天使の悪魔と呼ばれるものでした。その悪魔はイエス様の姿で彼女を支配していました。私は彼女の孫娘であるミーナがどこにいるのかわかりません。彼女は孤児院にいます。ペク・ボンニョ姉妹はついに誰かの結婚関係と家族を破壊しました。

一体どうして天国と地獄を訪問した人にこんなことができるのでしょうか？このできごとは長い間私を疲れ果てさせました。この出来事は実際私の人生における重荷でした。

私が主に「主よ、主よ、どうしてこんなことが起こるのですか？私は涙と祈りを持って彼らをケアしてきました。私は彼らの魂を心から気の毒に思っています。私はどうしたらいいのですか？」と尋ねた時、主は涙を流しながら最後まで耐え忍んで彼らのために祈り続けなさいと語られました。ペク・ボンニョ姉妹の家族の内、ハークス兄弟だけが留まりました。彼は霊的な訓練を続けるうちに、しっかりと自分の立場を守るようになりました。

ある時、ウルサン市からある家族が主の教会を訪れました。2年生か3年生くらいに見える幼い少女が預言をしました。彼女も霊の目が開かれていました。この家族は娘の霊的覚醒が聖霊からのものなのか見分けたいと願っていました。私たちの教会員が彼女を見ると、イエス様の姿に変装した悪魔が現れました。その悪魔が彼女を支配していました。その

悪魔はイエス様そっくりに模倣していました。私たちが彼らに説明すると、彼らはひどく取り乱しました。彼らはその時ただ去って行きました。両親は基本的な聖書知識を持っていました。彼らは基本的な聖書知識で識別することができたにも関わらず、そうしませんでした。彼らは盲目的に娘の言葉を信じたのです。

モクポ市から来た別の家族も同じような状況でした。もちろん、私は両親が子供の霊的な経験が神からのものであると信じたいということを知っています。しかし正しくないものは正しくないのです。それは私の子供たちジョセフとジュンを含めて皆同じです。私たちはみんな同じ危険をはらんでいます。私は子供たちを神の御言葉を入念に読み、毎日祈るように訓練してきました。私はさらに彼らに神の力と御言葉を用い、霊を見分けるよう訓練してきました。

ペク・ボンニョ姉妹の場合、私は彼女に識別と信仰の訓練をしてきました。しかし、彼女は墮落してしまい、最終的には神性、すなわち三位一体の神について間違った理解をしてしまいました。彼女は父なる神は義理の父の役割をし、イエス様が彼女の夫なのだと言いました。ペク・ボンニョ姉妹は自分とイエス様との関係は地上の定義における結婚と同じように夫婦なのだとしつこく言い張りました。さらに、彼女はばかげたことを話しました。彼女はイスラエルの民がモーセと共に紅海を渡った時、エジプトの軍隊はボートに乗って追いかけてきたと言いました。主の教会のメンバーたちが彼女を評価する時、悪霊がこの墮落をもたらしたということは明らかでした。悪霊が現れると、ペク・ボンニョ姉妹は逃げ出すことを決めました。彼女は墮落してしまい、今日にいたるまで悔い改めに来ていません。

ほとんどの人々は預言、霊的視力、夢といった霊的賜物に激しく引き付けられます。実際、彼らはこれらの賜物のためになら死んでもいいと思うほどでしょう。ある人々は「主の教会が知っている唯一のことは賜物を受け取り、霊にあって踊り、悪霊を追い出すことだ」という皮肉な批評をしています。しかし、それは真実ではありません。主の教会はいつもバランスと調和のとれたミニストリーを導いてきました。私の個人的な見解では私たちのように日曜日を聖なる日として守り、神の言葉をしっかり守っている教会はまれだと思います。私たちは完全に日曜日を聖なる日として守ることで安息日の聖さを守っています。私たちは日曜日に個人的にお金を使うことを一切禁止しています。それでも私たちはこのことを誇るつもりはありません。私たちはそのことを鼻にかけはしません。そうではなくて、私たちが他の教会やクリスチャンが日曜日の聖さを守らないのを見る時、主の心を持って彼らのためにとりなすのです。私たちは彼らを責めたりはしません。私たちは実際彼らに憐みの心を持ち、いつの日か日曜日を聖なる日として守ってくれるように切に願っているのです。

キム牧師:愛する主よ、私がリバイバル集会を導いた教会から来た人々や私たちの教会で霊の目を開かれた人々の中に間違ったことを言っている人々がいます。私は彼らがそんなことを言っているのは霊的識別が適切にできていないからだだと思います。さらに、彼らは天使にも男性、女性という性別があると言っています。彼らはまた父なる神は男性だと信じています。誰かが彼らにどこで霊的視力を得たのかと尋ねると、彼らは主の教会で霊の目が開かれたと言います。彼らは私たち主の教会での彼らの誤った神学や信仰について非難しているのです。

愛する主よ、私は霊的識別のために現実的な解決や計画を考えなければならないと思います。主よ、どうか私により解決を与えて下さい。どうか韓国の教会や賜物を受けた人々が混乱しないように私にアドバイスを与えて下さい。

イエス様:いいでしょう。人々の肉の体が成長しても、完全な安定や成熟には到達することができません。彼らは幼い子供のようにバクテリアやウイルスにさらされたら病気にかかりやすいのです。霊的賜物を受けた多くの僕が悪魔に傷を負わされてきました。バクテリアやウイルスは霊の領域における悪魔に似ています。キム牧師、あなたはこれらの問題を見て、このことを敏感に察知しました。キム牧師、自分の力でなんとかしようとするのはやめなさい！あなたの霊的なミニストリーの中で生じる欠陥を自分の考えで埋め合わせようとするのはやめなさい。あなたがそうしようとするとたくさんの副

作用が起きるでしょう。たとえ彼らが惑わしの霊を持っていて墮落してしまうとしても、彼ら自身が自分で犯した過ちを通して墮落してしまったということを悟るでしょう。

地上の全ての問題や霊的な事件は神によって取り扱われます。だから、あなたの仕事はあなたに任せたミニストリーを果たすことです。その仕事を、神を待ち望み愛する心を持って行いなさい。全ての人に触れ、支配し、成長させるのは神です。あなたは愛の心を持って彼らの側に立ってとりなしをしなければなりません。彼らを抱き、彼らの過ちを見逃してあげなさい。

キム牧師:アーメン、主よ、感謝します。愛する主よ、私には本当にたくさんの悩みがあります。私たちが人々から悪霊を追い出していないと言う人々がいます。私たちが悪霊追い出しをする時、唸り声を出したり、吐いたり、げっぷをしたりして悪霊を出すことがあります。しかし、この方法は必要でないという人々がいるのです。もし彼らが正しいのなら、私たちはいつまでこのような悪霊追い出しのミニストリーを続けなければならないのでしょうか？

イエス様:あなたの観点が信仰によって生じる時、それはとても重要なことです。あなたのミニストリーはわたしによって与えられました。だから、そのようなことに関心を持たず、耐え忍びなさい。この種のミニストリーは自分自身の決定で誰でもできるというものではありません。悪霊の正体は力強い祈りを通してしか暴露されることはありません。議論をして疑いを持つ人々は自分のプライドや他人に対する判断に基づいて自分自身の基準を作っているのです。彼らにはあなたのように祈る能力はありません。彼らは自分自身の正当化や論理に落ちて行ってしまいました。さらに、彼らはあなたの地位に嫉妬し脅かされたと感じているので妥協しようとしています。キム牧師、あなたはこのことを理解しているでしょう？あなたは癒された多くの哀れな魂を知っていますね。他人がどう言おうと気にしてはいけません。わたしは人々が単に同じようなミニストリーをしているからと言って他人を批判したり裁いたりするのを楽しみません。彼らは最終的には大いなる裁きの中に落ちていくことになるでしょう。

キム牧師:愛する主よ、あなたはどのようにして牧師たちをそんなに厳しく取り扱われるのですか？多くの牧師たちは炎の本を読んでとても心配しています。主よ、牧師が平信徒に戻ることは可能なのですか？

イエス様:それはできません。牧師は魂を導くリーダーです。彼らが墮落してしまったら彼らの下にいる魂たちはどうなるのでしょうか？多くの牧師たちはメガチャーチの牧師なのか小さい教会の牧師なのかという優劣のために戦っています。結果として、牧師たちは互いに非難しあい、見下しあい、裁き合っているのです。わたしは僕として定め、油を注いだ牧師たちを厳しく、完全に取り扱います。だから、牧師になる運命にある人々はいつも気をつけて歩み、自分自身を見極めなければなりません。彼らは自分自身を固く守り、自分が墮落してしまう可能性があると言うことを認識していなければなりません。牧師が誤った方向に行った時、彼らは厳しい裁きを受けるでしょう。多くの牧師が犯すよくある間違いは主の日を不明確にすることです。彼らは道義に反する行いをたくさんします。わたしは彼らが不法行為をしているのをよく知っています。彼らはまた異言で話す私の民を迫害しています。彼らは「どうしてわかりもしないのに教会で異言で大声で話すのか？」と言います。彼らはわたしの賜物の重要性や価値を理解していません。彼らはわたしと聖霊を求めていると言ってわたしをばかにしているのです。彼らは有限であり、自分自身の判断基準しか知りません。聖霊を拒絶する人々は大きな裁きを受けることになります。

キム牧師:愛する主よ、結論として私たちに最後のお言葉をください。

イエス様:我が愛する民とわたしの声を聞きたいと願っている人々よ、多くの人々は主を求めていると言っています。しかし彼らの頭は知識で満ちてしまっています。彼らの生活は変わっておらず、それは固まった化石のようです。彼らはわた

しの御言葉が彼らの内で生きていますと言っていますが、彼らの思想や知識があまりにも凝り固まっているので変わることも柔らかくなることもないのです。どうか自分自身を見極め、自分が変化できない状態になっていないか確かめなさい。

わたしはあなたにわたしの愛を唇ではなく心で感じてほしいのです。大切なことはたくさんあり、それらはみんな貴重ですが、わたしがあなたから望んでいることは心にキリストの愛を持つことです。外見がどうであるということから語ってはなりません。聞いたことで判断しないようにしなさい。

愛する民たちよ、幼い未熟な子どもたちがたくさんいます。彼らは溶かしたミルクしか飲むことができない人々です。彼らにはたくさんの不十分な点があり、過ちをたくさん犯します。しかしわたしは彼らをも愛しているのです。彼らを愛して弱さを見逃してあげなさい。あなた方はもっと彼らに仕え互いに一つになりなさい。互いに裁きあったり中傷しあったりするのではなく、互いの欠点を支えあえる人になってほしいのです。あなた方が天国に到達するためには、多くの世的なあるいは霊的な試練に打ち勝たなければなりません。その戦いに勝つことができなければ固く立つことは困難でしょう。

今から後、わたしはあなた方の霊が明るい光となるように切に願います。もし人の霊が暗くなってしまったら、その人の目もまた暗くなってしまいうでしょう。結果として、その人は自分が見聞きできるのかすら認識できなくなってしまうでしょう。わたしはあなた方に霊的な真理と光を通して自分自身を照らしてほしいと願っています。わたしはあなた方に自分の状況や立場を判断し、自分がどこに立っているのか知ってほしいと思っています。愛する民たちよ、この終わりの時に聖霊の力を身に帯びないならば、あなた方はむさぼり食らうライオンのような多くの暗黒の悪霊たちのえじきになり、彼らの容赦ない弓矢の標的となってしまいうでしょう。あなた方は自分の心を罪から守らなければなりません。

あなたが自分の心や考えを罪に対して開かなければサタンはあなたの自由意思に入り込むことはできません。だから、選択や決断をする時にはより注意深くしてほしいのです。

兄弟たちよ。あなたがたにお願いします。あなたがたの間で労苦し、主にあつてあなたがたを指導し、訓戒している人々を認めなさい。その務めのゆえに、愛をもって深い尊敬を払いなさい。お互いの間に平和を保ちなさい。兄弟たち。あなたがたに勧告します。気ままな者を戒め、小心な者を励まし、弱い者を助け、すべての人に対して寛容でありなさい。だれも悪をもって悪に報いないように気をつけ、お互いの間で、またすべての人に対して、いつも善を行なうよう務めなさい。いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあつて神があなたがたに望んでおられることです。御霊を消してはなりません。預言をないがしろにしてはいけません。すべてのことを見分けて、ほんとうに良いものを堅く守りなさい。悪はどんな悪でも避けなさい。平和の神ご自身が、あなたがたを全く聖なるものとしてくださいますように。主イエス・キリストの来臨のとき、責められるところのないように、あなたがたの霊、たましい、からだを完全に守られますように。あなたがたを召された方は真実ですから、きっとそのことをして下さいます。兄弟たち。私たちのためにも祈ってください。すべての兄弟たちに、聖なる口づけをもってあいさつをなさい。この手紙がすべての兄弟たちに読まれるように、主によって命じます。私たちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがたとともにありますように。（ I テサロニケ5: 12-28）

第3章

* 聖なる燃える火のバプテスマを経験すること

事例1-アメリカ、エバディン教会のチェ・ウンキュ牧師の証

私が証をする前に、この証を読む皆さんに私たちの霊的信仰の基準は神の御言葉であり、イエス・キリストが中心であるということをお願いしたいと思います。もし私たちが経験的な信仰をキリストの前に置くなら、私たちは経験主義に陥って信仰はゆがめられてしまいます。少しお話したいと思います。キリストから離れていく人は誰でも最終的にはカルトになるか墮落するかしてしまうでしょう。結果として、彼らの賜物、経験、他の特別な保有財産や思想は無用の長物となってしまいます。だから、私はこれらの証は決して聖書、またキリストの上に位置するものではないということをはっきりさせたいのです。それは神の御言葉全体が真実であるということを示す道具にすぎないのです。

* 光州市に行く

私の母が突然私に光州に行くようにと言いました。それは2007年2月20日の午前5時のことでした。アメリカの韓国人教会として、私たちはたいてい早天祈禱会を午前6時に始めていました。

私は教会で日曜礼拝の導きを終えた後、母親を訪ねてタコマに行きました。私と私の姉妹たちは母の家に泊まりました。その日は火曜日で、私は朝早く起きて母親の家の近くで行われる早天礼拝の準備をしていました。母はリビングで寝ていたので私は彼女を起こさないようにつま先立ちで歩かなければなりません。外に出るためにはリビングを通り抜けなければなりません。私がそっと歩いていると、母が突然上半身をまっすぐに起こしました。彼女は目を閉じたまま「光州に行きなさい！」と言いました。私の母は耳が遠く、私がつま先立ちでリビングを横切る音を聞いていたはずがありませんでした。しかし彼女がその言葉を言った時、私はちょうど彼女の真横を通り過ぎるところでした。私はとても驚きました。

「お母さん、どういう意味ですか？」

「わからないわ。誰かが私の耳にそう言って、私は自分の唇が動いていても何を叫んでいるのかわからなかったのよ。」

私はリー・ヒュンスク牧師が導いておられるタコマ韓国中央長老教会に着いた時、早朝の経験から自分を落ち着かせようとしていました。讃美歌を歌っても、祈っても、説教を聞いても、私の頭には1つのことしかありませんでした。「光州に行きなさい。」私には他の考えが入り込む余地がありませんでした。それに関らず、その間私は自分のミニストリーのことでもとても心配していました。私の当時のミニストリーには流れがなく、どこにも行けない状態でした。さらに私は繰り返し見る夢で苦しんでいました。私の目下の状況や立場は私の人生に対する御心は何なのか絶えず神に求めることでした。

私とその教会に出席したのと同じ日に、姉のグレイスが私に『燃える火によるバプテスマ』シリーズの3冊をくれました。私は全てを一気に読み切りました。私は思いました。「もしこれが本当なら、私のミニストリーを開く方法は他にない。私のミニストリーは困難と危機の中にあつた。そのうち破りは祈りを通して来るはずだ。毎日一日中祈り続けられるようなこの牧師は一体誰なんだ？この祈り会は一晩中続いている。この力強い祈りは悪霊と戦っている。こんなに激しい祈りがあるのか？」

その日以来、私は早朝のQTの時間を教会で祈るために用いるようになりました。私の早朝の時間は午前2時でした。私は光州に行けと言うのが神から来たものなのかどうか何が何でもはっきり知らなければなりません。私は神に尋ねました。「父なる神様、私はどこに行くのですか？父なる神様、あなたは私に何をしてほしいのですか？」私は何が何でも答えを受け取る必要がありました。私は約一カ月間この2つの質問のために祈りました。私が祈っている間に、私はまた悪霊と戦わなければなりません。その悪霊たちは私の首を絞めて攻撃してきました。そして3月12日、姉は私に炎の本の第4巻をくれました。

私は全ての本を1週間以内で読み終えました。私は夜の時間のほとんどを本を読むことに費やし、何度も読み返しました。3つの疑問が浮かびました。一つ目の疑問は『キム牧師はどんな人なのだろうか？』。二つ目は『この本の中で描写されている聖霊の力は正当なもので本当に存在するのだろうか？』。最後は『もしこれらが全部真実であるなら、私は自分自身や私のミニストリーにそれをどのように適用するべきなのだろうか？』というものでした。

私の証の前に、この疑問の答えを語らせて下さい。キム牧師は神の忠実で誠実な僕です。この本に述べられている聖霊の力は全て正当なものです。私は自分の経験と主の教会を訪れた時に見たことを通してそれが真実であるということを確認します。

その本を読んでも私は彼らの賜物や経験に対して嫉妬を感じることはありません。私が最もうらやましく思うことはキム牧師と主の教会のメンバーたちが祈りを通して毎日主と親しい関係を持っているということです。

私は「彼らの神様との関係についてそんなにうらやましく思っているなら、見に行ってみて学んでこればいいじゃないか」と思いました。私はキム牧師に会ってみたいと切に願いました。私は彼が神様とあのような親しい関係を持っていることをとてもうらやましく思いました。私もまた自分の祈りに明確に答えていただく必要がありました。私は母の言ったことと本の内容が真実かどうか確認する必要のために行かなければなりません。3月27日、私は旅行代理店に行きチケットを予約しました。私は自分の内側から受け取った強い印象に基づいて決断をしました。

「キム牧師先生でいらっしゃいますか？私はアメリカのワシントンにあるエバディン韓国教会を牧会しているチェ・ウンキュと申します。よろしければ、あなたの教会を訪問させていただき、真剣に霊的訓練をさせていただきたいのです。許可していただけますか？」

キム牧師は「許可を取る必要なんてありませんよ。どうぞいらしてください。歓迎します！」と答えて下さいました。これが私たちが電話越しに交わした最初の会話です。

私は4月11日に韓国のインチョン国際空港に到着しました。私は主の教会に10時半頃に着きました。教会に入るや否や、私は聖霊様の強いエネルギーを感じました。教会の大きさは約20坪しかありませんでした。教会員の方がすぐに私のところに来て靴を持って中に招いて下さいました。

私は左側の一番後ろの席に座りました。誰かが私に近づいてきて3冊の讃美歌集を手渡してくれました。講壇の上で目の小さいキム・ヨンドウ牧師が讃美歌を歌いながら踊っているのが見えました。速いテンポの曲でした。牧師の前では6人の若者が踊っていました。牧師先生は電子ピアノを使って礼拝を導いておられました。ドラムをたたいている人もいました。その礼拝は私がそれまで経験したことのあるどの礼拝とも異なっていました。しかし不思議なことに、私はすぐにそのユニークな礼拝がよくわかったのです。少し経つと、私は熱烈に手をたたきながら彼らの礼拝方法に従っていました。私は自分が彼らの霊的訓練に順応しているのを見ることができました。

私が礼拝に参加し始めてから1時間半余りが経過しました。私たちは大体25〜30曲の賛美を歌ったと思います。賛美には早いテンポの曲があり、一息つく間もありませんでした。讚美歌はイエス様の血、悔い改め、感謝、賛美、聖霊を待ち望むこと、私たちの使命などについてのものでした。2時間が経過し、深夜になっていました。

12時15分頃、牧師先生はついに説教を始めました。彼は聖書箇所を読んで説教を始めました。説教は一時間半くらい続きました。彼の説教の内容は、信仰は行動によって裏付けられる必要があるというものでした。彼は力強い説教をしながら、時々思いもしないようなユーモラスでユニークなジェスチャーをして会衆は皆大笑いしました。私は自分も他の人たちと一緒に笑って同化していました。

説教の後、私たちは主の祈りで礼拝を閉じました。それから15分くらい休憩時間をとりました。休憩時間の間に私は他の人たちに自己紹介をしました。私以外にも訪問者がたくさんいました。プサン、グンサン、クアンジュ、ロサンゼルスなどから来た人たちもいました。自己紹介をした後、キム牧師と奥さんが講壇に上がられました。キム牧師は奥さんのために祈られ、彼女は後ろに戻って行かれました。彼女はそれから新しく来た人々を集め、円にならせました。彼女はそれから私たちに両手を高くあげて手のひらを天井に向けてるように指示しました。彼女はそれから彼女の腕を大きく広げて私たちの周りを回りながら、「聖霊様！私たちの手を動かして下さい！」と叫ぶよう指示しました。彼女は私たちが続けて祈るならその祈りは応えられ、私たちは聖なるダンスをすることができるようになるでしょうと言いました。

確かに少しすると手が動き出す人々がいました。この衝撃的で興味深い出来事の前に、私は自分の心を聖霊様に集中しました。ほんの少しの間に、私は清々しい風を感じました。私はまるで自分の手が川に浸かっている、冷たい水が手から肘まで流れてくるかのように感じました。清々しい風の流れる後にちくちくする感覚が続きました。私は自分が経験したことをどのように表現したらいいのかわかりません。私はかつてこんな経験をしたことがありませんでした。私はとても好奇心がそそられ、質問してみることに決めました。

カン・ヒュンジャ夫人はその賜物は聖霊から与えられたものだと言明して下さいました。その賜物の作用は人によって異なって感じるのです。私の小指が動き出しました。最終的には全ての指がゆっくり動きだしました。その過程は繰り返され、その動きは速くなりました。私の指は要するに踊っていました。わたしの指は余りにも速く踊るので私はその動きについていくことができませんでした。私の指は前後に曲がり、両手が円を描くように振り動かされました。手と指の動きのリズムは秩序のあるものでした。私は祈りを中断して手と指が動いているのを見ました。私は起こっていることを自分の言葉で説明することができませんでした。わたしの思考と感覚は不思議な感じでした。この時午前2時になっていました。わたしの周りの人々は私の指が踊っているのをうらやましがっていました。しかし、私は彼らの聖なるダンスをもっとうらやましく思いました。

牧師先生はそれから私たちを個人の祈りへと導かれました。私たちは祈りの中で叫びました。私は異言の祈りに没頭しました。左手を高く上げ、右手は胸に当てて厳かに祈りました。

初日の夜はあっという間に過ぎて行きました。午前3時頃、キム牧師は講壇から金切り声をあげ苦痛で呻きました。ご夫人はすぐに祈りを中断していくつかの座布団を取って牧師先生の周りに置きました。座布団はキム牧師が床の上で跳ね回ったり、じたばたしたりした時の衝撃を軽減するために彼の下と周りに置かれました。他の教会員たちが牧師先生はかつて何回か自分でけがをしたことがあると教えてくれました。私は後になって地獄を経験している途中だったということを知りました。彼の苦痛の叫び声とうめき声はとてもすさまじいものでした。私は祈りの間にも鼓動が高鳴り、自分を落ち着かせるのに長い時間がかかりました。

「イエス様の尊い血潮を通り、神様のふところへ。イエス様の尊い血潮を通り、父なる神様のふところへ。私は一歩ずつ歩み、神のふところへ向かいます。イエス様の尊い血潮を通して。」

この歌は早天礼拝のテーマソングです。朝教会が始まる時にはいつでもこの歌がオープニング曲として歌われます。キム牧師が地獄での経験を終えると、彼は説教をしようとしていました。しかし、彼の声はとても弱々しくなっていました。他方で彼の説教の内容は非常に力強いものでした。主が彼に語るべきメッセージを与えられました。メッセージは適切に什一献金を治めない人や日曜日の神聖を守らない人についてでした。彼らは最終的に地獄にいるのです。人がイエス様を信じて救われると、その人の信仰は完全にされます。完全な救いをもたらす信仰は真実な信仰です。もしその人が墮落している、あるいは後に墮落してしまうならば彼らの信仰は本物ではありません。最後の裁きの風が吹く時、枯れた空の麦や毒麦のように吹き飛ばされてしまう信仰は本物の信仰とはみなされません。私は他の何よりも主を愛し、例え死ななければならないとしても主の命令に従わなければならないのです。私は彼の説教に非常に感銘を受けました。その礼拝と牧師先生の地獄への訪問の後、彼は聖霊様からさらなる力を与えられました。牧師先生は力を奥さんと特定の賜物を受け取っている特定の教会員たちに分け与えました。その夜が私の 18 日間私がこの教会で霊的に経験するであろう最初の経験でした。

最初の夜が明け、私は一日の初めも終わりも主の教会で迎えるようになりました。私が 18 日間で出会った経験は全て異なっていました。私は聖霊にあって踊り、それは軍隊が日課として行う運動のように見えました。私の動きと異言はマシンガンのように変えられました。私は聖霊にあって踊ると、自分の指先から花火が放たれるのが見えました。その花火は壮麗なものでした。私がかつて見たどんな花火とも比較できませんでした。その花火の火花は鮮やかな 7 色の光輝く宝石でできていました。その色は赤、オレンジ、黄色、緑、青、藍色、紫でした。その鮮やかな 7 色の火花は私の指先から際限なく放出されていました。その宝石が空に届くと、それは爆弾のように破裂して火花が美しく落ちてくるのです。その光景は驚くべきものでした。地上では私たちはダイヤモンドを最も美しい石だと考えています。青いタンザナイトサファイアもまた美しく高価なものだと考えられています。しかし私が幻で見た宝石は私の言葉で表現できる限界よりもっと遥かに美しいものでした。

そこにいる間の経験は決して忘れることはないでしょう。私は花の海に入る経験をしました。私はまた、十字架にかかったイエス様の横に立ち、彼が引き裂かれたところから主の血潮が私の上に注がれました。彼の血潮は私の罪を洗い清めました。加えて、主は私に緑の牧場を見せて下さいました。私は自分の罪を見ましたが、それは山と同じ高さまで積み上げられていました。私は自分の罪を見た時、私は手を外に押し出して主の血と聖なる火を叫びました。私は叫んだときに炎と血が山を貫通するのを見ました。私はまたライオン、雄牛、鷲、ヤギ、そして竜の顔を見ることができました。

私は他の幻も見ました。それは文字でいっぱい大きなスクリーンでした。すると文字は左右に動き始めました。突然その文字は毒蛇の形になりました。蛇の長さは約 3 メートルで太さは私の腕ぐらいでした。蛇は口をあけて私に襲いかかって来ました。私は蛇を聖なる火で倒しました。蛇は何度も聖霊の激しい火を浴びて緑色に変わり、D という文字の形になりました。D の文字がスクリーンに置かれました。主は D という文字が 1 億匹の悪魔でできていると説明されました。主の説明を聞いてから、私は恐怖で身震いしました。私は 1 匹の悪魔と戦うことも大変だと知っていました。1 匹の悪魔でさえ強力なのです。1 億匹の悪魔と聞いてショックを受けないはずがあるでしょうか？

聖霊様は私に人が罪を犯した時、私たちは悪霊たちに法的基盤を与えてしまったのだと説明されました。1 億匹の悪霊が私たちの体に入り込み住み着くことがあり得るのです。だから、聖霊様はそれが私たちがすぐに悔い改めなければならない理由なのだを教えて下さいました。

さらに、私はキム・ヨンドゥー牧師と一緒にある経験をしました。私は彼と共に地獄を経験することができたのです。キム牧師が地獄にいる時、彼の肉を食べている虫がいました。彼は様々な種類の虫に苦しめられていました。彼がそのことを経験している間私は彼の横に座っていたので、私も同時に肉体的苦痛を味わいました。私は虫が私の体の右側をかかとかから首まで食べているのを感じることができました。私はまた十字架に架けられました。さらに私は他の幻も見ました。無数の悪霊が巨大な売春婦の口から流れ出ていました。私は悪霊たちと戦う時、私の体から突き出た巨大な毒の棘を用いました。その棘は数え切れないほどでした。私は初め聖なる毒の棘が何なのかかわからず、髪の毛の一種だろと思っていました。そのため、私は毒の髪の毛と叫びました。聖霊様はもっと近くではっきりとした毒の棘の様子を見せて下さり、それで私は自分の理解を正し、毒の棘と叫びました。

毒の棘はクリスチャンだけが持つことのできる霊的武器です。私たちが祈りの間に悪霊たちと戦う時、聖霊は私たちの唇や手に棘を与えて下さいます。その毒の棘はすさまじい破壊力を持っています。私は悪霊たちが毒のとげに当たるとばらばらになってしまうのを目撃しました。私は聖霊様に与えられて様々な出来事を経験しました。私は地獄の火から発せられる激しい熱すら経験させていただきました。

ある礼拝の間に、知り合いではない 1 人の兄弟が倒れ始めました。私は彼が倒れないように掴みました。しかし私が彼を掴んだ時、彼の中にいた悪霊が私の左手に飛び乗って来ました。私の左手はたちまち硬直し、動かすことができなくなりました。私は悪霊が自分から離れるように 1 時間にわたって叫び祈らなければなりません。その悪霊が追い出されると、私は普通に帰ることができました。執事であるチュン兄弟もそこを訪れており、私はしばしば彼が揺れているのを目撃しました。主はスウォン市から出席している姉妹を通して私に語られました。主が彼女を通しておっしゃったことは、私の現在の困難は輝く日々が変わるだろうということでした。その時聖霊様が私の全身に触れられました。

その姉妹を通して主は私に尋ねられました。「**あなたはわたしを本当に知っていますか？**」この質問が私に最も大きな影響を与えました。この質問は私に自分のクリスチャンとしての歩みの全てを分析させました。私の心はその質問に答えようとして深く痛みました。私はその質問について考えると、汗が出て寒気がしました。私は思いました。「私は主をより深く知りたいと願ってきたけれども、私は完全に神の御言葉に従って生きてきたのだろうか？」今日でさえもその質問は私の心の中で繰り返され、私は常に自問し悔い改めています。

人々は肉的なものから霊的なものへと変わらなければなりません。私たちは考え、行動、話し方など全ての部分を変えなければなりません。私たちは地上の人から天国の人へと作り変えられなければなりません。世のことを心配するのではなく、今は霊的領域を願い求めなければなりません。

私の見方によると、キム・ヨンドゥー牧師先生は極めて普通のリーダーで誠実なクリスチャンです。他の多数の人たちとの違いを挙げろと言うならば、私は彼が聖霊様ととても親密な関係を持っていることだと言うでしょう。彼は聖霊様と親しく交わっている有能なリーダーです。彼は 365 日毎晩休みなく徹夜礼拝を行っているのですからどうして聖霊様と親密にならないことがあり得るのでしょうか？

彼について尋ねる人がいます。例えば彼らは「キム牧師は決して徹夜祈禱礼拝を休みません。それは正常なのですか？」私はそのような人々に言いたいのです。私は新しくできた教会の牧師でも、たとえ教会員が少なかったり礼拝堂が空っぽだったりしたとしても、毎晩しっかり休むことができるとは思いません。1万人の教会のリーダーや真実主を愛し関係を築いている牧師だったらどうでしょう？毎晩礼拝し、祈って過ごすことはそんなにおかしなことなのでしょうか？私はそのように言う人々に未熟で嫉妬深い人であるのはやめなさいと言いたいのです。

キム・ヨンドゥー牧師は新しくできた教会の牧師です。彼らは裕福な教会ではありません。実際、彼らは経済的葛藤を抱えています。彼が一晩中祈ることは普通ではないのでしょうか？彼は燃える情熱を持っていて、主ご自身と主のご臨在を切に求めています。むしろ教会が全然進歩していないのに毎晩好きなだけ寝る牧師の方がおかしいではありませんか？

もしリーダーが普通に考えるクリスチャンで経済的に葛藤しているならば、その人は少なくとも預言者エリヤのようにするべきではないのでしょうか？彼は霊的な帯を締めなければなりません。彼は裸足かもしれませんが、他の人が馬車に乗っている間に悪しき人物の前に出ていく決断をしなければなりません。もし実を結ばず、変革の無い人生を生活しているクリスチャンリーダーがいるならば、彼らは裁きを免れることはできないと思います。彼らは怠惰で悪い僕とみなされ、同じ裁きを受けることになるでしょう。一般信徒にとっても、今は主の再臨に備える時です。全てのクリスチャンは祈りを通して目覚めなければなりません。私たちは霊的に用心深くなり、守りを固くして、主の再臨に備える必要があります。私はキム牧師を見て自分自身に語りかけました。

全てのクリスチャンは悪霊たちに立ち向かって戦うように呼ばれた聖なる兵士です。私たちは兵士として常に警戒していなければなりません。私たちは最前列の見張り人なのです。私たちは自分にゆだねられた責任を果たさなければなりません。実際、キリストの働き人として呼ばれた神の僕(リーダー)たちにはさらにどれだけ多くが求められるのでしょうか！神の僕がさらに大きく、責任を伴う使命を受け取るのは当たり前ではないでしょうか？主は多くを任せた人には多くを求められます。困難な状況にある新しくできた教会の牧師は好きなだけ寝ていながら成長できるなどと期待することはできません。どうして夜の時間をただ寝て浪費することができるのでしょうか！

もし今眠っているとしても、今こそ目覚める時です！あなた方はしっかり目覚めて主の再臨のために自らを準備しているキム牧師のようにならなければなりません。祈りの勇士は責任ある守衛です！さらに、主の再臨の時は差し迫っています！あなた方眠っている守衛たちよ、目を覚ましなさい！今は目覚める時です！世の中の人々やサタンのは私が眠るのを待っています。だからあなたがたは眠い目を大きく見開き、大声で叫んで自分自身を起こさなければなりません。祈り、賛美を歌い、御言葉を読むことで目を覚ましなさい。守衛としての使命を果たそうではありませんか！

実際に一晩中好きなだけ寝すぎているクリスチャンたちと主の教会をカルトだと中傷しているクリスチャンたちに言いたい事です。主の教会は情熱的に主を愛し、毎日夜通しそのことを示しています。私はそのような人々に主の教会を訪れてもらいたいです。主の教会は毎日守り、働くキリストの霊的兵士です。心からの慰めを持って彼らのところに行きなさい。あなた方が彼らを慰めてあげるつもりがないならば彼らの妨害をしない方がいいでしょう。彼らは戦いの中にあり、彼らの使命を果たそうとしているのです。主の教会はこの激しい戦いの最前線の中心にいるのです。

あなた方もまた霊的勇士になるためにこの世に遣わされました。あなた方は兵役を負っています。主の教会の悪いうわさを流す人たち、あなた方は何か疑問があるならすぐにでも主に丁重に尋ねなさい。悪いうわさを流すのは主ご自身に尋ねて確認してからでも遅くないではありませんか。

* 聖なる燃える火によるバプテスマを経験すること

事例2-ゴソン、モクサドン純福音教会のゴン・テモ牧師の証

私たちは神の御言葉が氾濫している時代に生きています。テレビ、インターネット、本、ラジオなどのメディアを通して神の御言葉が溢れています。教派を超えて、どのように説教するかを知らない説教者はいないように思われます。しかし私は1つのことを知っています。聖霊様の現れや御働きは誰にでも起こるわけではないということです。主は私たちが自分自身を捨て完全に主に満たされることなしには私たちを通して働かれないのです。

私は聖霊の御働きと現れを待ち望んでいました。それゆえに、私は聖霊を強調する多くのリバイバル集会に参加することで自分の渇きを満たそうとしました。私はセミナー、会議、その他色々な集いに出席しました。加えて、私は国外にさえ行ったのです。私は強い信仰と聖霊の強力な臨在に対して霊的飢え渇きを持っていました。

2006年7月7日、私はインターネットで数冊の本を購入しました。その本はキム・ヨンドゥー牧師先生によって書かれた『燃える火によるバプテスマ』のシリーズでした。しかし、私はしばらくの間その本を読まずにいました。私はその本を自分の書庫に置いておきました。2007年2月3日土曜日の夜、徹夜祈禱が終わった後、私はその本を読むことにしました。私は「よし、今日この本を読み始めよう」と思って読み始めました。

私は1冊目を読みだしたその瞬間から、純粹にショックを受けました。一体この本に書かれているような教会が存在するのでしょうか。そこは数人のメンバーしかいない小さな教会です。一体どうやってそんなことが起こるのでしょうか？ 私たちはこのようなことは彼らの教会で起こる個人的な経験にすぎないと誤解しがちです。しかし真実に、この本に記述された主の教会で起こっている経験は、霊的戦いからユニークな多くの経験まで聖霊の力強い現れでした。私はその時罪の大きさを悟りました。私は驚き、うらやましく思いました。それは私にとって純粹なショックだったのです。

第1巻を読んで、私はクリスチャンであることの重大さを悟りました。私は自分のミニストリーを標準的な罪の基準を適用して導いてきました。私は様々な罪を犯すことによって大変な結果が生じると言うことを知っていたにもかかわらず、教会員たちに対して非常に緩やかな基準を置いていました。私は信仰の自由についての説教をしすぎていました。私は自由主義的なクリスチャン生活をして問題ないと説教していました。

私自身にも大きな問題がありました。私は日曜日の神聖を守っていなかったのです。私はかつて日曜礼拝の後に買い物をし、教会の庭の手入れをし、レストランで食事をすると行ったことを行っていました。私は自分のミニストリーの中であまりにも自由奔放にしていました。私は教会員に日曜礼拝を欠席してはいけないと説教していましたが、日曜日に働いてはいけないこと、また、釣り、アウトドア活動、世俗的なテレビ番組を見ること、ネットサーフィンをすること、ゲームで遊ぶことなどといった個人的な活動を避けなければならないという強いメッセージはしていませんでした。私はかつて日曜日の神聖を守るという議論を聞いた時にそのようなことは律法主義で福音のメッセージではないと言っていました。

福音が世界にもたらされた後も、律法は廃止されていません。主ご自身がそう仰っています。(マタイ 5: 17-18)

私の教会員の中で、ある人が日曜の午後に釣りに行っていました。私は彼になぜ日曜の午後に釣りに行くのかと尋ねると、彼は伝道するためだと説明しました。彼が伝道したい人は魚が大好きだということです。それで彼は新鮮な魚を捕るために釣りに行っていました。彼が魚を友達に届ける時、彼は伝道の口実を得ることができました。しかし主は彼に日曜日に釣りに行くことを悔い改めさせました。徹夜祈禱会の中で、主は彼が日曜日の神聖を守っておらず、悔い改めなければならないと言うことを明らかにされました。その教会員には伝道するという正当な理由があったけれども、彼はそれでも日曜日の神聖を守っていないということで神を悲しませていたのです。その本を読んでから、教会員も私もこの罪の罫のために永遠の地獄の刑罰を受けなければならないと悟り、悔い改めました。

私は炎のシリーズ 5 冊を午前 3 時まで読み終わりました。私はその時教会に走って行き、自分の今までのミニストリーを振り返りました。私は誤って教えてきた領域がたくさんあることに気づきました。私は魂をいのちへ導いてきた牧師でしたが、実際には間違っただけのために彼らを死へと導いていたのです。私は泣き叫んで悔い改めました。

2007 年 2 月 5 日月曜日、私は主の教会の徹夜祈禱会に参加しました。礼拝が始まる前に、私はとりなしの祈りのチームがいかに力強いかを見ました。私は祈りにおいてそのような力強さを見たことがありませんでした。牧師先生の礼拝は霊的なものでした。彼は主を喜ばせる礼拝を行っていました。牧師先生はユーモラスで気のきいた方でした。私は彼が主を喜ばせるために自分の説教がもっと生き生きとしたものになるよう努力していると分かりました。私は彼がどんなに深く主を愛しているのか見ることができました。カン・ヒュンジャ夫人の聖なる踊りはとても美しいものでした。私はそのような踊りをどこでも見たことはありません。多くの教会員が霊にあつて賛美しながら踊る姿は素晴らしいものでした。

祈りが最高潮に達した時、三位一体の神が共におられました。そのような臨在を今まで感じたことがありませんでした。私はどんなにバイバル集会や礼拝でもそのような臨在を感じたことはなかったのです。祈りの時間は臨在で満ちており、様々な賜物と現象が現れました。私たちは皆力強く叫んでいました。毎日地獄を訪れているキム・ヨンドゥー牧師をとて不思議に思いました。しかし主はその牧師先生を通して私も地獄を経験するように導かれました。私は多くの魂があらゆる罪に問われて地獄に落ちていくのを見ました。

今、私は主のあわれみの心と、主が地獄の恐ろしい現実と証拠を見せようとするのを理解できます。主は私たちに地獄の罰、絶望、痛みの現実を主の教会を通して見せておられるのです。このように主が聖霊様を通して力強い臨在を現わして下さる力強い礼拝に参加するということが最も光栄なことです。私はそれからキム牧師が夜明け頃にウルサン市の執事から悪霊を追い出すのを目の当たりにしました。主の教会での一つ一つの出来事と経験はとても衝撃的でした。それらは聖霊様によって編成された出来事でした。

徹夜祈禱会は午前 6 時まで続きました。私は主の教会のメンバーたちの礼拝と熱烈な祈りを見て、自分の教会もいつかは主の教会のように叫び、熱い礼拝を捧げるようになることを願い、祈りました。水曜日の朝に私は主の教会を出て、午後 6 時頃に自分の教会に着きました。恵みの中で私は水曜礼拝を終えました。私は全教会員がその日の夜から少なくとも 3 日間の徹夜祈禱会に参加しなければならないと宣言しました。私たちは日曜、水曜、金曜に夜の礼拝を持ちます。さらに礼拝に出たい人がいたらその間の曜日にも礼拝に出ることができます。私たちはそれから第 2 祈禱会を始めました。

私たちの教会では、夜の祈りのラリーで悔い改めに専念することを決めました。私たちはあまりにも多くの罪を犯しました。私たちは罪の中にありながら、自分の罪に気づかずにいたため力強く、そして誠実に悔い改めて魂を新たにしなければなりません。私たちが信仰告白をして主を救い主として受け入れていたとしてもです。私たちは主を信じていたましたが、私たちの生活は完全に聖いものではありませんでした。私たちは罪に満ちた習慣から抜け出すことができませんでした。私たちが自分自身を救いだす方法は悔い改めしかありませんでした。私たちの祈りのラリーが始まりました。主の教会と同じように、私たちは自分の罪を告白し、悔い改めました。私たちは祈りながら「聖なる火」と繰り返し叫びました。全教会員が長時間熱烈に祈っていました。私たちは悔い改めの涙を流しながら叫びました。

徹夜祈禱の後、チュル・スーチョ執事が驚くような経験を分かち合ってくれました。彼は肩と足に問題を抱えていたそうです。彼はいつも両肩に重さとしびれを感じていました。また、彼は足の痛みとしびれで夜中に何度も目が覚めていました。しかしその夜の祈りのラリーで彼が悔い改め、「聖なる火」と叫んだ時、2匹の青い顔で長い髪の少女に変装した悪霊が彼の体から出たのです。悪霊が彼の体から出た瞬間、彼は肩の痛みと重さ、しびれが癒されたのです。彼は喜んでジャンプし、驚いていました。彼はそれから足のしびれからも完全に癒されました。

私たちは人生におけるあらゆる問題や妨害は罪と悪霊の働きの結果だということを悟りました。私は教会員がもっと真剣に悔い改めるようにせき立てました。チュルスー・チョー執事は悪霊が出て行って、霊の目が開かれました。彼はそれから多くの霊的な出来事を目撃し、また経験しました。ヨン・ジャンファン婦人執事はめまいのために毎回教会に出席することができませんでした。しかし彼女が徹夜祈禱ラリーの間に悔い改めると、悪霊たちが歯ざりしりしながら彼女の体を去りました。彼女のめまいは完全に癒されました。私はこのような喜びの中にあります。

祈りの焦点は単に悔い改めと癒しにだけ置かれているわけではありません。『燃える火によるバプテスマ』のシリーズを通して、私は信徒たちが再び罪の重大さを悟るように願っています。悔い改め、霊的自由、罪からの解放、病からの自由の福音は私が自分の教会員たちに強調してきたことです。私は自分の教会員たちに熱心に悔い改めるよう助言し、私は彼らのために祈っています。

短い間に、予期せぬことが教会員の1人に起こりました。それは2007年2月18日、韓国の正月のことでした。この教会員は高校生で、ちょうど卒業して大学に入学するところでした。その学生は賛美チームでドラムを担当しており、日曜学校でも仕えていました。その事件が起こった日、彼は日曜礼拝でドラムをたたいていました。礼拝の後、一緒に食事をしようと思って彼を探しましたが見つけることができませんでした。私が他の教会員に彼がどこにいるか知っているかと尋ねると、彼は説教の途中で出て行ったと答えました。彼は卒業した高校のクラスメイト達との集まりに出るために帰ったのです。私は聞いたことを信じることができず、当惑してしまいました。

事故が起こる前、私は聖なる生活の重大さを会衆に強調していました。炎の本を読んだ後では、私はさらに強くそのことを強調していました。私はクリスチャンが神の御言葉に従って生き、日曜日の神聖を守らなければならないと強調してきました。この学生は日曜日の戒めを破り、学生の集まりで酒を飲みました。彼は交通事故で亡くなったのです。他の学生も大けがをしました。私は事故の知らせを受けるや否や、国立大学病院の集中治療室に飛んで行きました。私が集中治療室に着いた時、医者は人工呼吸による蘇生を試みていました。絶望的に見えました。私はどう考えても今彼が死んだら地獄に行ってしまうと分かっていました。私は世界が崩壊するのように感じました。私は集中治療室を出て真剣に祈りました。

「主よ、これは私の責任です。私が彼を適切に教え育てなかったのです。私は彼を正しい聖い生活に導くことができませんでした。」

私は彼にもう一度チャンスを与えて下さるよう主に懇願しましたが、彼はついに死んでしまいました。私はそのことで精神的にとても苦しみました。私が教会に戻るために車に乗った時、主はチョー執事の霊の目を開かれました。神は執事にその学生が向かっていく道を見せられました。

チョー執事はその学生が暗いトンネルを自分の足で歩いていく姿を見ました。執事が学生の背中を見ると、彼は孤独に見えました。その幻を見た後、執事はとても恐れ、足が震え始めました。執事はかろうじて家に帰ることができました。主はその幻の意味を説明されました。彼の道が続く方向はすべて罪の結果でした。

私は思いました。「牧師として、どうして私は全ての罪の根拠を確かめなかったのだろうか？どうして私は彼らの関心事を理解して悔い改めに導くことができなかったのだろうか？私はどうしてもっと強く権威を持って、彼らに日曜日の神聖を守ること、適切に什一献金を捧げることなど、どのようにして神の御言葉に従って生きるかを教えることができなかったのだろうか？どうして私は彼らに酒を飲むこと、煙草を吸うことなど基本的な生活問題を教えて悔い改めに導くことができなかったのだろうか？私はどうして罪の結果がどんなに深刻なものなのかを説教することができなかったのだろうか？」

炎の本を通して、私は最も小さな罪でも全く同じように容赦はないということを理解していました。それらは全て罠なのです。最近まで、私は自分のミニストリーの中で救いの福音を強調してきました。しかし私は悔い改めの福音を軽視してきました。それゆえに、私は悔い改め、教会員にも真剣に悔い改めるようせき立てました。第 I ヨハネ 5:16-17 には、死に至る罪と死に至らない罪があると記されています。しかし多くの信徒たちは死に至る罪という考えを埋没させ、単にイエス様を信じてさえいれば天国に向かっていると考えているのです。私はこのような態度を見る時、彼らがどんなに無関心なクリスチャン生活をしているのかを見て驚きます。

私は今1人の尊い魂を失ってしまいました。私は絶対に、もう誰一人失ってはならないのです。その学生の死は私の教会のメンバーたちに目を覚ませ、自分たちのクリスチャン人生に注意を払うよう警告を与えました。そのことは私たちにどのような信仰を持って生きなければならないかを示してくれました。だから、私たちは毎日の徹夜祈禱会の中で、熱烈に礼拝し、悔い改め、告白をし、祈っているのです。

私は人々に福音に従い、新生した人生を生きるよう説教しています。私はこのように説教し、また祈る時、悪霊が教会員たちから出て行きました。今や私は教会員たちの霊の中に主の霊が満ちているのを見ることができます。教会員たちの霊は日々新たにされ、洗い清められています。彼らは多くの霊的な出来事を経験することができました。

チュルスー・チョー執事の霊の目はさらに深く開かれました。彼は頻りに天国と地獄を訪問しました。彼は自分の父親が地獄で恐ろしいほど痛めつけられているのを見ました。執事は自分が見たものに驚きました。執事の父親は存命中本当に良い人だと思われていました。そのため、執事は漠然と父はいい所にいるだろうと思っていたのです。執事は父親が今どこにいるのかを知って、私は彼がとても痛みショック状態にあるのを見ました。

さらに、執事は地獄で数十年間家を出て行方が分からなかった兄に会いました。執事は私に、兄と目が合った瞬間に兄はすぐ顔をそむけたと言いました。兄は執事の顔を見ることができませんでした。その兄が生きていた時、彼はチョー執事に激しく暴力をふるっていました。彼は自分がしたことを申し訳なく思ったに違いありません。チョー執事は父と兄が地獄で苦しんでいるのを見てから、自分が見たことによるショックで数日間何も食べることはできませんでした。

徹夜祈禱会の中で、主はその教会員に地獄の経験を与えて下さいました。全ての経験の中で、最も苦しい経験は交通事故で亡くなったあの学生を見ることです。彼は最近まで一緒に教会にいた兄弟でした。私は彼が地獄の激しい炎で苦しんでいるのを見て痛み、恐れを感じます。私は忠実なクリスチャン生活をしなければならないと思っていました。地獄の光景を見る時、私は眠ることができず、しばしば食欲を失ってしまいます。

チョー執事は会社に勤めています。彼が地獄で痛めつけられている魂を見て以来、彼は仕事に熱中するようになりました。彼は今や絶えず地獄で苦しんでいる魂を思い出すのです。彼は仕事に熱中することで見たものを忘れようと試みていました。彼は自分がいかに忠実なクリスチャン生活をしなければならないかについて考えることを止めることができないのだと言いました。彼はこのことを今地獄でみじめな経験をしているあの学生を通して思い起こさせられました。その学生はほんの数日前まで一緒に礼拝していた兄弟なのです。執事はそれから前回の訪問以来十回以上も地獄にいるその学生を見なければなりません。今でも彼が地獄を訪れると主はその学生をお見せになります。主の意図は教会員たちに地獄は本当にひどい所で、決して行ってはならないということを強く思い知らせることでした。執事がその学生の言葉を聞くと、彼は「チョー執事さん、のどが渇きました。どうか水をください」と言うそうです。執事の心は張り裂けるばかりでした。私は今このことを、涙を流しながら書いています。

これらの霊的な経験を通して、私は一人ひとりの魂の尊さを悟らされました。このことを悟って、今私は魂たちが信仰と聖さ全部において、救いの上に固く立つよう全力を注いでいます。牧師の任務はとても重要ですが、それでも私は自分の過ちのために一人の魂を永遠に失ってしまいました。私はそのことを思い出すと、魂たちを正しく教育してこなかったことに対する責任の重さを深く感じます。それゆえに、私はさらに悔い改め、祈りました。教会員たちが自分の罪深く聖さのない生活やイエス様に対する的外れな信仰告白を悔い改めた時、彼らは霊的な自由を味わうことができるようになりました。彼らは今多くの霊的な出来事を経験しています。

今私は悪霊がどのように働くか理解しています。私はまた私たちが悔い改めて「聖なる火」と叫ぶなら悪霊たちは去らざるを得なくなり、癒しが訪れるということも知っています。主の教会と同じように、私たちが力強く祈る時に霊の目が開きます。教会員たちが悔い改めて「聖なる火」と叫ぶ時、彼らは悪霊が自分たちの体から出て行くのを見ることができました。徹夜祈禱会を通して、私は罪がいかにか汚れており恐ろしいものかということがわかってきました。私は罪がどんなに深刻な結果をその霊と魂にもたらすかを見えています。

チェ・オアナムという名の婦人執事がいます。彼女は私たちの教会に出席している農民です。農場では仕事がたくさんあります。そのため、彼女は日曜日の朝に仕事をしていました。仕事の途中で突然彼女は背中に激しい痛みを覚えました。彼女は仕事をやめて中で休まざるを得ませんでした。彼女は休んでいる時、出エジプト記 20:10 についての考えが浮かんできました。彼女は牧師が日曜日に仕事をしないようにとメッセージをしていたことを思い出しました。それで彼女は誠実に悔い改めたのです。彼女が真剣に悔い改めると、背中の痛みは癒されました。彼女は私に二度と日曜日の戒めに背きませんと証しました。

もう一人、チャー・キンスンと言う名の婦人執事がいます。彼女は苦しい生活をしていました。彼女はひどく虐げられており、精神的に痛み苦しんでいました。結果的に、彼女は神経に障害ができてしまいました。昼か夜かは関係なく、誰かが彼女の病を誘発してしまったら、彼女はストレスを発散するために山や野原をさまよい回らなければなりません。彼女は痛みで満ちた生活をしていました。彼女はこの種の病に治療法はないのだと言っていました。彼女はある日の徹夜祈禱会に参加しました。祈りの途中で彼女は全ての恨みを捨て、許し、人生における全ての罪を悔い改めました。彼女はその時癒しを受け取りました。神経障害を引き起こしていた悪霊が彼女から去りました。今、彼女はとても感謝しており、信仰生活は喜びに満ち溢れています。

私の一番上の娘ドゥリーと2番目の娘イエリーが主の教会を訪れました。牧師夫人が彼女たちに聖なる踊りの賜物を分け与えました。今私の娘たちは礼拝し祈りながら美しく霊にあって踊っています。2番目の娘であるイエリーは霊の目が開かれました。彼女はイエス様の手を握って天国と地獄を訪問しました。彼女は悪霊を見ることができました。彼女は炎の本でも言及されている聖なる剣で悪霊たちと戦いました。

娘のイエリーが地獄を訪問する時はいつでも、彼女は数か月前に交通事故で亡くなったあの学生を見ます。その学生が彼女を見た時、彼は彼女に向けて手を伸ばしてきたそうです。彼は痛みながら求めました。「イエリー、どうか僕を助けてくれ！」娘は彼に手を差し伸べようとしていました。しかし主は彼女に彼の手を握ってはいけないと言いました。彼女はその言葉に従って彼の手を握りませんでした。私はその話を聞くや否や、再び私が1人の魂を失ってしまった罪を悔い改めました。私はもう二度と1人たりとも失わないと固く誓いました。私はもう委ねられた魂を失ったりしません。娘はまた私の母方の祖父も見ました。彼はひどい苦しみの中にありました。

毎週日曜日、彼女は天国から下って来る恵みの光を見ることができます。彼女はその光が数人の聖徒の上を下っていると仰いました。光が当たっている人もいれば当たっていない人もいました。これは私の意見ですが、恵みの光はその礼

拝の日に本当に祝福を受ける聖徒たちに下っているのではないのでしょうか。私は日曜礼拝に出席する前に自分の罪を悔い改めていない聖徒を見分けることができました。私は心で心配を抱えている聖徒を見分けることができました。恵みの光は彼らには注がれないでしょう。

ある日の夜、徹夜祈禱ラリーの間に、チャー・チュルスー執事が突然ある言葉を思い出しました。「血を飲んではいけません。飲んだことがあるなら直ちに悔い改めなさい。」チャー執事は三十代前半の時に事あるごとにシカの血を飲んでいて、それを悔い改めました。彼が悔い改めた時、血を飲むことを通して彼の体に入っていた多くの悪霊が追い出されて穴に送られました。主は私に地獄の血を飲んだクリスチャンが行く場所を見せて下さいました。彼らは悔い改めなければ最終的に地獄に行くことになるのです。彼らは計り知れない痛みの中にあります。ある特定の領域は狼のような姿の悪魔に守られています。その悪魔はナイフでその「クリスチャンたち」の全身の皮を剥いていました。彼らの体から血が流れ出ると、その悪魔は彼らの血を吸うのです。

ある日、主は私の娘であるイエリーを地獄の日曜日にお金を使った人々が苦しめられているところに連れて行かれました。その場所の名前は滝地獄と呼ばれていました。その流れは黒色でした。多くの人々が断崖絶壁の縁に向かって歩いていました。彼らがその先端に差し掛かると、彼らは力づくで地面に落とされるのです。彼らが地面に落ちると彼らの全身が破裂します。私はイエス様に尋ねました。「誰がここに来るのですか？」主は日曜日にお金を使った人がここに来るのだと説明されました。

主はそれから私に地獄の日曜日仕事をした人が行く場所を見せて下さいました。この場所の名は冷凍と言います。冷凍の場所にいる人々は氷の塊のように固まってしまうのです。しかし、この場所は寒くないのです。人々が固まると、悪魔はアイスクリームのように彼らの肉をすくい、食べてしまいます。主はそれから地獄のビリヤードと呼ばれる別の場所を見せて下さいました。牧師と牧師夫人たちが巨大なビリヤード台に並べられていました。彼らの体はボールの形に丸められていました。悪魔は彼らを突き、穴に落とすのです。牧師や夫人たちの中には起き上がって穴の方に走り、飛び込む人もいました。少しすると、鋭い歯の付いた車輪が穴の中に入って行き、彼らを切り裂きました。そこは与えられた神の御言葉に従って生きなかった牧師と夫人たちのための場所でした。

私は地獄の数え切れないほどの領域を目撃しました。私は串地獄、洞窟地獄、釣り地獄を見ました。地獄の様々な場所は言葉で表すことができません。そこは恐ろしいところです。地獄で震えている人たちの声を聞いて、私は忠実なクリスチャン生活を送らなければならないと思いました。私たちはどんな犠牲を払っても地獄行きを逃れられるよう忍耐しなければなりません。

私たちの教会にウォン・ウンキュンと言う名の中学1年生の若者がいます。彼女は霊の目が開かれています。彼女は今私たちの霊的な使命とミニストリーに参加しています。私は信徒たちがより深い霊の領域に入り、神の器として用いられることを願っています。

私が特定の家庭や個人のために祈る時はいつでも、主は私に彼らの中で働いている多くの悪霊を見せて下さいます。彼らが自分の罪を悔い改めて清めを受けるのを手助けしようとするといつでも、悪霊たちは追い出されることに抵抗してあがきます。

私は多くの悪霊たちが聖徒たちの中で罪を通して働いてきたことが分かってきました。私はまた、悪霊が聖徒たちの生活の中で活発に働くと、彼らはさらに罪の深みに落ち込んでいってしまうことも悟られました。私は悪霊たちが多くの信徒

たちを永遠の死へ導こうとするのを見て、彼らを御言葉と祈りの生活を送るよう訓練し、彼らにまっすぐな生活をさせなければならぬと思いました。御言葉と祈りを通して、彼らは霊的戦いにおいて勝利を得ることができるのです。

私は全ての感謝と栄光をこの貴重なミニストリーをお許しになった主にお捧げします。こんなに不十分な私を炎のミニストリーに参加させて下さったことに心から感謝します。主の教会とキム牧師にも感謝いたします。

* 聖なる燃える火によるバプテスマを経験すること

事例3-チュンブク市、ファーストボイス教会のカン・チュンジャ姉妹の証

2007年2月、私の一番下の息子であるソ・ユンジュンが急に電話してきました。「お母さん、僕は今インチョンの西区にある主の教会にいるんだ。この教会はキム・ヨンドウ牧師と教会員たちの導きで聖なる炎のミニストリーをしているんだよ。この教会を訪れた多くの人が体から悪霊を追い出してもらったんだ。悪霊が追い出されると、多くの人が癒されたんだよ。しかも彼らは癒されるだけじゃなくて、聖霊のバプテスマを受けているんだよ。びっくりだろ？ユンジン兄さんを連れて来てくれたらきっと癒されると思うんだけど。早く連れて来てよ。お母さん、『燃える火によるバプテスマ』の本を貸してあげるね。早く読んで経験してほしいんだ！」

私はすぐに1冊目を読みました。それから残りの巻を買って全部読み切りました。その本の内容は衝撃的でした。私は心臓が高鳴り、大急ぎでそこに行く計画を立てました。しかし予想外に牧師である夫がその本の証に異議を唱えました。それでも彼の反対にも関わらず私は熱烈に頼み込みました。夫はついにあきらめて、私たちは信仰で動きました。

一番上の息子であるソ・ユンジンは23年間深刻なうつ病で苦しんでいました。実を言うと、一番下の息子がユンジンを主の教会に連れていくように提案した時、私はとてもためらいを感じたのです。

子供たちの痛みは、私たちが痛む彼らを見て無力さを覚える時の痛みと同じでしょう。だから私は決断したのです。私の決意は固く、息子と共に主の教会を訪ねることにしました。誰も私を止めたり立ちはだかったりしようとはしませんでした。

しかし、私たちにいくつか予期しない出来事が起こりました。私たちはそのような妨害に遭うとは思っていませんでした。夫はとても道に強い人です。昼であろうと夜であろうと、またどこにしようとも関係ありません。彼はどの道に行ったらいいか見つけ出し、道路を理解するのに長けています。主の教会に向けて出発したその瞬間から、そこにたどり着くまでの間ずっと私たちは想像さえしなかった試みに遭いました。私たちは主の教会までの道のりの間ずっと妨害を経験しました。私たちはものすごい量の悪霊の攻撃に遭い、それはすさまじいものでした。

インチョン市の中に入ったら私は方向感覚を失いました。なんとかどこに行くべきかわかったのですが、夫が道を見失い霧の中同じ所を一時間ほどぐるぐる回っていました。私たちは主の教会の近くまで来ているのに長時間同じ道を走り続けてしまいました。私たちは絶えず間違った道に行ってしまう、一本道なのに反対方向に行ってしまったりもしました。今までの人生でこんなに道に迷ったことはありません。悪霊が私たちが主の教会に着くのを妨げていたことから、私たちは主の教会に聖霊の力強い臨在があり、悪霊が追い出されているのだとわかりました。

私は後に国中から来た人たちが同じような経験をしたということを知りました。私たちがなんとか主の教会にたどり着いた時、すっかり遅い時間になっていて既にとりなしの祈りが始まっていました。私は力強く叫ぶ祈りを目の当たりにして、開いた口がふさがらなくなりました。私が見ている光景は想像を超えるものでした。

主の教会のとりなしの祈りのチームは多くの人のためにとりなしをしていました。彼らは皆霊の目が開かれていました。彼らは私の家族のために特別に祈って下さいました。すると私たちは霊的な領域の現実を見ました。私は自分の家が悪霊で満ちていて、悪霊たちが天井からぶらさがっているのが見えました。

私たちが住んでいる地域には最も大きな仏教の寺院の1つがあります。それはミタサという寺院です。その地域では、多くの家庭がアルコールの問題を抱えています。近所にもたくさんのアルコール中毒の患者がいるのです。その一番大きい寺院を除いても、他にもいくつかの大きな寺院があり、魔術師たちもいます。彼らは運勢を告げたり奇跡を行ったりしているのです。私たちの地域にはたくさんの仏教寺院があります。私たちの地域は伝統的に偶像礼拝が盛んな地域だったのです。

私たちの教会はできて 2 年ほどになります。私たちはいつも祈りに対して燃える思いを持っていました。私は何度もひざまずいて祈ろうとしました。しかし、何だかわからないエネルギーがいつも私を圧迫してきたのです。それゆえに私はしっかりと祈ることができませんでした。私はいつでもこの祈り不足を後悔していました。私たちが最初に教会を建てた時、一番下の息子のユンジュンが壁の横に私たちの教会の名前を取り付けました。彼が文字を書いていると、突然女性の笑い声が聞こえてきました。その笑い声はあまりにも大きく聞こえたので、彼は山が震えているかのように感じたそうです。息子は私たちにもっと祈るよう励ましてくれました。

私たちが主の教会に着いた夜、私の中にいた全ての悪霊は礼拝と賛美を通して出て行きました。すると私の両手が自然に動き出しました。私の両手は自由に動いていました。私は霊にあって踊りました。私の霊と肉体は神から与えられた喜びで踊りました。私はそれが美しい踊りだったと信じています。私は主に焦点を当て、私の心の全てを主に捧げました。私は耐えることなく涙を流して悔い改めました。

私は自分が経験した聖霊のダンスについてお話したいと思います。主の教会では、男性か女性かは関係なく、全員が霊によって踊ることができます。私は様々な賜物がダンスの間に現れてくると聞きました。聖霊の満たしの他にも、栄光、喜び、悔い改め、癒し、悪霊からの解放、炎のミニストリーなどがダンスを通して与えられます。私は聖なる踊りの間に、礼拝と賛美の流れに身を任せると両手が自然に上がりました。私は手の指の先から足まで体中を一掃するような熱い炎を感じました。そこに私の意志は全く入っていませんでした。聖霊様が私の体の部分部分に入念に触れて下さったのです。私は思いました。「あら、どうして私の体はこんなに軽くて自由になったのかしら？ どうやって全部の悪霊が 1 匹 1 匹出て行ったのかしら？」それは本当に驚きでした。私は聖なる電気と炎にはもっと衝撃を受けました。今私は主の花嫁になるということの素晴らしさを感じています。私の魂と霊は最終的に幸福と喜びに満たされるのです。

私は霊にあって踊っている間に聖なる火を叫ぶと、私は純粋な耐えられないほどの火の玉になりました。私は自分が炎の女王であるかのように感じました。その瞬間、私は自身に満ち溢れ、どんな妨害の力にも打ち勝つことができると感じました。私は聖なる火を叫んだらそれは父の御座を動かすのだと思います。主の教会の団結した叫びの祈りは私が今まで経験した他のどんな祈りの家やラリー、断食よりも強力でした。私は実際に彼らの祈りが天国の外側のほとんどの場所に届いているのを感じることができました。

私が主の教会を訪れて聖なるダンスを経験する前、私は静かに黙想する祈りに慣れていました。しかし霊にあって踊ってからは、決して眠くなったことはありません。私は静かな黙想の祈りは主の声を聞くのに最も適した祈りだと思っていました。しかし霊にあって踊ることを始め、また叫びながら祈ることを始めてから、私はそれが最も効果的で力のある祈りの方法なのだとわかりました。私たちは終わりの時代に生きていて、主の再臨は間近に迫っています。天と地を歩き巡っている支配者と配下の悪霊どもは常に私たちを餌食にしようと思いつめています。私は叫んで祈り、霊にあって踊ることが彼らを打ち負かすために非常に重要なのだと言うことを悟り、また経験しました。

私は人生の半分を神の御言葉に従って生きてきました。私たちは葛藤しながら休むことなくミニストリーを導いてきましたが、主の心を求めていました。実際に、暴君のような私の性質が心の中でもうごめいていて、自分では変わることができませんでした。この隠れた霊のせいで夫と私は頻繁に口論していました。

主の教会で祈りの途中に聖霊様が私に触れて下さり、それは自分の教会でも続きました。礼拝と祈りの時に、私は咳をするたびに悪霊が集団で出て行くのを経験しました。悪霊たちは何十年も私の体の中に住みついていたのです。私と夫との間で通路を作っていた悪霊も含めて、全ての悪霊の正体が露わにされました。その悪霊たちは私たち二人の間を行ったり来たりして、私たちに口論させ、破滅に導こうとしていたのです。

何年間も悪魔の力は私たちの家族に働いてきました。それらは戦略に長けており、様々な方法を通して私たちの中に王国を築きあげてきました。それは私の想像を超えたことです。私は驚きを止めることができません。私は悪霊たちが私たちの魂を捕らえていたことを悟りました。神様は私の家族を愛しておられます。神様が家族を癒して下さいました。私は本当に感謝しています。

一番上の息子のユンジンが聖霊に満ちた主の教会の礼拝に惹きつけられました。その教会は楽しい礼拝、賛美に満ちており、喜びと活気で覆われています。彼は今次第に明るく活気のある人格に変えられている過程にあります。彼は 23 年間の孤独な状況から解放されたのです。イエス様は一度に彼を癒しては下さりませんでした。その理由は、主は私たち家族 1 人 1 人の祈りがある段階まで満ちるのを見ておられたからです。主は真実心を痛めて祈る祈りを願っておられました。主は霊による悔い改めを望んでおられました。私たちの家族 1 人 1 人の祈りが祈りの壺に満ちた時、主は完全に息子を癒して下さいました。主はまた一番上の息子が多くの点で欠けがあったとしても自分自身で祈ることを求めておられました。

最後に、私は主の教会とキム・ヨンドゥー牧師先生、ご夫人、そして教会員の皆さんに、私の一番上の息子のユンジンと一番下の息子のユンジュンに対して愛と配慮を持ってずっと祈り導いて下さったことを本当に感謝しています。全ての栄光を主にお捧げします。ハレルヤ！

*聖なる燃える火によるバプテスマを経験すること

事例 4-クアンジュ市ヨンドゥードンのユニティービジョンチャーチ、パク・インソー牧師の証

ハレルヤ！

恵みの中でリバイバル礼拝を与え、成し遂げて下さった三位一体の神様に全ての栄光をお捧げします。

私が初めて燃える火によるバプテスマの本に出会ったのは 2007 年 1 月のことでした。私は最初に第一巻を書店で購入しました。私はその本を読んで「わあ、こんなこと今まで読んでいないぞ」と思いました。私は衝撃を受けました。しかし私はさほど熱心ではなく、途中まで読んで机の近くにある本棚に置いてしまいました。私はそのうちまた読もうと思って読むのを延期したのです。

それから約 6 カ月がたち、私は自分のミニストリーの中でいくつかの試みを経験しました。私は時には困難を通り、時には平安な状態でした。私が浮き沈みしている間にもまだ炎の本のことを忘れてはいませんでした。

2008 年の 1 月 1 日、誠実に教会に仕えて下さっていたある執事とその奥さんが去って行ってしまいました。牧師として、私はいつでも彼らが御言葉の上に堅く立ってほしいと願ひ続けてきました。私は一生懸命彼らのために祈ってきました。しかし彼らが何も言わずに去って行ってしまった時、私の心はぽっかり穴が開いたように感じました。私の心は痛み、苦々しさを感じました。私はその時炎の本のことを思い出したのです。

2008 年 3 月の最初の週の間に私は第 1 巻を再び読み始めました。私はもう一度最初の本を半分読んだ時、驚き圧倒されてしまいました。それは純粋なショックでした。3 月 7 日の金曜日、私は祈って講壇でその本を読みあげました。私は主の教会に電話し、キム・ヨンドゥー牧師に取り次ぎを頼みました。電話を取ったのは彼自身でした。「牧師先生！ぜひともあなたの教会を訪問させていただきたいのです。よろしいですか？」彼はいつでもいいですよと言って下さいました。

私は 3 月 10 日に訪問させていただく旨を彼に告げました。私は旅行の準備をしてインターネットから地図をダウンロードしました。私は 3 月の初めの週に毎年行われる会合に出席していました。その会合はスウォン市におけるシルチュン牧会研究の集まりでした。私はその会議に出席して、それが終わったら妻のスル・ヒャンオクと義理の姉妹であるイン・ピョンテを連れて主の教会に行くつもりでした。私は牧師をしている兄弟の妻から車を借りました。私たち 3 人は GPS の地図を使って主の教会まで車で行きました。

主の教会での最初の日、賛美と礼拝が終わると、教会員たちは講壇の前に行きました。彼らの中には男性も女性もいましたが、美しい聖なるダンスを踊って礼拝を続けていました。彼らのダンスは言葉に言い表せないほど美しいものでした。それは全く奇怪なものではありませんでした。私がチョラクドー断食祈禱院の礼拝を訪れた時、私は聖なるダンスを見たことがあります。私は信仰の仲間たちが踊りながら主をほめたたえるのを見ました。その断食祈禱院での光景は全く不快なものではありませんでした。

私の教会では、私たちは主を賛美し礼拝しながら手をたたきます。それは自然なことで、普遍的な行動です。特に韓国では、ほとんどの教会で賛美と礼拝の間にリズムカルな動きがあります。聖霊様がダンスを導こうとなさる時、多くの人々は単によく知らないからという理由で受け入れるのを拒みます。聖書は踊りながら賛美し、礼拝しなさいと述べています。しかし、私たちは決してそうしようとはせず、実際にはそのような礼拝を見たこともありませんでした。一般的な教会は誰かが霊にあって踊りだすとそれをおかしい、あるいは奇妙だと認識します。主を賛美し礼拝するために人によって作られたダンスがあります。もし手の動きやダンスが聖霊様によって導かれたものだったらそれはどんなにかもって主を喜ばせるでしょう。私たちが個人的にそれを経験したことがないからと言って、主の御前で霊にあって踊る人々を非難する権利などありません。

私は毎週月曜日主の教会の徹夜祈禱会に参加しました。参加する度に、キム・ヨンドゥー牧師は炎のバプテスマと油注ぎを分け与えて下さいました。彼は牧師と夫人たちを特別に分けて炎を分け与えていました。その炎は彼の手から私の

頭へと分け与えられました。私はそれが毎週少しずつ強くなっているのを感じました。その間に、私の手は自分の意志によらずに自然に動くようになりました。

3月の最後の週、ユニティービジョンチャーチは夜の祈禱ラリーを始めました。私たちはその祈りのラリーをゲッセマネ祈禱ラリーと名付けました。私たちは月曜日から金曜日までの午後9時、教会の建物の3階に集まりました。私たちは30分間賛美し、30分説教をし、30分間祈りの時間を持ちました。祈りの時間の後、私たちは火を分け与え、油注ぎの時間を持ちました。私は夜の祈禱会に参加した人全てに火を分け与えました。その人たちは自然に手を動かし始めました。彼らは最初自分の手が動いていることに気づいていませんでした。両手を外側に広げられた人もいました。彼らは自分たちが経験していることに驚いていました。彼らの手は突然磁石のようにくっついたり外側に開いたりしていたのです。彼らは手が自由にそして自然に動くことにずっと驚いていました。私たちは毎週月曜日から金曜日まで続けました。

私は教会員たちに炎の本のシリーズを買いに行くよう勧めました。私も配布するために何冊か購入しました。私たちは聖書勉強の間にその本と一緒に読みました。読んでみると、何であれすぐに手に入れることは容易ではないと気付かされました。例えば誰かが賜物や力をすぐに簡単に得ることができるとしても、その人は手に入れたのと同じように早く簡単にそれを失うのです。もし簡単に開くなら、閉じるのも簡単です。私たちは聖さの訓練をし、祈りと御言葉を読む生活を求め続けるなら、それが信仰における固い土台を築きあげていくのだと悟られました。一気に霊の視力が与えられて簡単に天国と地獄を訪問できたら素晴らしいと思うでしょう。しかし私は人がそんなに簡単に賜物や経験を受け取ってしまったら、その賜物を維持していくのは難しいということを悟られました。キム・ヨンドゥー牧師もこのことについて説教なさっていました。

3月31日の月曜日、私は主の教会の徹夜祈禱ラリーに参加していた時に主から預言の言葉を受け取りました。主は私の家庭、ミニストリー、そして教会を導きながら見つめておられました。私はとても主に感謝しています。主は私たち(妻と私)が祈るために色々なところを訪れていることを喜んでいてと言ってくれました。主は将来実を結ぶだろうと言ってくれました。それゆえに私たちは忍耐しなければなりません。主はもっと熱心に祈るよう望んでおられます。

私は自分の教会で炎のリバイバル集会を持ちたいと申し出ました。キム・ヨンドゥー牧師は祈ってみますと言われました。後日彼は返答を下さいました。日程は6月23日(月)と24日(火)になりました。日程が決まると、私たちの教会の若者たちが悪霊によって攻撃を受けるようになりました。悪霊たちは若者たちを攻撃するために様々な方法を用いました。

最初の攻撃—日曜学校の生徒であるリー・セヨン。彼女はアスファルトで舗装された道路で転倒しました。その道路は平らにしっかりと舗装されていました。つまりくものなど何もありませんでした。彼女は転んだ時に左手首を骨折しました。彼女は3週間左手にギブスを付けなければなりませんでした。

2つ目の攻撃—中学2年生のパク・サンホ。彼は教会の放送室で奉仕しています。リー・セヨンが怪我をした2週間後、サンホはスノーボードをしている時に転倒しました。彼は左手首を骨折しました。リー・セヨンと同じ診断で骨折のために3週間ギブスを付けなければなりませんでした。彼が最初に病院に着いた時、お医者さんはセヨンのX線写真を見せて骨折の仕方がセヨンとそっくりだと言いました。サンホはとてもスノーボードが得意でした。彼は冬中ずっと練習していました。彼が低い丘で転ぶと言うのはとても奇妙なことでした。傾斜も決して急ではありませんでした。彼は2メートルほど滑走して転びました。彼はこのように怪我をしたのです。

3つ目の攻撃—小学4年生のチェ・ヒュンイン。彼は日曜学校の礼拝でドラムをたたいています。サンホが怪我をした1週間後、彼は鉄棒から落ちて左手首を骨折しました。彼は3週間ギブスをしていました。

4 つ目の攻撃—クァク・ジェユンは日曜学校の生徒です。3 つ目の攻撃の後、彼は右足を負傷し、ギプスが必要でした。

5 つ目の攻撃—パク・ハムビは牧師の一人の一番上の息子です。彼はドラムをたたき、また教える働きをしていました。4 つ目の攻撃の 1 週間後、彼は足首を負傷し 3 週間ギプスをしなければなりませんでした。

6 つ目の攻撃—キム・ヒュンゴンは中学 2 年生です。5 つ目の攻撃の 2 週間後に彼は足首を負傷しました。

7 つ目の攻撃—ユー・インガンは小学 4 年生です。彼は賛美チームに所属しています。彼は不当にも近所のいじめっ子たちに殴られました。彼は 3 週間入院することになりました。

悪霊の攻撃に遭ったのは若者たちだけではありません。他の大人たちもまた攻撃を受けました。3 月 5 日、私たちの教会はスポーツ大会を計画していました。練習中に 2 つの男性の宣教グループが合流しました。彼らはよい会合を持ちました。しかし彼らは解散する前に執事が経営している魚市場に行って、アルコールを何杯か飲んだのです。

彼らは私たちの教会の名前で集まりましたが、サタンが彼らのただ中で悪しき働きをしていました。彼らがつまずいた後、私は飲みに行った全員を集めました。私は彼らに行いを悔い改めさせました。彼ら各々がもう 2 度と飲酒をしないという契約書にサインしました。

これらの問題を除いても、私たちはすでに他の困難に直面していました。私たちはローンを組んで教会を建築しました。私たちは 100 万ドル(訳注:約 7500 万円)をテグ生協から借りました。私たちは利息を運用することができましたが、複雑な問題がいくつも起こり、債務不履行をせざるを得なくなりました。不動産は差し押さえられて競売にかけられました。2008 年 3 月 14 日、私たちの教会の建物はビジネス企業に競り落とされました。私たちは教会堂を守るために合法的ギリギリの線まであらゆる手を尽くしました。しかし、すべての手段が閉ざされてしまいました。

リバイバル集会まであと 2 週間しかありませんでしたが、私たちには打つ手がありませんでした。そのため、私は全てを主に委ねました。私たちをとて愛しておられる主は生きておられ、私たちには主の王国に入るという希望があります。その希望と愛のゆえに、私たちは失望しませんでした。私たちの教会は競り落とされてしまいましたが、それでもリバイバル集会に参加した教会員たちは喜びと平安のうちにありました。それは彼らの顔に現れていたのです。

私たちは祈り続けていました。実際、私たちは将来を期待してさらに熱心に祈っていました。私たちは神様に感謝を捧げました。私たちは多くの困難の中でリバイバル集会を始めました。

リバイバル集会の初日、私たちはどのくらいの人があるか見積もることができませんでした。それで私たちは軽食のためにカップラーメンを 200 個購入しました。リバイバル集会は宣伝もしませんでしたし、公に伝えたりしませんでした。私たちはおおざっぱに 200 人くらい来るだろうと考えました。しかし、2 日間で 700 人の人が来たのです。主の力強い猛烈な炎が注がれました。説教のために私たちが招いた牧師はこの集会における炎は特別なものだと言いました。しかし、悪霊が最後まで私たちに攻撃を仕掛けてきました。悪霊たちはリバイバル集会の途中にも攻撃してきたのです。

天気、飲料水、軽食、スイカ、トイレ、駐車場、エアコン、電子機器、案内係は全て良好でした。しかし、音響設備に問題が生まれました。私たちは全部順調だと思って安心していましたが、500 坪分をまかなっている音響設備に技術的な問題があったのです。私たちはまさか幼い子供たちが音響設備を壊していたとは夢にも思いませんでした。リバイバル集会の前日、子供たちは音響設備の部屋に入って平衡装置とミキサーで遊びました。毎週日曜日の午後 8 時に私たちは男

性のセルグループの集まりを持っています。そのセルグループは聖書勉強をし、共に祈るために集まります。その子供たちは父親と一緒に来ていましたが、今まで音響設備の部屋に入って行ったことはありませんでした。今まで何回も来ていましたが、子供たちが音響設備に触ったのはこれが初めてでした。私たちはリバイバル集会の前に音響設備を使わなかったの、私たちは集会が始まるまでその問題に気づきませんでした。

リバイバル集会の初日、異様な音がアンプから流れました。1つのスピーカーで集会の進行が困難になってしまいました。しかしこのような問題全ての中にあっても、リバイバル集会は燃えていました。集会に参加した人々は聖霊様に飢え渴いており、そのため彼らは聖霊と恵みで満たされました。

翌日の午後、私たちは夜の礼拝の前にエンジニアを呼んで音響設備の問題を直してもらいました。夜の礼拝の間、聖霊様の力強い炎の臨在は絶えず私たちの上に分け与えられました。夜礼拝の後も深夜礼拝を行い、美しい出来事が起こりました。主の教会からいらっしゃった若者、男性、女性、そしてキム牧師のご夫人が美しい聖なるダンスを踊って下さいました。聖なるテクノダンスさえありました。ユニティービジョンチャーチの教会員たちも後に続いて聖霊にあって踊り始めました。その光景は美しいものでした。

炎の本には様々な種類の賜物と聖なるダンスを通した癒しが記述されていました。私は個人的にそのことを経験させていただきました。私は長い間首に凝りと鈍い痛みを感じていました。しかし主の教会を訪問して4週間にわたって霊によるダンスをした後、その痛みは消え去りました。さらに、頭痛と凝りもなくなったのです。私は聖なる痛みを通して癒しと賜物が注がれると言うことを確信しています。

休憩時間の後、少し軽食を食べました。ユニティービジョンチャーチの教会員たちは主を喜ばせる才能を発揮しました。私は彼らが私のまねをしているのを見て喜びました。彼らは使命や挑戦が与えられるといつでも直ちに従ってくれる貴重な聖徒たちです。私が何を言っても彼らはアーメンと答えてくれます。私はとても感謝しています！彼らは皆情熱的に主に向かって自分たちを表現しました。その光景はとても喜びに満ちたすばらしいものでした。私は本当に主がとても喜ばれているに違いないと信じています。

私たちは祈りの時間を続けました。私たちの祈りは深まっていきました。私たちは霊の目が開かれることを切に求めて祈りました。私たちの祈りの時間は3つのセッションから成り立っていました。最初の祈りのセッションでは誰も霊の目が開かれませんでした。2番目の祈りのセッションで、クアンジュから訪問していた兄弟の霊の目が開かれました。さらに、主はある婦人執事を通して私たちに預言の言葉を与えて下さいました。その言葉は私たちの教会であるユニティービジョンチャーチについてのものでした。

質問: 主よ、ユニティービジョンチャーチについてどう思われますか？

答え: 私は確かにユニティービジョンチャーチを祝福しましょう。

質問: 今講壇のところにいるユニティービジョンチャーチのメンバー全員が天国に行けるのでしょうか？

答え: 今の状態で死んだら地獄に行く人も数人います。

質問: 主よ、なぜですか？

答え: 彼らは外側では献身し、従っているように見えますが、裏ではひそかに不平不満を言っているからです。

質問:ユニティービジョンチャーチの誰かに霊の目は与えられますか？

答え:牧師夫人の霊の目が開かれるでしょう。彼女は絶えずひざまずいて祈る生活をしなければなりません。

質問:ユニティービジョンチャーチはリバイバルするのでしょうか？

答え:教会全体が1つにならなければなりません。牧師夫人は心に憤りを持っています。リバイバルは若者たちを通して訪れるでしょう。

質問:ユニティービジョンチャーチはどうなりますか？

答え:あなた方の中に平和を持ちなさい。主を信頼したら解決があります。すべてを主に委ねなさい。

質問:牧師先生の心はとても重いに違いありません。抵当権実行の競売は重圧でしょう。主よ、どう思われますか？

答え:湧き上がって彼の霊に流れ下る川があります。主が今全ての問題を解決しておられます。

異言の賜物を受け取りたいと願っている中高生が4人います。日曜学校の子供たちが異言で話すので、彼らはその賜物のために徹夜で熱心に祈り求めています。徹夜祈禱を通して、彼らは皆異言の賜物を受け取りました。木曜日、私たちは午後6時に集まって彼らに40分間異言で祈るように促しました。異言の祈りを強めるために、彼らは常に異言の祈りを続けなければなりません。それゆえに、私はいつでも彼らに異言で祈るよう促します。彼らは今やとてもスムーズに異言で語るようになりました。彼らはとても喜び、感謝にあふれています。

私はユニティービジョンチャーチの問題が早く解決されて主に栄光を帰することができるよう願っています。私は執事たちに来年の2月にもリバイバル集会をしたいと伝えました。彼らはとても喜んでいました。

3番目の祈りのセッションの間に、私たちは祈って天国を訪問することに備えました。主は牧師夫人のスル・ハンオクに対して祈りを注がれました。少しすると、彼女は突然「きゃあ！！」と叫びました。彼女は震えて泣き出しました。彼女は地獄を経験していたのです。主が預言されたように、彼女の霊の目が開かれたのです。

* スル・ハンオク夫人の証

3月の第2週の月曜日、私は夫と共に初めて主の教会の徹夜祈禱会に参加しました。初日から私は夜通し祈りました。「主よ、今日私に恵みを与えて下さらないなら、クアンジュに帰りません。」私は真剣に祈り続けました。午前5時を過ぎるまで祈っていました。残って祈っているのはもう私しかいませんでした。祈りの途中でキム・ヨンドゥー牧師が私の隣に来て私のために祈りますとおっしゃいました。私はその時姿勢を正して目を開けました。しかし近くに牧師先生の姿はどこにも見えませんでした。私は何か霊的な経験をしたのです。もし自分の経験していることが霊的なものだと知っていたら、目を開けたりはしなかったでしょう。私は後悔し、むなしさを感じました。どうして私は目を開けてしまったのでしょうか？私は絶え間なく激しく祈り始めました。少しすると、カン・ヒュンジャ夫人が私の隣に来て聖なるダンスの賜物を分け与えて下さいました。「スル夫人、私は私の持っている全てをあなたに分け与えます。」

今では私は多くの人にカン・ヒュンジャ夫人の妹さんですかと尋ねられます。彼らは皆私たちの聖なるダンスは非常によく似ていると言います。私は言います。「カン・ヒュンジャ夫人の妹だと思われるのはとても光栄なことです。彼女はとても美しく、上品に踊られます。彼女はたくさんの力強い賜物をお持ちです。」

リバイバル集会の 2 日目、私たちは霊の目が開かれることと天国を訪問させていただくことを願って祈りました。その時私の霊の目が開かれ、私は地獄で苦しめられている魂たちを目撃しました。

最初に見えたものは巨大な悪魔、おそらく悪魔の王です。彼は大きなコーヒーカップを持っていました。彼は人々でできた砂糖がいっぱい入ったスプーンをコーヒーカップに入れました。彼はシューツと音を立てながら楽しんでいました。私は主が地獄で死んでいく魂に対して深く悲しんでおられるのを見ました。私も泣き叫びました。主が悲しんでおられるのを見て私の心は激しく痛みました。

次に、私は悪魔たちが人々をロープできつく縛り、ぶら下げているのを見ました。その悪魔たちはそれから無情にも彼らを鋭い鉄の串で刺し貫きました。彼らは意地悪な笑いを浮かべていました。

私は凍った(固められた)人々を見ました。人々が凍った状態になると、悪魔たちはその人々を巨大な鉄の棒で打ちました。人々はたたかれると粉々になってしまいました。それは残酷な光景でした。私は気を失いそうでした。

私は深い沼を見ました。その沼にいる人々は外に出ようともがいていました。彼らは苦痛の中にありました。私は彼らの顔しか見ることはできませんでした。彼らの全身は沼の中に入ってしまったからです。

私は虫でいっぱい大きな深い穴を見ました。私は人々が穴の中に絶えず突き落とされているのを見ました。

私は悪魔たちが人々をまるでブーメランで遊んでいるかのように投げているのを見ました。人々は壁にぶつかると痛みで叫び声を上げました。そして彼らはばらばらに砕けてしまいました。

私はもともと子供が大好きです。私は教会で子供たちを育て、教えています。私は毎週水曜日と土曜日に学校で伝道しました。私は何人かの子供たちが「僕は地獄に行きたいんだ」と言うのを聞きました。彼らは福音を拒絶しました。私は子供が地獄にいるのかどうしても知りたと思っていました。私は主に「主よ、子供は地獄に行くのですか？」と尋ねました。主はそれで地獄で苦しんでいる子供たちを見せて下さいました。彼らは灼熱のフライパンの上で飛び跳ねていました。そのフライパンは火で熱せられていました。私の心は痛みでいっぱいでした。

リバイバル集会の間、ユニティービジョンチャーチのある婦人執事が霊の目が開かれるよう熱心に祈っていました。私は同情して、主にその願いを叶えてあげて下さいませんかと尋ねました。主は彼女が今激しい霊の戦いのさなかにあると言われました。彼女のミニストリーは自分の教会の牧師を通して実現するだろうとおっしゃいました。

ユニティービジョンチャーチに対する預言の言葉の中に、子供たちを通してリバイバルを経験することになるだろうという語りがありました。そのため私は自分の子供たちについて質問をしました。「主よ、私には 2 人の息子がいます。どちらが用いられるのでしょうか？」主は「それはあなたが知るべき問題ではありません。」と応えられました。

リバイバル集会の翌日の水曜日、私は空港に行く途中にある別の教会を訪れました。私たちは主の教会の教会員たちを車に乗せていました。ロビーで何人かの執事たちと若者たちがおしゃべりをしていました。私はその時巨大な悪魔が彼らの真ん中に立っているのが見えました。

私はその日とても疲れていました。私は自分の部屋で横になって休んでいました。その日はいつもなら伝道に出かける曜日でした。私は疲れていたため、伝道に行くことをためらいました。私はその時幻を見ました。私は悪魔たちが軍隊を編成しているのを見ました。彼らは集団で攻撃をしていました。私はすぐに起き上がって身支度をしました。それから伝道に出かけたのです。地獄の門が大きく開かれたように感じました。

* カン執事の証

主の教会の家族のメンバーたちが火を分け与えて下さった時、私の両手は磁石のように引きつけ合いました。私の指先ちくちくしていました。賛美の間に、私の教会の牧師先生が私に講壇に登って行くように言いました。私は霊にあって踊り

ました。私の両手はとてもスムーズに動いていました。私は聖霊にあつて「主よ、どうか私の手をもっと広く、もっと自由に動くようにして下さい」と祈りました。私の手の動きはだんだん大きくなっていきました。ゲストの牧師先生が私に向かって祈って下さった時、私は自分が両手に大きなボールを抱えているかのように感じました。その経験は新鮮で驚きでした。

* キム執事の証

祈りの時間の間に、私は誰かの手を握って緑の牧場を走り回っていました。私は素晴らしい時を持ちました。地獄を見た時には、湖を見渡せる崖を見ました。私は人の腕を切り裂いている黒い色のナイフを見ました。私の心は激しく痛みました。

* チュン執事の証

リバイバル集会は純粋なショックでした。私は霊の目が開かれることに対していつも恐れを持っていました。しかし私の恐れは次第に消えて行きました。私は他の執事たちがイエス様と話をしているのを見て、自分の信仰がいかに疑いで満ちていたかに気づかされました。私はその時悔い改めました。私は聖なるダンスはとても美しいと思いました。私はその時少しだけ聖なるダンスの動きを始めました。祈りの間に、私は聖霊様の強い臨在を感じました。私は今までよりも天国を待ち望むようになりました。

* クアン婦人執事の証

もし私がこの炎のリバイバル集会を経験しなかったら、おそらく私は最終的に地獄に行くことになっていたでしょう。今、私は天国に入って神の子供として再び生まれるためのチケットをしっかりと握らなければなりません。私は自分の努力と情熱を全て主を喜ばせるためにお捧げします。

翻訳者 シオンチャーチ

info@zion-church.jp

2011. 12. 17